

令和5年度

同仁

社会福祉法人 同仁会

事業概要



はじめに

令和4年度は同仁会設立70周年という節目の年で、同仁会の原点でもある臨海学園の大規模修繕工事が同仁会乳児院と共に完了し、長年の懸案であった施設のオールユニット化が実現しました。皆様のご理解ご協力に改めて感謝申し上げます。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症についての位置付けも2類から5類相当に移行することとなり、コロナ前の生活が徐々に戻っていくものと思われます。引き続き感染対策に注意を払いながら、それぞれの施設運営が充実したものとなるよう努力していきたいと思えます。

4月から新たに「こども家庭庁」が創設され、今年度は子育て支援が国策として注目が高まりそうです。これから児童福祉を取り巻く環境の大きな変化も見込まれますし、私たちの仕事も社会から一層注目されることも予想されます。

未来ある子どもたちのために働けることは素晴らしいことだと思います。一人一人が「生まれてきてよかった」と思える社会にしていくために何ができるのか、これからも探究していきたいと思えます。

今後とも、どうぞこの同仁会の活動へのご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

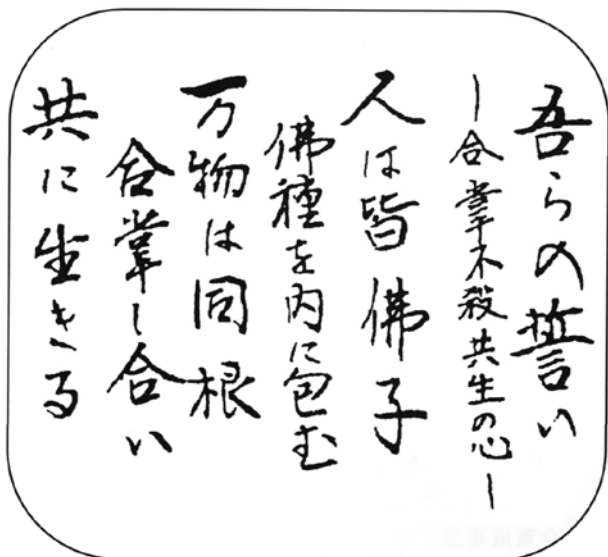
令和 5年 6月 8日

理事長 塩澤 幸一

目 次

はじめに

綱領・年間目標・経営基本方針	1
1 施設の概要	8
2 法人の沿革	10
3 令和5年度経営計画	13
4 役員、評議員及び施設長等	13
5 組織及び職員の配置	14
6 法人の運営	16
7 部門別運営計画及び令和5年度の状況	28
1. 同仁会児童家庭支援センター	28
2. 児童家庭支援センター あいびー	32
3. 発達障害者支援センター COLORSつくば	35
4. 同仁会地域子育て支援センター	37
5. 保育所型認定こども園 同仁東保育園	42
6. 放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ	47
7. 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩	50
8. 児童養護施設 臨海学園	53
9. 児童養護施設 同仁会子どもホーム	61
10. 児童養護施設 内原和敬寮	68
11. 児童養護施設 つくば香風寮	76
12. 乳児院 同仁会乳児院	85
13. さくらの森乳児院	93
14. 児童心理治療施設 内原深敬寮	101
8 令和5年度収支予算書及び令和4年度決算の状況	108



創設者理事長 遠藤 光静 書

綱 領

『合掌深敬の心』

三つの誓い

ふ	せ	(あた	よるこ	を	まな
布	施		える	び	を	学
持	戒	(おのれ	ちか	い	を
智	慧		ゆた	かな	精	神
			か	な	を	培
			え			え

大自然は“共生”の大原則のもと、それ自体の摂理と自浄作用により全体のバランスを保ち生存維持の営みを続けている。

人間も自然の一部として、この生の営みの埒外ではない。この事は自然保護や環境保全が新しい現代の人間課題として登場してきた現実に照らしても自明である。

“釈迦牟尼”－仏陀の教示する不殺生の戒は、現代的にはこの共生の原理に当るものである。また所謂、共存や生命尊重も以上の事を踏まえたうえでの論理に立つものである。とりわけ、生命尊重は何人も仏性（己を高めたい願望）を内蔵する故に尊く、また人間の仏教的生きる使命は、その内なる能力開発（仏性開顕）にあると訓されている。福祉が人間の幸福課題を希う実践であろうとする限り、その人間課題の深い部位で、仏陀の覚り得たものと密に弧を接する群類にあると言える。

本会はこのような基本理念に立ち、福祉の実践を目指すものである。関係者一同、この共通理解に立ち職分を自覚し、異体同心にその担い手として社会福祉の一隅を照らそう。

一年間目標

四月 合掌聞法 — 最高の聞き耳を持つ —

話を聞くのに一番大切な事は、関心のある心のベースがある事が物事をよく聞き取る基である。聞法の「法」とは仏教哲学の教える規範、「人はいかに生くべきか」の教を指す。本当は、この事が「生きる」と言う生命を持続している限り第一の関心事である筈だ。

この心構えで話を聞けば、何事も自分の生きる糧とならないものはなく、有り難い事である。限りある人生の中で、見聞き得た事が勉強となるなら、全て合掌感謝とやらなくてはならない。私も子供に法を聞く者である。

五月 持戒和合 — きまりを守る —

客体的な戒としては法律があるが、ここで言う「戒」は主体的戒を指します。客体的集団規制の掟以前の人の生き態に係る、自分が自分に課する戒の事です。速度を高くすればする程、それに対応する制禦が働かない事には実用に役立たない。人間も地位・立場に相応する自己制禦のブレーキが必要である。それを生涯の戒とする人は、立派な人生と言える。和合は実は内なる盲目の自己と自己制禦の葛藤の上に支えられる至宝である。

六月 生命尊重 — 凡ての物の生命を大切にす —

宇宙は一体・全体が連鎖集合の生命体、人間を頂点とする生命体の連鎖生滅、弱肉強食の上に生命が維持されている。

殊に人間の生命は、宇宙の最高の生命顕現として、覚者—仏性—たる可能性を持つ故に尊厳である。それ故、全生命系の支配と同時に護り育てる責任がある。全てをその本来のいのちの如く、完全に自己実現できるよう祈らねばならない。

七月 布施奉仕 — 社会に喜ばれる —

グローバルな生態系の中で、生物は相互に食い合う連鎖関係で生きて居ります。人間だけが食われる連鎖から解放され、色々の生命体を食って生きて居ります。意識して与える事のできるのは人間のみです。その事を踏まえての奉仕の心です。大乘仏教の布施行は、意識して他に与え、みかえりを求めない修行です。

「財 施」 無償の金品施与の行です。心がければ誰でもできます。それでも「あんなにしてやったのに」と愚痴るもの、求めない事は至難の技です。

「法 施」 人間の生き態、ものの道理を教えてあげる、心の糧を与えられる人は幸せです。

「無畏施」 危難や生死の関頭に立って安祥として対処できる悟道を与える事、凡人のできない事です。身体で、口で、意で常に心掛ける事が大切です。

八月 自利利他 — 相手の立場を考える —

仏教は物の道理を教える理論を持って居ります。「因縁」と言う言葉がそれです。よく「袖ふれ合うも多生の縁」等と言います。物事は全て因が先ず有って、それが縁にふれ果が生じ、その果がまた第二因となって、縁にふれ第二果を生む、連鎖して無尽の相関関係の世界を展開します。

人と人の結び付きも無尽世界そのものです。その中で本能的に生きる限り、誰もが自利を追求するのは当然です。

だが人間相互の係りは、自利が利他になる様な積算が成立しない限り、個と個は結ばれる事はありません。自利とは利他によって与えられたものです。この事を踏まえて、自利を得る「受け皿」をつくる事が先決です。

「利他行」 他^{りたぎょう}の為にお役に立つ心掛けは、社会生活の基本です。利他行なくして得たものは、本当の自分のものでなく、一時預りのようなものです。

九月 報恩感謝 — 有難うと心から言える —

マスコミ情報^{うず}の渦、騒忙^{そうぼう}の日々の中では、自己凝視^{ぎょうし}とは縁遠いものとなりました。今日只今、此処^{こんにちただいま}に存生^{ぞんじょう}する自己を凝視^{ぎょうし}することを仏教^{きび}は厳しく教えて居ります。親ありて、師ありて、友人ありて、郷土故国ありて、親、師、衆生^{しゅうじょう}、国土^{こくど}の四恩^{しおん}を掲げて居ります。

人間だけができる自己^{めぐ}を環る凝視^{めく}の深い温もりと、ほのぼのとした感謝^{じょうねん}の情念^{じょうねん}です。生命のルーツ、育ての親、学習し得た師友先輩、自然の山河、国土風俗等、どれを取っても自分を養い^{はぐく}育^いんでくれた大自然の営^{いとな}みです。一つ一つの反省点検を経て、無償^{むしょう}享受^{じょうじょう}の施与^{せよ}を受けて居る事にハッと気付いたものです。四恩を感じ取れる人は、この施与^{せよ}に応え、亦、感謝「ありがとう」の言葉の素直に言える、内懐^{うちぶとこ}の深く豊かな人です。そんな人に育て、なりたいものです。

十月 同事協力 — 心こもる協力 —

お互いに同じ空の下、同じ時代を共受共有して「今ここにある」と言う己の存在を考えてみた事がないだろうか。当り前の事を、永遠の時、無限の空間の位相^{いそう}で考えてみる。そう言う位相^{いそう}に己を打ち据えて探求する。同事とはその様な哲学する姿勢である。そこでは大きな価値転換、つまり偶然、当り前の事が必然なものとなり、私と他者との出会いが運命的必然として再生してくる。

同事協力とは、だからそんな深い思索^{しそく}の底で縁^{ほんしょう}の本性に^{ほんしょう}気が付き、心から協力する生き方である。思い付きや、一寸^{ちよつと}した縁での協力もあるが、親兄弟、夫婦、恩師上司、親友同僚等、その関係には浅深^{せんしん}があるが、「袖ふれ合うも多生の縁」とやら、路傍^{ろぼう}のものとして過ぎ去って行くのではなく、心の永遠の相の窓に映し、心の中にどのように慈^{いつく}しみ育てるか、豊かな人生^{きず}を築^{かぎ}く鍵でもあると言えよう。

十一月 精進努力 — 己の成長を愛せ —

秋もたけなわ、自然は秋の果実をみのらせ、「食欲の秋」とも言われる。“精進料理”と言われ魚介類を使用しない仏教の調理がある。心身を調和して養い、求道修行の目的^{はた}を果すに好都合な料理の意味である。

人も自然の一部として、その自然環境に育つ食物によって生き、生かされている。「身土不二」と言う東洋思想がその事を物語っている。肉体は環境自然に依^よって養われて居り、だとすれば大地と肉体とは大きく連続して居ると思惟^しする発想である。

霊長類^{れいちよう}としての人の生きて居る目的は、自然の調和^{じゆんのう}に順応して、地上に平和の世界を実現する事である。その為の生命、その生命維持の為の「食」である限り、徒らに肉体生理上の糞として排出する丈ではない。それは身を養い、そのエネルギーを社会に活性化する事である。精進努力とはその様な深い意味をもつものである。

十二月 忍辱持久 — 苦しい事に耐える —

受刑者が、「刑務所を出る」ことを「沙婆^{しゃば}に出る」と言う。シャバとは梵語で、「忍土^{にんど}」と訳す。人間の生きるこの世は、苦しい事^{いや}や嫌な事に耐えて生きる世界であると言う大前提が、仏教には先ずあることを考えて見る事である。物質文

明の恩恵に浴し、その中にどっぷりと埋没した現代は、エゴだけが露出し、耐える事を忘れかけた時代とも言えるかも知れない。

その様な時代だからこそ、肉体の鍛練の凡ゆるスポーツが大切なと同様に、意図的な自己耐性の涵養が心がけられるべきである。仏教の忍辱持久の徳目は、人が生きる姿を、耐えてゆく事と捉えた大前提に立って、凡ゆる苦しい事に立ち向かって生きる生き態を教えて居るものとして意味深いものと思う。

自己の耐性は誰も手伝ってくれないもの、自分で開発するしかない徳目である。

一月 和顔愛語 — 心に慈愛をたたえ、相手の為になる言葉かけをする —

「愛語」とは、その言葉が、その人の人生の転機となる、亦は生涯の生活の指針となる様な言葉。だから常に心の奥深く、他者を慈愛する心がなくては生まれない一語である。従って愛語を発する時は自然に、慈しみをたたえた和顔であるので「和顔愛語」と言う。

悟りを得た後の仏陀の言葉は、衆生慈愍の言葉を謂うもの、全てが和顔愛語である。愛憎、悲喜、怨恩等々現実の姿を、仏智見と言う絶対慈悲の境位で把える世界である。親の児に示す、無条件の慈愛、犠牲、奉仕、言葉かけ、どれ一つ取っても、人間の持つ靈性、仏性の一分顕現である。

愛語は、にたにた笑いからは出ない。時には仁王の様な叱怒も伴う。心底は和顔なのである。無償の慈愛なしには一語もない世界だ。

二月 禪定寂靜 — 心を無の状態に静坐し、常に根源的発想を養うこと —

人間開発を心身共に最高に開発活性化し、地上楽土を建てる事が仏教の目的である。仏陀の切り開いた内証の世界は、禪定と言う静坐の姿勢から得た地上最高の精神世界である。

独生独死、独去独来と言われる自己の「己れ」とは何者かを見据えて見る事は大切な事である。情報時代と言われる、余りにも多種多様な情報に包まれ、時に情報選択すら放棄し慌しく返す日々の多い今日この頃、心掛けねばならない事である。心の大掃除、点検、自己回復の手段である。人は半神半獣、靈肉二重層の世界を生きる、欲望と言う名の馬車に乗る生きものである。

臍下丹田呼吸は坐禅の初歩、そして奥儀である。自信溢れる福祉実践者は、丹田を養生する事から始まる。一呼吸置いてする心掛けである。

三月 智慧希望 — 困難を乗り越えてゆく人生智を持ち、祈りと希望を捨てるな —

人の生活する現実、は、相対の世界である。苦楽、愛憎、悲喜は、相互に裏腹である。この相即相対の原理に立って、苦に居て、楽の日の近い事を、愛の日々が、憎の時にならない様、発想出来る人間訓練が望まれる。

智慧とは、知識とは異なる流動的な生の流れの真っ只中で行なわれる人格的総合判断である。

多難の人生、毎日が決断の日々であるが、決断に戸惑う暗黒の日もないとは言えまい。そんな時は、動かずじっと希望を捨てず、祈る事である。祈りは、危機に臨んで最高のエネルギーを分与してくれる。祈り、希望しない処には何も生まれて来ないからである。

仏語の智慧とはもっと高次元のものだが、我々も常にこの人生を切り開いてゆく智慧を養いたいものである。

誓 願

綱領及び年間目標は、創始者初代理事長遠藤光静氏が描いた熱き思いである。

私たちは、永遠の課題としてこの基本理念を尊重し、誠心努力することを誓願する。

理 念

綱領「合掌深敬の心」を基本理念とする。

合掌深敬とは「感謝して深く敬う」との言葉であるが、狭義では人間尊重や個性尊重を意味している。しかし、課題として捉えるには漠然としている。故に、これを「人権を守る」と定義し、以下のとおり解釈する。

- ① あなたのことを知っています
- ② あなたに関心があります
- ③ あなたを必要としています

これらを具現化するために、次のとおり実践する。これらが、私たちのめざす「自立支援」の基本です。

- (1) 「あなたのことを知っています」とは、その基本は名前を知っているということです。必ず名前を呼ぶようにします。
- (2) 「あなたに関心があります」とは、人間関係を示唆し、その基本はあいさつすることにあります。常に明るくあいさつすることを心掛けます。
- (3) 「あなたを必要としています」とは、「ありがとう」と言葉でいえることです。私たちは福祉を志し、奉仕やボランティアのこころを強く持っているため、常々「ありがとう」と言われる立場にあります。しかし、福祉の専門職としては、私たちが「ありがとう」と言える環境を造ることが求められています。子ども達の行事の参加や常々のお手伝いの中で「ありがとう」と言える場面を沢山造っていきます。

法人の求める職員像

職員は常に自律の心を持ち、他人の為に働く喜びを忘れず、物事に柔軟に対応できることを基本とする。

職員は常に理想を描き、その実現のため他人と協調し、積極的に行動するように努める。

職員は常に法人理念及び年間目標を理解し、正しい判断ができるように研鑽に努める。

- 人事規程第9条
 - 1 人格見識に優れていること
 - 2 常に精進努力を心がけること
 - 3 法人の綱領及び年間目標を理解し、実践できること
 - 4 他と協調し又は共同して業務の推進を図れること
 - 5 情報の収集と分析ができること
 - 6 将来を先見し目標達成のため努力できること
 - 7 安全への配慮と適切な対応ができること

経営基本方針

社会福祉法人同仁会は、専ら児童福祉に関する事業を実施することを宣言し、法人の経営及び事業の実施にあたっては、次の事項を遵守してまいります。

1 人権の尊重

- (1) 法人綱領及び理念の理解と実践に努める。
- (2) 利用者（以下「児童」という。）の権利を尊重したサービスの提供、発展に努める。
- (3) 児童や家族からの苦情、相談に対して誠意を持って対応するとともに、第三者委員制度の活用などにより、適切な是正、改善に努める。
- (4) 児童や家族のプライバシーや個人情報の保護に努める。
- (5) 人権の尊重や個人の尊厳への配慮意識を高める研修を定期的実施する。

2 サービスの質の向上

- (1) 児童の個性や特性に応じ、児童自身が自主的、主体的に活動できるように支援する。
- (2) 家庭との連携及び相互理解を図りながら、早期に家庭復帰ができるように家庭環境の整備に努める。
- (3) 施設ごとにサービス提供方針、業務手順や必要なマニュアルを策定し、職員に浸透させる。
- (4) 施設ごとにリスクマネージャーを置くとともに、共通理解を図るためリスクマネージャー会議を定期的開催する。
- (5) 第三者評価の受審により、客観的な視点でサービスの質をチェックする。
- (6) 学校教育との連携協力体制を構築し、一体とした支援に努める。

3 地域との連携協力

- (1) ボランティアの受入を積極的に行い、住民参加による福祉の実践に努める。
- (2) 地域の関係機関、団体とのネットワークの構築に主体的に関わり、福祉ニーズを抱える住民への適切な支援の基点となるように努める。
- (3) 地域の再生又は活性化に向け、町おこしや雇用の創出に積極的に関わるとともに、人の集う場の提供等に努める。

4 コンプライアンス（法令及び法人倫理遵守）の徹底

- (1) 法令及び法人倫理の遵守の徹底に向けた管理体制や規定を整備し、公共的、公益的かつ信頼性の高い経営に努める。
- (2) コンプライアンスの適切な理解と啓発に努める。

5 説明責任の徹底

- (1) 法人事業や財務に関する情報を積極的に公開し、透明性の高い経営を実現する。
- (2) サービス提供に関する適切な記録と保管を行う。
- (3) 児童との信頼関係の構築及び地域とのコミュニケーションに努める。

6 関係業者との適正な契約関係の構築

- (1) 関係業者との公正、透明かつ自由な取引に努めるとともに、適正な契約関係の構築を行う。
- (2) 反社会的勢力や団体に対する対応マニュアルを策定する。

7 行政との連携・協力の促進

- (1) 行政との連携及び協働により、地域の課題への積極的な対応に努める。
- (2) 行政との透明性の高い関係を構築する。

8 人材育成、適切な人事・労務管理の実践

- (1) 人材育成に関する方針を明確にし、研修体系の整備等、人間性の向上や必要な能力開発に努める。
- (2) 職員の自己研鑽を支援する。
- (3) 職員の自己実現に配慮し、多様な人材が個々の能力を発揮できる職場づくりに努める。
- (4) 労働関係法令の遵守と適切な労務管理を実施するとともに、適正な人事制度を構築する。また、高齢者、障害者の働く場の確保に努める。
- (5) 安全で健康的な職場環境を確保し、快適な働く場の実現に努める。
- (6) 福祉職員養成における実習及び教員養成課程における介護等実習を積極的に受入、質の高い人材育成に資する。

9 公共的・公益的取組の推進

- (1) 地域の児童福祉ニーズを幅広くかつ迅速に把握するように努め、先駆的、開拓性のある事業経営を実践する。
- (2) 地域において児童の支援を要する者に対して、既存制度の枠組みにとらわれずに支援の実施に努める。

10 組織統治の確立

- (1) 経営に対する適切なチェック・牽制機能の強化を意図した組織作りに努める。
- (2) 外部監査を実施し、事業、財務に関するチェックを行う。
- (3) 公益通報者保護法に基づく相談・通報窓口を整備する。

11 財政基盤の安定化

- (1) 業務分掌及び職務権限を明確にし、適正な会計処理が行える体制を整備する。
- (2) 施設の長及び会計担当職員は、会計処理に必要な知識の習得に努める。
- (3) 法人の経営状況及び財務状況をホームページや広報誌等により積極的に公表し、透明性の高い財務管理に努める。
- (4) 施設整備など長期的計画に基づき、積立等の資金管理を実施する。
- (5) 職員全員のコスト意識の醸成を図る。

12 経営責任の明確化

- (1) 事件事故が発生した場合は、理事長又は施設の長が率先して対応に当たり、原因の究明、被害の拡大の防止、再発防止策の明確化等、責任ある対応に努める。
- (2) 理事長又は施設の長は、事実関係や再発防止策を公表するなど、迅速な説明責任を果たす。
- (3) 施設の長は、日常的にリスクマネジメント及び危機管理の具体的な取組を行う。

1 施設の概要 (同仁会ホームページ : <http://www.doujinkai.or.jp/>)

1) 同仁会子どもセンター

所在地 〒318-0011 茨城県高萩市肥前町 1-80

敷地 3,449.93 m²

建物 鉄骨造 4階建 (一部地下1階) 3,160.15 m²

児童養護施設 臨海学園 (定員 30名)

TEL 0293-22-2357 FAX 0293-23-3224 E-mail rinkai@doujinkai.or.jp

施設長 塩澤幸一

乳児院 同仁会乳児院 (定員 20名)

TEL 0293-23-6251 FAX 0293-23-3224 E-mail baby@doujinkai.or.jp

施設長 谷由紀子

同仁会児童家庭支援センター

TEL 0293-22-2471 FAX 0293-22-0337 E-mail kodomo@doujinkai.or.jp

TEL 0293-22-0318 (相談専用電話)

センター長 芳賀英友 (兼務)

法人事務局

TEL 0293-23-3245 FAX 0293-22-4260 E-mail mail@doujinkai.or.jp

事務長 遠藤雅明

2) 認定子ども園 同仁東保育園 (定員 135名)

所在地 〒318-0013 茨城県高萩市高浜町 2-35

敷地 1,944.01 m² (内借地 906.01 m²)

建物 鉄骨・木造コンクリート屋根スレートかわらぶき陸屋根2階建
993.36 m²

TEL 0293-23-6121 FAX 0293-23-2413 E-mail higashi@doujinkai.or.jp

施設長 今橋優子

3) ゆうゆう館

所在地 〒318-0012 茨城県高萩市有明町 1-144

敷地 506.36 m²

建物 鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根2階建 399.74 m²

放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ (定員 40名)

TEL 0293-23-7643 FAX 0293-20-5103 E-mail club@doujinkai.or.jp

子育て支援拠点事業 同仁会地域子育て支援センター

TEL 0293-20-5559 FAX 0293-20-5103 E-mail kosodate@doujinkai.or.jp

館長 伊藤ミサ子

4) 児童養護施設 同仁会子どもホーム (定員 25名)

所在地 〒318-0024 茨城県高萩市秋山 712-1

敷地 1,736.04 m² (借地)

建物 本館：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 494.74 m²

ユニット棟：木造合金メッキ鋼板ぶき2階建 164.41 m²

TEL 0293-23-3254 FAX 0293-20-5188 E-mail home@doujinkai.or.jp

施設長 芳賀英友

5) 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩 (定員 10名)

所在地 〒318-0012 茨城県高萩市有明町 1-46

敷地 538.93 m²

建物 木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 111.79 m²

TEL 0293-44-7301 FAX 0293-23-7302 E-mail kureyon@doujinkai.or.jp

責任者 伊藤 ミサ子 (兼務)

6) 内原同仁会子どもセンター

所在地 〒319-0325 茨城県水戸市小林町 1186-84

敷地 14,125.26 m² / 4,139.11 m²

建物 和敬寮本館：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 1205.10 m²

小規模ユニット棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 345.43 m²

管理棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 302.67 m²

深敬寮本館：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 1,751.91 m²

学校棟：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 739.18 m²

児童家庭支援センター：鉄骨造2階建 323.06m²

児童養護施設 内原和敬寮 (定員40名)

TEL 029-212-5054 FAX 029-239-3083 E-mail wakei@doujinkai.or.jp

施設長 西野宮 由紀

児童心理治療施設 内原深敬寮 (定員入所35名・通所10名)

TEL 029-212-5053 FAX 029-239-3082 E-mail uchihara@doujinkai.or.jp

施設長 渡邊 孝幸

内原同仁会事務局

TEL 029-257-5501 FAX 029-259-6688

児童家庭支援センター あいびー

TEL 029-291-3770 FAX 029-291-3772

センター長 西野宮 由紀 (兼務)

7) つくば同仁会子どもセンター

所在地 〒300-1245 茨城県つくば市高崎 802-1

敷地 6,152.00 m² / 1,856.21 m²

建物 つくば香風寮本館：鉄骨造陸屋根2階建 1,074.92 m²

さくらの森乳児院本館：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 457.95 m²

管理棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 323.30 m²

COLORS棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 159.35 m²

児童養護施設 つくば香風寮 (定員30名)

TEL 029-875-3451 FAX 029-875-3460 E-mail tukuba@doujinkai.or.jp

施設長 江原 勝久

乳児院 さくらの森乳児院 (定員20名)

TEL 029-875-3452 FAX 029-875-3460 E-mail sakura@doujinkai.or.jp

施設長 小林 亮一

発達障害者支援センター COLORSつくば

TEL 029-875-3485 FAX 029-875-3486 E-mail colors@doujinkai.or.jp

センター長 江原 勝久 (兼務)

2 法人の沿革

設立発起人 遠藤光静
大高新一郎
今川三九郎
鈴木藤雄
滝宗作

年月	種別	概要
昭和25年 4月	(同仁会)	創立者 遠藤光静氏、自坊にて里子3名を養育
10月	(同仁会乳児院)	日立市助川町2-15を市より無料貸与 恩賜財団同胞援護会日立支会「日立乳児預かり所」認可 定員9名(10月7日)
昭和27年 1月	(臨海学園)	建設中の施設建物焼失、焼失時竣工率80%(1月12日)
6月	(臨海学園)	秋山小学校廃材にて竣工、「高萩臨海学園」認可 定員40名(6月24日)
昭和28年 4月	(同仁会乳児院)	保育棟増築(共同募金会・日立市補助)
昭和30年 4月	(臨海学園)	定員50名に増員
昭和32年 3月	(同仁会乳児院)	恩賜財団同胞援護会日立支会解散、私立日立乳児院となる
昭和37年 11月	(同仁会)	社会福祉法人設立認可、「高萩臨海学園」と称す
11月	(同仁会)	遠藤光静氏、初代理事長に就任
昭和38年 3月	(臨海学園)	児童小舎寮新築(お年玉付年賀はがき寄付金補助事業)
4月	(臨海学園)	御下賜金拝受
8月	(臨海学園)	調理室改築
昭和39年 4月	(同仁会乳児院)	御下賜金拝受
7月	(臨海学園)	臨海学園本館全面改築(日本自転車振興会補助事業)
昭和41年 11月	同仁会	法人名称変更 「同仁会」と改称
昭和42年 4月	臨海学園	「臨海学園」と改称
4月	(同仁会乳児院)	創設者院長 立花 寿氏 物故 社会福祉法人同仁会帰属
9月	同仁東保育園	建物竣工、臨時開園(日本自転車振興会補助事業)
10月	(同仁会乳児院)	施設増築、「日立乳児院」認可、定員13名
昭和43年 4月	同仁東保育園	「同仁東保育園」認可、定員60名
昭和44年 4月	同仁東保育園	定員70名に増員
昭和45年 4月	同仁東保育園	定員90名に増員
昭和51年 2月	(同仁会乳児院)	高萩市に施設建物竣工及び移転(日本船舶振興会補助事業・2月5日)
4月	同仁会乳児院	「同仁会乳児院」と改称、定員24名
昭和53年 12月	臨海学園	児童ホール新築(日本自転車振興会補助事業)
昭和54年 12月	臨海学園	調理棟改築(日本馬主協会補助事業)
昭和56年 4月	同仁東保育園	乳幼児室増築、0才児保育開始
11月	同仁会	施設設立30周年記念祝賀会開催

年 月	種 別	概 要
昭和62年 12月	同仁東保育園	幼児室及び遊戯室の増改築（日本自転車振興会補助事業）、障害児保育開始
平成4年 4月	同仁会	施設設立40周年記念
平成6年 5月	同仁会	創設者理事長 遠藤光静氏 逝去
6月	同仁会	遠藤光洋氏 第二代理事長就任
平成7年 4月	同仁会乳児院	定員30名に増員
平成9年 4月	同仁会	法人事務局、高萩市有明町に移転（ゆうゆうクラブ2F）
4月	同仁東保育園	延長保育開始（午後8時まで）
4月	ゆうゆうクラブ	放課後児童健全育成事業「ゆうゆうクラブ」開設、定員40名
平成11年 12月	臨海学園	臨海学園全面改築「同仁会子どもセンター」竣工（国・県補助事業）
平成12年 1月	臨海学園	定員70名に増員
4月	臨海学園	「同仁会児童家庭支援センター」の付置
4月	同仁会乳児院	同仁会子どもセンターに移転合築、定員35名に増員
4月	同仁会乳児院	「同仁会子育て支援センター」の付置
平成13年 4月	臨海学園	定員80名に増員
4月	同仁会乳児院	定員40名に増員
4月	同仁東保育園	一時保育開始
4月	同仁会子どもホーム	児童養護施設「同仁会子どもホーム」設置認可、定員26名（旧乳児院跡地）
平成14年 5月	同仁会	評議員会設置
5月	同仁会乳児院	乳児室増築のための確認申請完了（事業の実施は延期）
10月	同仁東保育園	保育園舎増改築（高萩市補助事業）
平成15年 2月	同仁会	施設設立50周年記念祝賀会開催
3月	同仁会	児童情報管理システム導入（臨海学園・子どもホーム）
3月	同仁会乳児院	乳児室内部改装工事実施
3月	同仁東保育園	保育園舎増改築工事完了
4月	同仁会乳児院	同仁会子育て支援センターの廃止
4月	同仁東保育園	「同仁会地域子育て支援センター」の付置
7月	内原深敬寮	情緒障害児短期治療施設「内原深敬寮」設置認可 計法定員30名（通所10名・入所20名）
7月	内原和敬寮	児童養護施設「内原和敬寮」設置認可、定員30名
平成16年 3月	同仁会	法人事務局、高萩市肥前町に移転（同仁会子どもセンター内）
3月	同仁東保育園	同仁会地域子育て支援センター、ゆうゆうクラブ2Fに移転
4月	臨海学園	ユニットケア推進のため小規模改修
4月	同仁東保育園	定員120名に増員
4月	内原深敬寮	計法定員40名（通所10名・入所30名）
4月	内原和敬寮	定員40名に増員
4月	内原同仁会	第二期内原同仁会大規模改修工事（国・県補助）
平成17年 3月	内原和敬寮	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
4月	臨海学園	定員70名に減員
4月	内原深敬寮	計法定員35名（通所5名・入所30名）
7月	内原同仁会	従たる事務所設置
10月	同仁東保育園	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
10月	同仁会子どもホーム	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
平成18年 11月	臨海学園	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）

年 月	種 別	概 要
平成19年 4月	内原深敬寮	計法定員40名（通所5名・入所35名）
平成20年 3月	同仁会	法人中長期経営計画策定
平成21年 4月	同仁会	地域子育て支援拠点事業独立
4月	同仁会	一時預かり保育事業独立
平成23年 4月	臨海学園	定員40名に減員
4月	同仁会乳児院	定員20名に減員
4月	同仁会子どもホーム	ユニット棟竣工・開設
4月	つくば香風寮	児童養護施設「つくば香風寮」開所、定員30名
4月	さくらの森乳児院	乳児院「さくらの森乳児院」開所、定員20名
4月	同仁会	一時預かり保育事業を保育園に統合
平成24年 5月	内原深敬寮	施設建物改築のため体育館解体撤去
平成25年 3月	内原深敬寮	内原深敬寮全面改築・竣工（県補助事業） 旧深敬寮建物解体撤去
4月	内原深敬寮	高校生の措置受入開始
平成26年 2月	内原和敬寮	内原和敬寮全面改築・竣工（県補助事業）
3月	内原和敬寮	旧和敬寮建物解体撤去
4月	臨海学園	定員30名に減員
4月	内原和敬寮	定員42名に増員
平成27年 4月	臨海学園	定員29名に減員
4月	内原和敬寮	定員40名に減員
平成28年 4月	同仁会子どもホーム	定員25名に減員
平成29年 4月	臨海学園	定員30名に増員
5月	同仁東保育園	園舎（乳児棟）改築・竣工（自主財源）
11月	内原和敬寮	児童養護施設退所者等アフターケア事業を茨城県から受託
平成30年 3月	同仁会	第二期法人中長期経営計画策定
4月	同仁会子どもホーム	「同仁会児童家庭支援センター」の付置
平成31年 1月	COLORSつくば	発達障害者支援センター事業を茨城県から受託
平成31年 3月	くれよんクラブ高萩	くれよんクラブ高萩事業所新築・竣工（高萩市補助事業）
4月	くれよんクラブ高萩	障害児通所支援事業「くれよんクラブ高萩」開所・定員10名
令和元年 6月	同仁会	塩澤幸一 第三代理事長就任
11月	内原和敬寮	里親リクルート事業を茨城県から受託
11月	つくば香風寮	里親リクルート事業を茨城県から受託
11月	COLORSつくば	COLORSつくば事業所新築・竣工（自主財源）
12月	内原深敬寮	内原深敬寮学校棟全面改築・竣工（自主財源） 993.36 m ²
令和2年 6月	内原和敬寮	「同仁会児童家庭支援センター あいびー」の付置
令和4年 2月	さくらの森・あいびー	里親訪問等支援事業を茨城県から受託
3月	同仁会子どもホーム	ユニット棟増築
4月	同仁東保育園	保育所型認定こども園に移行 定員135名に増員
4月	香風・さくら・あいびー	フォスタリング事業を茨城県から受託（他法人と共同受託）
4月	くれよんクラブ高萩	保育所等訪問支援事業開始
6月	同仁会	同仁会子どもセンター大規模修繕工事完了（臨海学園・同仁会乳児院のオールユニット化）

3 令和5年度経営計画

同仁会子どもセンターの修繕工事が昨年6月に竣工し、昨年7月から臨海学園と同仁会乳児院の子どもたちが新しい部屋で過ごしています。国の指針であり、長年の懸案事項でもあった小規模ユニット化に対応できる臨海学園・同仁会乳児院の施設整備がやっと完了しました。

令和5年度も同仁会の理念に則り、本年から5年先までの第二期後期法人経営中期計画を立案しました。

引き続き、重要な課題である福祉人材の確保や処遇の改善、離職率の改善に取り組むとともに、法令遵守を一層強化し、人権に配慮した安全で安定した組織運営に努めます。

様々な課題はありますが、令和5年度は以下の事項について計画をいたします。

1 事業の方向

- (1) 策定した第二期中期経営計画の後期計画に基づいた経営
- (2) 社会的養育推進計画に沿った事業の検討
- (3) さくらの森乳児院の小規模ユニット化に向けた施設整備工事の着工
- (4) くれよんクラブ高萩の訪問・相談支援事業の体制づくり
- (5) 通所施設（保育園・ゆうゆう館・くれよん）各事業の連携強化
- (6) 保有地の在り方の検討

2 組織の強化

- (1) 専門家（弁護士、公認会計士、社会保険労務士）の活用
- (2) リスクマネジメント及び危機管理の強化
- (3) BCP（事業継続計画）の検討・策定

3 人材の確保・育成・定着

- (1) 人材確保に向けた取り組みの強化
- (2) 人権擁護・虐待防止に対する法人研修の継続実施
- (3) 人事考課制度の継続実施

4 財政基盤の強化

- (1) 予算管理の徹底による財務管理の強化
- (2) 各種加算の確保などによる収入増と無駄の排除による経費削減

4 役員、評議員及び施設長等

(イ) 役員（任期：令和5年6月8日～令和6年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会議の終結のときまで）

理事長	塩澤幸一	理事	草間吉夫
理事	遠藤雅明	理事	西野宮由紀
理事	江原勝久	理事	今橋優子
監事	大部忠則	監事	岡田豊和

(ロ) 評議員（任期：令和3年6月10日～令和6年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

大橋正男	大平敏明
大高達也	渡邊操
安藤みゆき	鈴木教予
川口啓予	

(ハ) 評議員選任・解任委員会（任期：令和3年3月18日～令和6年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

監事代表	岡田豊和	外部委員	宮田哲郎
事務局	高島早苗	外部委員	三國省治

(ニ) 常任役員

理事長	塩澤幸一	高萩地区入所代表経営役員
事務長	遠藤雅明	
代表経営役員	今橋優子	高萩地区通所支援施設代表経営役員
〃	西野宮由紀	内原地区施設代表経営役員
〃	江原勝久	つくば地区施設代表経営役員
理事	草間吉夫	学識経験者

(ホ) 施設経営役員

1) 高萩地区入所施設経営役員

参事	塩澤幸一	副参事	谷由紀子
副参事	芳賀英友	参事補	野田潤一郎
参事補	加藤温子		

(3) 職員の職層

令和5年4月1日現在

施設名		参事	副参事	参事補	主査	副主査	企画員	企画 研修員	研修員	合計
本部事務局	男性	1								1
	女性					1				1
	計	1				1				2
臨海学園	男性	1		1	1		1	1	4	9
	女性						1	3	18	22
	計	1		1	1		2	4	22	31
同仁会乳児院	男性									0
	女性		1	1			5	3	25	35
	計		1	1			5	3	25	35
同仁東保育園	男性							2		2
	女性		1	1		2	2	3	16	25
	計		1	1		2	2	5	16	27
ゆうゆう館	男性								1	1
	女性				1			1		2
	計				1			1	1	3
同仁会児童家庭支援センター	男性						1	1	1	3
	女性							1	5	6
	計						1	2	6	9
同仁会子どもホーム	男性		1			2	1	1	2	7
	女性					1	1	2	11	15
	計		1			3	2	3	13	22
くれよんクラブ高萩	男性									0
	女性						1	1	3	5
	計						1	1	3	5
内原和敬寮	男性				1		1	3	3	8
	女性	1				1		3	18	23
	計	1			1	1	1	6	21	31
児家セン あいびー	男性							1	2	3
	女性						1	1	4	6
	計						1	2	6	9
内原深敬寮	男性		1			1	4	4	4	14
	女性						1	5	16	22
	計		1			1	5	9	20	36
つくば香風寮	男性		1		1			2	4	8
	女性						4	4	17	25
	計		1		1		4	6	21	33
COLORSつくば	男性	1						3		4
	女性							1	1	2
	計							4	1	5
さくらの森乳児院	男性		1							1
	女性				1		4	6	24	35
	計		1		1		4	6	24	36
合計	男性	3	4	1	4	3	6	18	21	60
	女性	1	2	1	2	5	20	34	158	223
	計	4	6	2	6	8	26	52	179	283

6 法人の運営

1) 評議員会

- ＜令和5年度事業計画＞
- 第69回評議員会《令和5年6月8日予定》
- 第1号議案 令和4年度事業報告(案)について
 - 第2号議案 令和4年度決算報告(案)について
 - 第3号議案 理事・監事の改選について
- 第70回評議員会《令和5年11月24日予定》
- 第1号議案 令和5年度第1回補正予算(案)について
- 第71回評議員会《令和6年3月28日予定》
- 第1号議案 令和5年度最終補正予算(案)について
 - 第2号議案 令和6年度経営・運営計画(案)について
 - 第3号議案 令和6年度当初予算(案)について

2) 評議員選任・解任委員会

- ＜令和5年度事業計画＞
(開催予定なし)

3) 理事会

- ＜令和5年度事業計画＞
- 第257回理事会《令和5年5月23日》
- 第1号報告 令和4年度第三者評価結果並びに自己評価の結果について
 - 第2号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
 - 第1号議案 令和4年度事業報告(案)について
 - 第2号議案 令和4年度決算報告(案)について
 - 第3号議案 理事・監事候補者の推薦について
 - 第4号議案 評議員会の開催について
- 第258回理事会《令和5年6月8日予定》
- 第1号議案 理事長の選定について
 - 第2号議案 さくらの森乳児院増改築工事に係る請負業者の選定方針について
- 第259回理事会《日付未定》
- 第1号議案 さくらの森乳児院増改築工事に係る工事請負契約の選定方針について
- 第260回理事会《令和5年11月24日予定》
- 第1号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
 - 第1号議案 令和5年度第1回補正予算(案)について
 - 第2号議案 評議員会の開催について
- 第261回理事会《令和6年3月12日予定》
- 第1号報告 社会福祉法人・施設一般検査の結果及び改善処理状況について
 - 第1号議案 令和5年度最終補正予算(案)について
 - 第2号議案 令和6年度経営・運営計画(案)について
 - 第3号議案 令和6年度当初予算(案)について
 - 第4号議案 評議員会の開催について

- ＜令和4年度事業報告＞
- 第66回評議員会《令和4年6月16日》
- 第1号議案 令和3年度事業報告(案)について
 - 第2号議案 令和3年度決算報告(案)について
 - 第3号議案 定款の変更について
- 第67回評議員会《令和4年11月24日》
- 第1号議案 令和4年度第1回補正予算(案)について
- 第68回評議員会《令和5年3月23日》
- 第1号議案 令和4年度最終補正予算(案)について
 - 第2号議案 後期法人経営中期計画及び後期施設運営中期計画(案)について
 - 第3号議案 令和5年度経営・運営計画(案)について
 - 第4号議案 令和5年度当初予算(案)について

- ＜令和4年度事業報告＞
(開催なし)

- ＜令和4年度事業報告＞
- 第253回理事会《令和4年5月24日》
- 第1号報告 令和3年度自己評価の結果について
 - 第2号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
 - 第1号議案 令和3年度事業報告(案)について
 - 第2号議案 令和3年度決算報告(案)について
 - 第3号議案 諸規則の一部改正について
 - 第4号議案 定款の変更について
 - 第5号議案 評議員会の開催について
- 第254回理事会《令和4年11月15日》
- 第1号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
 - 第2号報告 職員の不祥事について
 - 第1号議案 令和4年度第1回補正予算(案)について
 - 第2号議案 諸規則の一部改正について
 - 第3号議案 評議員会の開催について
- 第255回理事会《令和4年12月23日》
- 第1号議案 同仁会子どもホームの運営改善について
- 第256回理事会《令和5年3月14日》
- 第1号報告 社会福祉法人・施設一般検査の結果及び改善処理状況について
 - 第1号議案 令和4年度最終補正予算(案)について
 - 第2号議案 後期法人経営中期計画及び後期施設運営中期計画(案)について
 - 第3号議案 令和5年度経営・運営計画(案)について
 - 第4号議案 令和5年度当初予算(案)について
 - 第5号議案 幹部職員の人事について
 - 第6号議案 評議員会の開催について

4) 監事会
＜令和5年度事業計画＞
《令和5年5月開催予定》

＜令和4年度事業報告＞
《令和4年5月19日開催》

5) サービス向上委員会(苦情解決委員会)
(地区ごとに設置：苦情解決責任者・苦情受付担当・第三者委員2名)
法人の職員・児童及びその父兄、利用者等からの意見提案を広く集め、対応にあたる。

- (1) 高萩地区
受付件数3件
(ゆうゆうクラブ2件・くれよんクラブ高萩1件)
①利用児童から暴言を言われたこと ②職員の対応が不適切であること
③申し出により非掲載とします
※ 3件とも話し合いの結果、解決・了承をいただいています。
- (2) 内原地区
受付件数0件
- (3) つくば地区
受付件数0件

6) 法人運営・連絡会議等

- (1) 定期開催会議等
- | | |
|----------------|--|
| イ) 常任役員会 | 年1回(理事長、理事) |
| ロ) 施設経営役員会 | 原則毎月(施設を4グループに分けて設置) |
| ハ) 管理職員会議 | 年6回 奇数月開催 |
| ニ) 家庭支援会議 | 原則隔月(家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、児童家庭支援センター相談員等) |
| ホ) リスクマネージャー会議 | 法人会議年6回(隔月) |
| ヘ) 栄養士会議 | 年2回 |
| ト) 心理職会議 | 年4回 |
- (2) 随時開催会議等
- | | |
|----------------|-----|
| イ) 処遇システム管理者会議 | |
| ロ) 事務職員会議 | 年6回 |
| その他 | |

7) 法人委員会の事業

＜令和5年度事業計画＞
研修委員会(委員11名)
委員会 …… 12回予定
講演会 …… 3回予定
研究発表会 …… 1回予定
※内容は未定

＜令和4年度事業報告＞
研修委員会(委員11名)
委員会 …… 11回
講演会 …… 3回
研究発表会 …… 1回

○講演会

第1回 令和4年7月14日
テーマ 「理事長講話」
講師 同仁会理事長 塩澤 幸一
会場 各施設(WE B配信・視聴)

第2回 令和4年9月9日
テーマ 「子どもの愛着と発達について」
講師 つくば香風寮 施設長
江原 勝久
会場 各施設(WE B配信・視聴)

第3回 令和4年11月21日
テーマ 「職場のコミュニケーションと
仕事の動機づけ」
講師 NPO法人教員支援ネットワーク
T-KNIT 代表理事
塩畑 貴志氏
会場 各施設(WE B配信・視聴)

○研究発表会

期 日 令和5年2月24日
テーマ 「里親委託率達成に向けて
一施設・里親支援専門相談員
にできること」

内原和敬寮

会 場 各施設 (WEB配信・視聴)

情報公開委員会 (委員9名)
委員会 … 7回予定
広報誌発行 … 2回
第55号 令和5年8月 発行予定
第56号 令和6年1月 発行予定

情報公開委員会 (委員9名)
委員会 …… 8回
広報誌発行 … 2回
第53号 令和4年8月 発行部数 1,500部
第54号 令和5年1月 発行部数 1,500部

8) 法人職員研修

<令和5年度事業計画>

イ) 新規採用職員研修 : 参加職員予定38名

第1回 期日 令和5年4月1日、3日
会場 同仁会子どもセンター
内原同仁会子どもセンター
内 容
「同仁会の理念について」 塩澤理事長
「組織、就業規則、給与規則について」 遠藤事務長
「福祉職員の生活と職場のマナーについて」

西野宮施設長

「児童の権利擁護について」 渡邊施設長

「施設内虐待防止への取り組み」 芳賀施設長

「先輩からのアドバイス」 先輩職員3名

第2回 期日 令和4年10月6日予定

会場 つくば同仁会子どもセンター

内 容

「講話」 江原施設長

「リスクマネジメントについて」 佐々木主任

「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名

「3分間スピーチ」 参加職員発表

第3回 期日 令和5年2月2日予定

会場 同仁会子どもセンター

内 容

「自己管理とメンタルヘルス」 加藤相談員

「子どもの病気と対応について」 鈴木看護師

「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名

「仕事の進め方ほうれんそう」 加藤主任

「3分間スピーチ」 参加職員発表

ロ) 3年次職員研修 : 参加予定職員27名

期日 令和5年5月19日

会場 同仁会子どもセンター

「講話」 今橋施設長

「リスクマネジメントについて」 野田副施設長

「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名

「3分間スピーチ」 参加職員発表

ハ) 新任副グループ長及び新任企画研修員研修

期日 令和5年6月16日

会場 同仁会子どもセンター

「副グループ長・企画研修員に求めること」

芳賀施設長

「予算管理について」 高島事務次長

「同仁会が目指す未来について」 塩澤理事長

「主任からのアドバイス」 市毛主任・根本主任

「3分間スピーチ」 参加職員発表

<令和4年度事業報告>

イ) 新規採用職員研修 : 参加職員予定31名

第1回 期日 令和4年4月1日～2日

会場 同仁会子どもセンター、内原同仁会子どもセンター

内 容

「同仁会の理念について」 塩澤理事長

「組織、就業規則、給与規則について」 遠藤事務長

「福祉職員の生活と職場のマナーについて」

西野宮施設長

「特別講演」 草間理事

「児童に対する支援について」 佐々木主任

「児童の権利擁護について」 飯村主任

「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名

第2回 期日 令和4年10月7日

会場 つくば同仁会子どもセンター

内 容

「講話」 江原施設長

「リスクマネジメントについて」 西野主任

「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名

「3分間スピーチ」 参加職員発表

第3回 期日 令和5年2月3日

会場 同仁会子どもセンター

内 容

「自己管理とメンタルヘルス」 加藤相談員

「子どもの病気と対応について」 鈴木看護師

「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名

「3分間スピーチ」 参加職員発表

ロ) 3年次職員研修 : 参加予定職員26名

期日 令和4年5月20日

会場 Webオンライン

「講話」 今橋施設長

「リスクマネジメントについて」 加藤主任

「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名

「3分間スピーチ」 参加職員発表

ハ) 新任副グループ長及び新任企画研修員研修

期日 令和4年6月17日

会場 つくば同仁会子どもセンター

「副グループ長・企画研修員に求めること」

小林施設長

「予算管理について」 西澤事務員

「同仁会が目指す未来について」 塩澤理事長

「主任からのアドバイス」 佐々木主任・増子主任

「3分間スピーチ」 参加職員発表

二) 5年次職員研修：参加職員11名

期 日 令和5年9月15日

会 場 同仁会子どもセンター

内 容

「講話」	谷施設長
「後輩への教え方・育て方」	荘司主任
「チームワークについて」	佐藤主任
「3分間スピーチ」	参加職員発表

ホ) 主任並びに主査及び副主査研修
：参加職員14名

期 日 令和5年12月15日

会 場 同仁会子どもセンター

内 容

「法人の未来と求めるリーダー像について」	塩澤理事長
「講話」	法人評議員
「労務管理について」	遠藤事務長

9) 県主管課等実地検査の状況

<令和5年度事業計画>

茨城県一般検査

令和5年9月予定

茨城県保健福祉部 福祉指導課 福祉監査室

二) 5年次職員研修：参加職員14名

期 日 令和4年9月16日

会 場 同仁会子どもセンター（オンライン）

内 容

「講話」	芳賀施設長
「後輩への教え方・育て方」	野田副施設長
「チームワークについて」	佐藤主任
「3分間スピーチ」	参加職員発表

ホ) 主任並びに主査及び副主査研修
：参加職員14名

期 日 令和4年12月16日

会 場 同仁会子どもセンター

内 容

「法人の未来と求めるリーダー像について」	塩澤理事長
「講話」	谷施設長
「労務管理について」	遠藤事務長

<令和4年度事業報告>

茨城県一般検査

茨城県保健福祉部 福祉指導課 福祉監査室

令和5年1月10日, 11日, 12日

(1) 実地検査

臨海学園・同仁会乳児院・同仁会子どもホーム
同仁会児童家庭支援センター・内原和敬寮・内
原深敬寮・つくば香風寮・さくらの森乳児院

(2) 書面検査

同仁東保育園

・是正又は改善を要する事項

<臨海学園・同仁会乳児院・同仁会児童家庭支援センター>

・変更後の消防計画について、所轄消防署長あて提出すること

<内原深敬寮>

・厨房の調理施設の点検が実施されていないので調理施設点検表（毎日、定期）を整備し、点検を実施すること

<つくば香風寮・さくらの森乳児院>

・調理従事者等（調乳に携わる職員を含む）において、新規採用職員の保菌検査が採用の2か月前の実施となっていたので前月にも実施すること

<令和4年度事業報告>

○採用選考会

面接選考会

令和4年9月28日・10月8日(第1次募集)

応募者数 30名 採用内定者数 27名

(うち辞退3名)

令和4年10月14日から(第2次募集・随時募集)

応募者数 9名 採用内定者数 9名

○採用の状況(正規職員)

・令和4年 5月 1日付 1名	・令和4年 5月16日付 1名
・令和4年 6月 1日付 3名	・令和4年 7月 1日付 1名
・令和4年10月 1日付 1名	・令和4年12月 1日付 1名
・令和5年 1月10日付 1名	・令和5年 3月 1日付 1名
・令和5年 4月 1日付 33名	

○退職の状況(正規職員)

・令和4年 6月29日付 1名	・令和4年 6月30日付 4名
・令和4年 9月29日付 1名	・令和4年 9月30日付 2名
・令和4年10月24日付 1名	・令和4年11月15日付 1名
・令和4年12月31日付 2名	・令和5年 2月28日付 1名
・令和5年 3月31日付 10名	

10) 職員の採用及び退職の状況

<令和5年度事業計画>

○採用面接選考会

令和5年9~10月予定

11) 令和3年度職員福利厚生状況

1. 退職共済制度への加入（独立行政法人福祉医療機構及び茨城県民間施設退職共済会）

令和3年度実績

加入者数	290名		
加入掛金	独立行政法人福祉医療機構	13,172,000円	
	茨城県民間施設退職共済会	9,255,600円	

2. 茨城県社会福祉施設職員互助会加入

加入者数	290名
加入掛金	1,958,400円（同額を職員も負担）

4. 職員表彰

・茨城県知事

遠藤雅明 高島早苗 加藤温子 下山田奈央子 佐川寿英

・茨城県社会福祉協議会

小野瀬大 小野裕子

・日本保育協会

市毛純子 高星裕美

・茨城県保育協議会

佐藤春菜

・全国児童養護施設協議会

莊司貴代

・法人内表彰(R5.4.1)

勤続25年…1名 20年…2名 15年…7名 10年…7名 5年…11名

3. 職員親睦会厚生委託事業

1. 高萩

1. 会員数/会費 134名/1,625,000円（月額1,000円）

2. 決算

収入	5,178,586円	支出	4,234,404円
会費収入	1,625,000円	福利厚生事業	807,190円
補助金収入	3,318,736円	職員研修事業	538,284円
雑収入	10,257円	グループ別事業	1,218,750円
繰越金収入	224,593円	慶弔費	189,220円
		事務費	16,960円
		退会金積立	134,000円
		卒園者等支援事業費積立	1,330,000円
次年度繰越金	944,182円		

3. 事業

- ・親睦会総会 2023年3月 参加116名（書面表決による）
- ・福利厚生事業
（春の懇親会、役職員懇親会） 実施なし 代替事業として「親睦会写真コンテスト」を実施

・研修・サークル活動事業

- 親睦会研修
 - ・ハーバリウムペン制作（70名）
 - ・ハンドジェル制作（70名）
- サークル活動
 - ・手芸サークル（11名）/・チョコバナナサークル（5名）/音楽サークル（3名）
 - ・外で遊部（5名）/室内で遊部（7名）/Café～やさしい時間～（33名）
 - ・お取り寄せサークル（34名）/ランチサークル（6名）/同仁会トレンド部（5名）

・慶弔（結婚3名 出産2名 退会8名 家族弔意14名 傷病見舞0名）

- ・役員会 年12回開催
- ・卒園者等支援事業 1名（250,000円）

4. 令和6年度事業計画

- ・令和5年度親睦会総会 令和5年5月
- ・新入会員歓迎事業
- ・役職員懇親会 1月（コロナウィルスの状況を考慮して検討）
- ・親睦会研修
- ・サークル活動事業
- ・グループ別事業
- ・職員の慶弔
- ・卒園者等支援事業
- ・役員会（毎月開催）

1. 内 原

1. 会員数/会費 77名/851,000円 (月額1,000円)

2. 決算

収入	2,367,113円	支出	1,750,000円
会費収入	851,000円	歓迎会	350,000円
補助金収入	759,000円	新年懇親会 (代替品配布)	490,000円
雑収入	10,011円	年度末懇親会 (代替品配布)	497,000円
繰越金収入	747,122円	研修に関する事業	45,000円
		忘年会 (代替品配布)	216,000円
		その他 (慶弔費・退会積立金等)	152,000円
次年度繰越金 617,133円			

3. 事業

- ・令和4年度親睦会総会 令和4年 5月24日
- ・サークル活動
 - 「子育て中の食育を考える会」 会員 6名 年6回開催 参加者 20名
 - 「3事業ラポール形成の会」 会員 10名 年6回開催 参加者 26名
- ・歓迎会 令和4年 7月20日 感染予防のため代替品を支給 70名
- ・忘年会 令和4年12月21日 感染予防のため代替品を支給 72名
- ・新年懇親会 令和5年 2月 2.8.9日 感染予防のため代替品を支給 70名
- ・年度末反省会 令和5年 3月22日 感染予防のため代替品を支給 71名
- ・役員会 6回
- ・慶弔 (結婚1名 出産3名 香典4名 退会餞別金4名 傷病見舞金2名)

4. 令和5年度事業計画

- ・令和5年親睦会総会 (日時未定)
- ・新春懇親会・職員歓迎会 (日時未定)
- ・レクリエーション (日時未定)
- ・忘年会
- ・役員会 (年6回)
- ・新年懇親会 (日時未定)
- ・年度末反省会 (日時未定)
- ・研修に関する事業 (日時未定)

3. つくば

1. 会員数/会費 65名/778,000円 (月額1,000円)

2. 決算

収入	2,152,045円	支出	1,635,526円
会費収入	778,000円	年度初めの懇親会 (歓迎会)	11,400円
補助金収入	325,000円	暑気払い	207,000円
雑収入	7円	新年懇親会	431,013円
寄付金収入	10,000円	忘年会	315,000円
繰越金収入	1,039,038円	年度末懇親会 (送別会)	41,060円
		ボーリング大会	83,476円
		その他 (慶弔費)	117,444円
		研修に関する事業 (映画鑑賞)	13,200円
		コロナ慰労会	350,000円
		消耗品	933円
		退会金積立	65,000円
次年度繰越金 516,519円			

3. 事業

- ・親睦会総会 2022/4/27 つくば同仁会子どもセンター地域交流スペース
- ・年度初めの懇親会 (歓迎会) 2022/5/17 各施設にて記念品贈呈のみ実施 12名
- ・コロナ慰労会 2022/6/17 慰労品を支給 70名
- ・暑気払い 2022/7/22 感染予防のため代替品を支給 69名
- ・忘年会 2022/12/13 感染予防のため代替品を支給 63名
- ・新年会懇親会 2023/2/1 感染予防のため代替品を支給 65名
- ・ボーリング大会 2023/2/14 参加者7名 スポーレボウル
- ・年度末懇親会 (送別会) 2023/3/3 各施設にて記念品贈呈のみ実施 6名
- ・研修事業
 - 映画鑑賞会 2022/10/5 USシネマつくばにて実施
 - スポーツ大会 感染予防のため未実施
- ・役員会 年6回開催 (4/11、7/11、8/8、10/10、12/12、2/13)
- ・慶弔 (結婚2名 出産5名 家族弔慰6名 退会餞別金9名)

4. 令和5年度事業計画

- ・令和5年度親睦会総会 令和5年4月27日
- ・年度初めの懇親会（歓迎会） 令和5年5月12日
- ・暑気払い 日時未定
- ・忘年会 日時未定
- ・新年懇親会 日時未定
- ・年度末懇親会 日時未定
- ・研修事業 アウトソーシングサイト「perk」を利用予定
- ・役員会（年6回）

13) 令和4年度寄付受託の状況

現金

・法人本部

大橋 正男 様	30,000 円		大谷 節子 様	100,000 円
今川 恭子 様	30,000 円		霊友会 様	500,000 円
今川 博之 様	20,000 円		ブーケライオンズクラブ 様	100,000 円
(非公表) 様	30,000 円		(株) やまとセレモニー 様	100,000 円

・臨海学園

(株)アンテックス 様	100,000 円		安藤みゆき 様	30,000 円
日本児童養護施設財団 様	50,000 円		佐々木アキ 様	20,000 円
高萩市リベンジャーズ 様	120,000 円		川口啓予 様	30,000 円
グループ常陸乃國 様	32,017 円		沼田武志 様	10,000 円

・同仁会乳児院

(非公表) 様	50,000 円		高萩市歳末助け合い募金 様	90,000 円
高瀬 恵美 様	10,000 円			

・同仁東保育園

20212年度卒園児保護者 様	56,924 円		森永牛乳 様	10,000円
遠藤 雅明 様	10,000 円			

・くれよんクラブ高萩

高萩市社会福祉協議会 様	10,0000円			
--------------	----------	--	--	--

・同仁会子どもホーム

高瀬 恵美 様	10,000 円		(一財)日本児童養護施設財団 様	150,000 円
SBI子ども財団 様	188,560 円		茨城県信用組合従業員組合 様	60,000 円
小野瀬 誠 様	10,000 円		高萩市歳末たすけあい募金 様	120,000 円
荘司 恒夫・房枝 様	100,000 円		(株)アンテックス 様	100,000 円
水戸友好団体 グループ常陸乃國 様	50,495 円			

・内原和敬寮

匿名 様	18,260 円		一般社団法人日本児童養護施設財団 様	50,000 円
------	----------	--	--------------------	----------

・児童家庭支援センターあいびー

匿名 様	40,000 円		(株) 第一生命保険水戸支社 様	6,190 円
------	----------	--	------------------	---------

・つくば香風寮

つくばアウルライオンズクラブ 様	50,000 円		匿名 様	50,000 円
赤川 朱実 様	20,000 円		匿名 様	30,000 円
匿名 様	30,000 円		長松寺 中村 純裕 様	50,000 円
匿名 様	50,000 円		西野 玲子 様	5,000 円
日本児童養護施設財団(あしなが) 様	60,000 円		匿名 様	15,000 円
日本児童養護施設財団(卒園) 様	50,000 円		ヴァンドーン シルル 様	152,000 円
島田 照夫 様	5,000 円			

・さくらの森乳児院

酒井 洋 様	5,000 円		長松寺 中村 純裕 様	50,000 円
つくばアウルライオンズクラブ 様	50,000 円		西野 玲子 様	5,000 円

匿名 様	50,000 円
匿名 様	50,000 円
島田 照夫 様	5,000 円

匿名 様	15,000 円
ヴァンドーン シリル 様	152,000 円

物 品

・臨海学園

高萩市社会福祉協議会 様	米、菓子
日興建設(株) 様	食品
希南商事黒澤 様	米
ヤマサエコネットワーク 様	菓子
菊地青果店 様	果物
森永牛乳 様	食品
イガラシ綜業 様	文具雑貨、ケーキ
フィリップモリスジャパン 様	クリスマスケーキ
全国シャンメリー協同組合 様	シャンメリー
(株)坂東太郎 様	おせち料理
(株)Daska&Desiree 様	チョコレート
(株)エーベン農耕事業部 様	米
(株)チュチュアンナ 様	靴下
JAIFA茨城県協会 様	時計
ほっともっと 様	DVD
カープスフードドライブ 様	食品・日用品
MCMのめぐみ(株)浅野 様	書籍
東海DOS 様	菓子
ファーストリテイリング 様	衣類
リスカ株式会社 様	菓子
としのぶさん家の粉 様	たこ焼き粉
日本鏡餅協会 様	鏡餅
毎味水産株式会社 様	食品
ハタヤグループ仙友会 様	食品
サイバーステップ 様	玩具、雑貨
流通経済大学 様	菓子
第一生命保険(株)日立中央営業オフィス 様	雑貨・絵本

三和ライオンズクラブ 様	文具
絵本「おしえて!くもくん」をすべての子どもたちに届けたいプロジェクト 様	書籍
たなかとも 様、めだか 様	
じゃこめてい出版石川 様	書籍
内田さく 様	菓子
大橋 様	果物
大和田 様	衣類
川口啓予 様	菓子
鹿野光春 様	飲料品
鈴木 様	衣類
関根 様	野菜
中根 様	菓子、飲料
畠山 様	ケーキ
ひまわり 様	菓子、文具、日用品
福田屋 様	野菜
松本 様	菓子
宮田 様	果物
山田 様	菓子
横田文雄 様	菓子、果物
吉岡國彦 様	書籍
作間 様	野菜
柴田 様	野菜
仲西 様	菓子
堤 様	菓子
木村直人 様	ランドセル、文具
鈴木一行 様	青果

・同仁会乳児院

片山 由美子 様	菓子
長谷川 崇 様	玩具
徳井 恵 様	衣類
日本ベビーフード協議会 様	ベビーフード
横浜幸銀信用組合 様	絵本
いばらきコープ 様	紙おむつ、粉ミルク
鈴木 栄子 様	クッション、紙おむつ他
柴田 礼子 様	野菜
NPO法人グルーン 佐藤 様	イチゴ狩り招待、スタイ他
高萩市社会福祉協議会 様	タオル
たんぼぼプロジェクト 様	絵本
植野 美夏 様	玩具、衣類

山田 博元 様	クリスマスプレゼント
井樋 千里 様	粉ミルク
門司 一徹 様	カード他
明治ホールディングス(株) 様	液体ミルク
菊池 陽子 様	玩具
しあわせ健康クラブ 様	菓子
作間 様	野菜
いばらきコープ 様	粉ミルク
(株)ジェイ・ストーム様	七五三祝い
大谷 節子 様	お菓子
NPO着物文化を大切にする会 様	甚平
流通経済大学 様	菓子
篠原 欣子記念財団 様	菓子

・同仁東保育園

菊池青果店 様	メロン・みかん
ひかりのくに 様	飲み物
ITレポリション 様	コーヒー
鈴木商店 様	ワイン
内田さく様	花・菓子
筑波銀行高萩支店 様	お茶
小林 様	菓子、お茶
坂本 様	菓子
渡部 様	菓子

のぞみそろばん 様	菓子
茨城キリスト教大学 様	菓子
超禅 様	菓子・飲み物
渡辺(中郷保育園)様	飲み物
遠藤律子 様	菓子
チャイルド 様	玩具
荒川 様	飲み物
小池 様	菓子
田中 様	野菜

佐藤 様	菓子	小林 様	菓子・飲み物
柳田 様	菓子	佐藤 様	菓子
東 様	菓子	沼田農園 様	野菜
・ゆうゆうクラブ			
橋本 様	菓子	菊池 様	菓子
白土 様	菓子・玩具	手塚 様	菓子
安齋 様	野菜	因幡 様	菓子
比佐野 様	菓子	高島 様	菓子
佐藤 様	菓子	棚谷 様	菓子
茨城県豊高等職業訓練校 様	卓球台 飲み物	高星 様	菓子
・同仁会地域子育て支援センター			
及川 様	玩具・菓子	八重樫 様	玩具
長谷部 様	菓子	佐藤 様	菓子
田中 様	児童書	皆川 様	玩具
・同仁会児童家庭支援センター			
笹山 様	玩具等	NPO法人子ども食堂れん 様	食品
白土 様	玩具等	一般社団法人子ども宅食応援団 様	食品等
大嶋 様	洋服		
・くれよんクラブ高萩			
高塩 様	菓子	広瀬 様	菓子
長谷部 様	菓子		
渡邊 様	菓子		
・同仁会子どもホーム			
谷由紀子 様	食品等	一般財団法人ぐるーん 佐藤 様	おせち料理
阿部正勝 様	食品	茨城コープ 様	食品
石川恭規 様	食品	JA茨城常陸高萩地区女性部高萩支部 様	餅米
一澤アナス 様	食品	一般財団法人日本海老協会 様	車海老
石川恭規 様	食品	全国シャンメリー協同組合 様	シャンメリー
岩本光弘 様	食品	フードバンク茨城 様	食品
植竹麻衣 様	食品	日本鏡餅組合 様	鏡餅
植野美夏 様	食品	NPO法人子ども食堂れん 様	食品
小野瀬秀子 様	食品	餃子の雪松 様	餃子
梶間海斗 様	食品	ドミノピザジャパン鮎川店 様	ピザ
神永好夫 様	食品	DSK&DESIREE 様	チョコレート
小松 肇 様	食品	ハタヤグループ仙友会 様	ラーメン
黒沢真二 様	食品	株式会社坂東太郎 様	おせち料理
小林喜美枝 様	食品	リスカ株式会社 様	菓子
坂本泰雄 様	食品	ホテルテラスザガーデン日立 様	クリスマスケーキ
佐藤浩一 様	食品	フクダヤ 様	野菜
佐藤勇希 様	食品	日本の食卓を明るく食卓クラブ 様	花・野菜の種等
権根一成 様	食品等	株式会社ゆうちょ銀行 様	カレンダー
荘司恒夫 様	食品	NPO法人ALBERI DEL CACAO 様	カレンダー
鈴木一行 様	食品	NPO法人ピルコン 様	書籍
高瀬恵美 様	食品	MCMのめぐみ株式会社 様	書籍
土田順一 様	食品	株式会社じゃこめてい出版 様	書籍
二階堂芳江 様	食品	株式会社フレーベル館 様	書籍
芳賀西次 様	食品	公益財団法人日本漢字能力検定協会 様	教材
山崎 清 様	食品	自習ノート事務局 様	ノート
山本千賀子 様	食品	株式会社ユニクロ 様	衣類
匿名寄付の皆様	食品、書籍、玩具など	株式会社チュチュアンナ 様	靴下
北村和子 様	スーパーマーケットポイントシール	常陽ボランティア倶楽部 様	タオル
竹村千恵 様	衣類、書籍、文具	小泉産業株式会社 様	学習机等
西川智代 様	タペストリー	株式会社サンゲツ 様	カーテン
矢田部悦子 様	生理用品	毎日新聞東京社会事業団 様	玩具等
ヨシノクニヒコ 様	書籍	株式会社ほっともっと 様	DVD

・つくば香風寮

茨城YMCA 様	帽子
つくば市農業委員会 様	じゃがいも
リスカ(株) 様	菓子
お菓子工房 Arisbell 様	ケーキ
県社協福祉事業部(筑西市個人) 様	携帯型扇風機
(福) 向日葵福祉会 中公一 様	お米
(株) Ni j i t o 様	ボディウォッシュ
つくば市社会福祉協議会 様	お米
(一社) 日本海老協会 様	車海老
(株) I T O 様	冷凍餃子
全国シャンメリー協同組合 様	シャンメリー
ほっともっと 様	DVD
(株) アステップ 西内 毅 様	竹歯ブラシ
茨城県社会福祉協議会 様	ハンバーグ
(株) じゃこめいてい出版 様	書籍
(株) ブレッシングス 様	シール
毎日新聞東京社会事業団 様	玩具・ボール・DVD他
日本鏡餅組合 理事長 樋口 元剛 様	鏡餅
(株) ファーストリテイリング 様	衣類
徳力建設工業(株) 様	菓子
コストコホールセールジャパン つくば倉庫店 様	食品
つくばアウルライオンズクラブ 様	クリスマスケーキ

・さくらの森乳児院

マハロ・キッズ保育園 様	洋服・ぬいぐるみ
下妻市ボランティアセンター子育て応援「バトンの会」 様	
	衣類・絵本・玩具
NPO法人きもの文化を大切にする会 後藤 祐一 様	甚平
日本ベビーフード協議会 事務局長 浅見 太一 様	ベビーフード
横浜幸銀信用組合 様	絵本
明治ホールディング株式会社 様	液体ミルク
(株) カーブスジャパン フードドライブ 様	食品

ドミノピザ 様	ピザ
MCMのめぐみ株式会社 浅野 智 様	書籍
(株) 坂東太郎 青谷 秀将 様	おせち
茗溪学園中学校高等学校 JRC同好会 様	炊飯器
大矢 直子 様	洋服・パジャマ・マスク 他
ヴァンシケル トム 様	アイス・ジャム
(公社) 日本缶詰びん詰レトルト食品協会 様	缶詰・レトルト食品他
(公社) 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会茨城県協会 様	卒業記念品
高橋 綾子 様	洋服・かばん 他
佐々木 瞳 様	キーボード
五棟 弘登 様	除菌シートロール
奥野 唯 様	ぬいぐるみ 他
山崎 様	お米
さくら まや 様	菓子
清水 顕 様	ランドセル
川並 淳子 様	書籍
岩本 光弘 様	書籍
相澤 晴夫 様 飯塚 康弘 様 大和田米吉 様	
岸田小夜子 様 五頭 弘登 様 中崎 裕市 様	
中根 祐一 様 新村 直志 様 沼尻 正則 様	
長谷川久夫 様 細矢 孝 様 山崎 智弘 様	
山田 正美 様	自転車
コストコホールセールジャパン つくば倉庫店 様	
	掃除機、アイロン 他

14) 令和4年度ボランティア活動受入の状況

・臨海学園

・散髪	小貫結宇多 様
・散髪	桑名沙友里 様

・同仁会地域子育て支援センター

・子育て支援事業サポーター	主婦 4名様
・エプロンシアター	1名様

・同仁会子どもホーム

・散髪	ヘアサロンしまな 様
-----	------------

・くれよんクラブ高萩

・茨城大学学生	1名様(週1回)
---------	----------

・内原和敬寮

・学習ボランティア	リリーこども&スポーツ専門学校	1名様
	常磐大学	1名様
・調理ボランティア	社会人	1名様

・つくば香風寮

・タケノコ掘り	…… 中根祐一様、他地域の方々
---------	-----------------

- ・モトクロスバイク体験 …… 中根 祐一様、ウィリー松浦様、五十嵐つくば市長、他地域の方々
- ・七五三写真撮影 …… フラン ベル アムール 様
- ・花の植え替え …… チャレンジ茨城様
- ・児童の散髪 …… 高野 佳奈子様
- ・B1リーグ 茨城ロボッツ観戦 …… 茨城ロボッツ 様
- ・さくらの森乳児院
 - ・畑づくり …………… 地域の方（つくば市） 1名様

15) 令和4年度保育実習等受入の状況

- ・臨海学園
 - 保育（入所施設）・社会福祉援助技術現場実習等
茨城女子短期大学 4名（10日間）
- ・同仁東保育園
 - 保育（通所施設）・社会福祉援助技術現場実習等
茨城キリスト教大学2名（11日間） 茨城女子短期大学1名（10日間）
常磐短期大学2名（10日間）
- ・同仁会児童家庭支援センター
 - 臨床心理実習
茨城キリスト教大学 10名（1日間） 茨城キリスト教大学大学院 10名（5日間）
- ・同仁会子どもホーム
 - 保育（入所施設）・社会福祉援助技術現場実習等
茨城キリスト教大学2名（各12日間） 常磐短期大学6名（各10日間）
- ・内原和敬寮
 - 保育（入所施設）・社会福祉援助技術現場実習等
リリーこども&スポーツ専門学校 2名（12日間） 常磐短期大学6名（10日間）
茨城女子短期大学4名（10日間） 筑波研究学園専門学校3名（10日間）
茨城キリスト教大学（保育）3名（12日間） つくば国際短期大学1名（10日間）
常磐大学1名（23日間） 茨城キリスト教大学（社福）2名（12日間）
大原医療秘書福祉保育専門学校1名（14日間）
- ・内原深敬寮
 - 保育（入所施設）・社会福祉援助技術現場実習等 臨床心理実習
常磐短期大学2名（10日間） 茨城大学大学院3名（5日間）
リリーこども&スポーツ専門学校1名（12日間） 常磐大学大学院6名（5日間）
茨城キリスト教大学2名（12日間） 茨城キリスト教大学大学院2名（5日間）
常磐短期大学2名（10日間）
- ・つくば香風寮
 - 保育（入所施設）・社会福祉援助技術現場実習等
茨城キリスト教大学4名（13日間） 筑波大学2名（1日間）
流通経済大学2名（12日間） 東京未来大学1名（13日間）
茨城女子短期大学2名（10日間） 筑波研究学園専門学校8名（11日間）
つくば国際短期大学2名（11日間） リリーこども&スポーツ専門学校5名（13日間）
常磐短期大学6名（11日間） 聖徳大学通信教育学部1名（5日間）
- ・さくらの森乳児院
 - 保育実習
流通経済大学2名（13日間） 筑波研究学園専門学校3名（11日間）
つくば国際短期大学2名（11日間）
常磐短期大学1名（11日間）

7 部門別運営計画及び令和5年度の状況

1. 同仁会児童家庭支援センター

1) 令和5年度運営計画

コロナウィルスの影響下にある社会も4年目となり、私たちの事業活動においても、困難を抱える地域の親子においても、大きな影響を受けており、行動規制などによって事業活動が制限される一方で、支援を届けたいというジレンマに苛まれました。そんな中、対面援助の制限の柔軟な対応を心掛け、相談援助も滞ることなく継続しました。また物資を届けるアウトリーチ事業「すとっく」も継続して10ケース前後の家庭に対して食料や日用品の配布を行ってきました。さらに高萩市より委託を受ける要保護児童対策地域協議会での研修会では、ヤングケアラー支援をテーマに採り上げ、その実態と支援について学ぶこととなり、これらの実践を通して、現代社会における困窮家庭の実態を知ることとなりました。

新たな事業として茨城県からSNS相談事業を受託しましたが、当初の想定とは異なるかなり広領域での相談援助となりそうであり、茨城県とは運営について引き続き協議が必要な状況です。

これらの状況を鑑みながら、サービスと人材の強化、運営の安定化を図るべく、次のように計画いたします。

1 福祉サービスの向上

- (1) アウトリーチ事業「すとっく」の充実化
- (2) 茨城県受託事業SNS相談の安定的運営
- (3) 市町村要保護児童対策地域協議会における積極的支援
- (4) 県北地区フォスタリング活動の活性化

2 組織体制の強化

- (1) SNS相談に関する運営体制整備
- (2) 新たな連携機関の確保
- (3) 茨城県児童福祉施設協議会への加盟と他の児童家庭支援センターとの連携

3 人材育成

- (1) 施設内研修の充実
- (2) 新たな事業に向けた人材育成
- (3) 専門研修および一般研修への計画的参加
- (4) コスト意識の醸成

4 適正財源の確保

- (1) 要保護児童等の支援に関する県及び市町村事業受託の継続
- (2) 児童相談所からの通所指導委託の受託推進
- (3) 市町村要保護児童対策地域協議会における支援強化
- (4) 物資提供に関する新たな協力機関の開拓

2) 事業の概況

令和4年度もコロナウィルスの影響を受け、児童家庭支援センターの来所相談や訪問事業などは様々な調整を試みながら、なんとか無事に1年を終えることが出来ました。

食品や日用品を届けながら、困窮家庭と支援を繋ぐアウトリーチ事業「すとっく」は、活動としては関係機関の認知度も上がり、順調に支援を続けて参りました。このアウトリーチ事業も、新たに様々な連携機関を得ました。また本体施設のアフターケアとも連動し、家庭復帰した退所児家庭への地域支援を行いました。この本体アフターケアとの連動は本体施設の多機能化との横断的な試みとして今後も期待されます。

本体施設との連携としては、ショートステイ利用の児童について、在籍小学校と連携して訪問事業に発展しています。今後は、施設の家庭復帰支援と虐待予防プログラムの連動なども強化目標の1つとなります。

3年に及ぶコロナウィルスの猛威は、不自由さだけでなく新しい相談援助のあり方も導入するきっかけにもなりました。オンラインでの相談援助に加え、2月からはSNSによる相談事業も茨城県から委託され、新時代の相談援助の展開もなお一層進みそうです。

3) 令和4年度実績

1 福祉サービスの向上

(1) 物資のアウトリーチ活動による困窮家庭への早期支援の展開

アウトリーチ支援実績 15家庭 延べ88回実施

要保護児童対策地域協議会対象家庭や他機関と連携し支援している家庭、心理療法を行っている家庭を対象に実施しました。これらの実績として、電話相談（関係機関への連絡調整含む）235回、訪問相談（関係機関含む）197回、来所相談（関係機関含む）83回、心理療法93回を実施しています。

(2) オンラインを活用した事業継続とSNS相談の実施

相談者、児童本人延べ32ケースに対してオンライン面談を実施。同オンラインを活用した心理療法の実施回数は延べ40回、関係機関とオンラインカンファレンスを12回実施しています。また2月1日には茨城県委託事業としてSNS相談を開始しています。

(3) 市町村要保護児童対策地域協議会における積極的支援

要保護児童対策地域協議会で主たる支援機関となっている対象7家庭に対し延べ410回の支援を実施しました。

(4) 虐待予防プログラムの試行

要保護児童対策地域協議会対象家庭で虐待があったケースに試行中。プログラムに該当するケースについて振り返りを行いました。アセスメント、積極的な虐待予防プログラム使用、モニタリング等が課題として残っています。プログラム内容の見直しと運用について検討を継続します。

◎月別相談延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	41	58	49	37	25	65	29	50	25	33	33	30	475
来所相談	14	18	28	27	13	37	20	19	27	7	13	11	234
訪問相談	50	24	57	59	29	28	75	80	85	67	61	29	644
心理療法等	35	59	61	43	22	55	42	56	61	57	53	52	596
メール相談	4	6	1	3	1	7	0	7	5	10	4	3	51
手紙相談	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他(FAX等)	7	0	4	0	21	6	4	10	0	0	0	2	54
月別延べ件数	151	165	202	169	111	198	170	222	203	174	164	127	2,056

◎相談・指導内容の種別延件数

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
1197	429	307	180	30	322	17	0	3	0	0	0	2,056

◎児童相談所からの委託による指導

< 指導内容の種別延人数 >

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
											実人数	2人

2 組織体制の強化

(1) 本体施設機能との連携による市町村連携機関の拡大

本体施設家庭支援専門相談員と連携し、日立市の担当課へ訪問連携を実施。

本体施設のショートステイ利用をきっかけに同児童への支援について北茨城市内小学校と連携支援を開始。

(2) オンライン体制の充実

全職員にタブレット装備し、内部会議資料等のオンライン化とペーパーレスを導入しました。LINEWORKSを活用し連絡体制を整備。昨年度末よりヒヤリハットレポートを、オンライン共有化試行中。

(3) 新たな連携機関の確保

市内の公立認定こども園と連携を開始しカンファレンスなどを実施。アウトリーチ事業において市内障害福祉サービス事業所「はっぴいべる」の協力を得て物資提供を行いました。その他、民間フォスタリング機関とのカンファレンスも開始しています。

(4) 茨城県児童家庭支援センター連絡協議会（仮名）の設置の模索

県内児童家庭支援センターが茨城県児童福祉協議会に加盟することとなりました。今後については、同協議会における活動を中心に、県内各センター間の連絡・協力体制を確立していくこととなりそうです。

3 人材育成

(1) 通所施設間における研修連携

講師派遣（於：くれよんクラブ高萩）

「ハラスメント防止研修」「施設内虐待防止研修」「チームビルディング研修」
「精研式ペアレントトレーニング」

研修連携

支援検討会議に同仁東保育園主任、くれよんクラブ高萩児童発達支援管理責任者参加。

(2) 新たな事業に向けた人材育成

非常勤相談員用の考課項目を整理。3カ月に1度評価と、個別面談による研修を実施。SNS事業について内部検討実施。

(3) 専門研修および一般研修への計画的参加

	センター長	相談員	心理士	非常勤相談員	計
県・社 協	0	4	3	0	7
団 体	1	9	8	0	18
法人・施設	9	31	32	4	76
計	10	44	43	4	101

4 適正財源の確保

(1) 地域子育て支援や要保護児童等の支援に関する県及び市町村事業受託の継続

・ 茨城県児童緊急対応事業の受託：延べ 6254件（無言、間違い、その他問い合わせ含む）

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育 成					DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	いじめ	しつけ			
1183	976	7	23	39	190	6	0	6	40	0	792	2,286

< 緊急時対応件数 >

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育 成					DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	いじめ	しつけ			
257	225	0	0	13	12					0	308	590

< SNS相談 >

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育 成					DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	いじめ	しつけ			
31	15	2	2	0	24	22	0	0	1	0	0	82

・高萩市受託事業

＜ 要保護児童対策地域協議会研修・啓発、専門的支援事業 ＞

構成機関対象研修会

第1回研修会

昨今増加している“ヤングケアラー”について、家庭が孤立することがないように、地域全体で支援するためヤングケアラーの実態や支援方法を学びました。

第2回研修会

常磐大学秋山邦久教授を講師として招き、要保護児童対策地域協議会で実際に支援をしている家庭について、スーパーバイズをいただく。

第3回研修会

非行傾向のある児童がどのように措置されるのか、またどのような支援がされるのか等を学ぶことを目的とし、法務省年センターみとの見学を検討。新型コロナウイルスの影響を鑑み、近年は内部見学を実施していないとの返答をいただき今年度は中止となりました

＜ 児童虐待防止啓発活動 オレンジリボンキャンペーン ＞

クリアファイル等のキャンペーングッズ1500セットを市内保育園、幼稚園、小学校へ配布しました。また初めてオリジナルピンバッジを作成し、高萩市要保護児童対策地域協議会の構成機関に配布しました。

・職員派遣

＜ 定齢時発達健診等への心理士派遣 ＞

高萩市 1歳6か月時健診 6回 3歳時健診 6回 乳幼児健康診査2次健診 2回

乳幼児健康診査事後教室 11回

北茨城市 1歳6か月時健診 12回

(2) 市町村要保護児童対策地域協議会の支援連携強化

・各地区要保護児童対策地域協議会の該当ケースへの支援実績

	養護	虐待	非行	その他
高萩市	197	249	12	90
北茨城市	59	5	0	0
その他	10	33	0	0

・関係会議への参加

高萩市 代表者会議1回 進行管理会議6回 実務者会議4回 個別支援会議1回 その他の会議1回

北茨城市 代表者会議0回 進行管理会議0回 実務者会議12回 個別支援会議0回 その他の会議0回

(3) 物資提供に関する新たな協力機関の開拓

・物資提供に関する協力団体

一般社団法人子ども宅食応援団

NPO法人フローレンス

社会福祉法人茨城県共同募金会

NPO法人ウィッシュ「はっぴい・べる」

NPO法人子ども食堂れん

株式会社 ジュン アシダ

コスメバンク株式会社

2. 児童家庭支援センター あいびー

1) 令和5年度運営計画

児童家庭支援センターあいびー内では、児童家庭支援センター業務に併せ、児童養護施設退所者等アフターケア事業とフォスタリング事業を行っています。

昨年は新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、オンラインを含め可能な範囲で相談業務や企画運営を進めてきました。

児童家庭支援センターでは、アウトリーチの強化として食支援を通じた支援体制を整備しています。今後も関係機関と協働を深め、地域の子育て家庭への相談支援を進めていきます。

アフターケア事業では、各施設や各機関との連携を強化し、対象者へのよりよい支援に努めています。今後は新たな連携機関の開拓と居場所事業の強化を図り、相談援助の拡充を目指します。

フォスタリング事業では、里親制度の広報啓発において、より一層地域に根ざした制度説明会の開催に努めると共に、里親会や里親サロンなど里親子が交流する機会を密に持てるよう、里親会や里親支援機関との協働・連携に努めます。

1 福祉サービスの向上

(1) 市町村や各事業所、児童相談所等との連携強化と支援体制の構築

(2) 来所、訪問等、個別相談援助の強化

2 組織体制の強化

(1) 本体施設との連携体制強化

(2) 報告、連絡、相談の徹底

(3) 専門研修の計画的実施

(3) 三事業相互理解の促進と連携強化

(4) 同仁会児童家庭支援センターとの連携体制の維持

3 人材育成

(1) 人事考課の実施

(2) 各種研修、法人研修への積極的な参加

4 施設・環境の整備

(1) 職場環境の整備と管理の徹底

2) 事業の概況

《児童家庭支援センター》

令和4年度は、コロナ禍の影響を受けながらも相談支援の継続的实施やアウトリーチの強化に努めました。アウトリーチでは食支援として物資を届けることをきっかけにご家庭との関係構築が図られ、相談支援に繋がる機会が増えています。

児童相談所や市町村との連携が進む中で、保健所、医療機関、NPO法人等の新たな機関との連携も増え、児童家庭支援センターとして専門性の高い支援の提供といった役割を期待されていると感じます。

今後も相談援助技術の向上を図り、地域家庭の安心した暮らしのために力を尽くして参ります。

《アフターケア事業》

令和4年度は、センター主催の自立・就労に関する行事や各関係機関との連携・協働に重きを置き、活動を進めてきました。相談件数が増加しており、アフターケアについての専門性がより求められていると感じています。

行事については、新たな連携先と金融教育についての行事を実施し、好評を得ることができました。成人式写真撮影は、今年度から県央地区、鹿行地区の2か所での実施となり、参加者が増えてきている状況です。

今年度も相談業務はもちろん、市町村や各関係機関との連携・協働、新たな連携先を開拓し、支援の更なる拡充を目指して参ります。

《里親養育包括支援事業》

リクルート事業では、市町村での里親制度説明会開催の他、公共施設でのパネル展示や商業施設へのポスター設置など継続した広報活動を進めると共に、今年度からは新たに里親カフェを開催し、気軽に参加でき里親制度が身近に感じられるような取り組みも進めてきました。

訪問等支援事業では、委託後のアフターケアとして定期的な家庭訪問や電話・SNSでの相談対応の他、里親サロンやレスパイト・ケアの調整など、里親家庭のニーズに沿った細やかなサポートができるよう努めて参りました。

今後も法人全体を含め、様々な関係機関との連携強化に努め、包括的な里親支援に繋げていけるよう尽力して参ります。

3) 運営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議・研修に積極的に参加し自己研鑽に努める。

1. 職員会議

(1) 同仁会子どもセンター職員会議・・・月1回

(2) あいびー会議・・・月1回

(3) 各部署会議（児家セン、アフターケア、フォスタリング）・・・月1回

- (4) 同仁会児童家庭支援センターとの連絡会議・・・月1回
- (5) フォスタリング
日立、中央、銚田児相管内会議・・・随時
- (6) 法人リスクマネージャー会議・・・隔月1回
- (7) 法人家庭支援会議・・・隔月1回
- (8) 連絡会議・・・毎朝

2. 安全管理及び保健衛生

- (1) 安全点検・・・月1回
- (2) 非常時避難訓練・・・月1回
- (3) 健康診断・・・年2回
- (4) 保菌検査・・・年2回

4) 令和4年度実績

《児童家庭支援センター》

◎月別相談延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	24	12	20	40	52	51	26	30	37	26	28	33	379
来所相談	1	3	4	8	4	12	10	18	10	12	17	19	118
訪問相談	3	1	8	5	7	9	6	5	5	5	15	16	85
心理療法等	0	1	0	8	6	6	3	6	1	2	3	3	39
メール相談	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	8
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(FAX等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延べ件数	31	20	32	61	70	78	45	59	53	45	64	71	629

◎相談・指導内容の種別延件数

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
335	176	2	148	0	66	44	0	34	0	0	0	629

◎児童相談所からの委託による指導＜指導内容の種別延件数＞

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
169	2	0	0	0	0	23	0	25	0	0	0	217
											実人数	7人

《アフターケア事業》

◎実績表(延べ件数)

退所前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
講演・生活技能	7	6	28	47	18	15	40	16	18	11	32	22	260
不安・悩み	11	6	17	17	13	8	22	14	3	10	5	16	142
退学者	0	0	0	0	0	0	1	6	10	10	7	0	34
自助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	63	49	56	49	42	57	70	50	54	83	45	51	669
退所後	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活	181	131	75	120	110	115	99	88	118	122	113	84	1356
就職	1	2	3	1	4	2	5	12	15	8	14	13	80
自助	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	4
その他	27	37	17	12	9	19	10	26	48	24	28	15	272
合計	290	231	196	248	196	216	247	212	266	268	244	203	2817

《リクルート事業》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談/電話・メール等	2	1	7	2	2	6	13	12	2	4	10	10	71
外部向け制度説明	1	0	0	1	1	4	2	2	0	1	3	1	16
ガイダンス	5	6	1	1	3	14	2	1	0	2	10	9	54
合計	8	7	8	4	6	24	17	15	2	7	23	20	141

《訪問等支援事業》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談／電話・メール等	1	14	8	12	27	17	11	17	22	19	13	4	165
家庭訪問	12	14	13	12	21	15	13	13	19	9	6	4	151
実家庭交流	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	4
レスパイト調整	0	0	1	0	4	5	0	2	3	1	2	2	20
里親交流	0	1	2	1	2	1	1	2	1	1	2	1	15
合計	13	29	24	25	55	39	25	34	46	31	23	11	355

3. 発達障害者支援センター COLORS つくば

1) 令和5年度運営計画

発達障害者支援センターCOLORS（カラズ）つくばが開設してから4年が経過しました。昨年度は、オンライン会議や動画配信型研修等の普及、そしてオンライン面接の導入により新型コロナウイルスの影響はほとんどない中でセンター事業を運営していくことができました。茨城県で2ヶ所目となるCOLORSつくばですが、管轄内の人口比もありますが、現在では相談件数において、茨城県発達障害者支援センター「あい」を大きく上回り、以前にも増して当センターへの注目を集めている印象があります。発達障害者支援センターが担う役割と責任を意識しながら、県障害福祉課、そして「あい」と協力し、地域の発達障害児（者）の方々とその家族、そして支援者の方たちの力になれるよう、以下のとおり運営を計画します。

1 施設提供サービスの向上

- (1) 県障害福祉課、市町村、各種事業所、医療機関等との連携強化
- (2) 相談支援・発達支援・就労支援におけるアセスメントやソーシャルワークの強化
- (3) 地域住民及び各事業所への講演会や研修等、発達障害に関する普及・啓発活動の強化
- (4) 地域支援や機関コンサルテーション等、間接支援機能の強化

2 人材育成

- (1) 外部研修参加による専門性の向上
- (2) 人事考課の実施
- (3) 茨城県発達障害者支援センター「あい」との連携によるスキルアップ

3 組織強化

- (1) スーパーバイザーの導入
- (2) 会議の在り方等、組織システムの構築・強化
- (3) 報告・連絡・相談の徹底および業務整理
- (4) リスクマネジメント意識の徹底
- (5) 人材定着のための業務改善と職場環境作り

4 財政基盤強化

- (1) コスト意識、節約意識の徹底

2) 事業の概況

COLORSつくばも開設から4年が経過しました。県の発達障害者支援の専門機関として、発達障害でお悩みの方は勿論、他の支援機関からの相談も増え、期待の高さとそれに伴う責任の大きさを感じております。直接支援や支援者支援（間接的支援）もさることながら、発達障害や支援についての理解を深めるための普及啓発活動にも活発に取り組んでいきたいと考えております。今年度もYoutubeを利用した動画配信型セミナーや、新型コロナが第5類に変更されることを受け、より柔軟な形での研修など、地域の方々に届きやすい活動をしていきます。

より高度で専門的な対応が必要とされるケースも増えておりますので、各職員の専門性を向上させるための取り組みも、引き続き行っていきたいと考えております。

1 相談援助機能

- ・ 電話、来所等による第一義的な相談支援
- ・ 市町村が行う支援のバックアップ
- ・ 各種地域支援機関との連携による支援

2 普及・啓発活動

- ・ 地域住民向けの講演会の開催
- ・ 関係機関向けの研修の開催
- ・ 外部機関が開催する研修への講師派遣

3) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議、研修に積極的に参加し、自己研鑽に努める。

1. 職員会議

- (1) 職員会議

… 月 2 回

- (2) 法人リスクマネージャー会議 … 隔月 1 回
 - (3) 「あい」との合同連絡会議 … 随 時
2. 安全管理
- (1) 安全管理の点検 … 月 1 回
 - (2) ヒヤリハットによるリスク管理 … 月 2 回

4) 令和4年度実績

事業内容		実績	
1. 相談支援・発達支援	実支援件数	675	
	延支援件数	2415	
	心理学的判定	2	
2. 就労支援	実支援件数	30	
	延支援件数	348	
3. 関係施設及び関係機関への普及啓発及び研修	(1) センター主催または共催の研修	実施回数	5
	(2) 外部機関への講師派遣	実施回数	17
4. 関係機関等との連携	(1) 連絡協議会の開催状況	実施回数	1
	(2) 他の協議会への参加状況	参加回数	24

相談内訳		実績
1. 年齢別内訳	0～6歳	38
	7～12歳 (小学生)	105
	13～15歳 (中学生)	60
	16～18歳	57
	19～39歳	273
	40歳以上	103
	不明	69
	合計	705
2. 障害名別内訳	自閉スペクトラム症 (ASD)	188
	注意欠如多動症 (AD/HD)	89
	限局性学習症 (LD)	8
	その他 (発達性言語障害・協調性運動障害等)	4
	不明 (未診断含む)	416
合計	705	

4. 同仁会地域子育て支援センター（子育て支援室「カムカム」）

1) 令和5年度運営計画

少子化や核家族化など様々な社会状況の変化に伴い、家庭や地域における子育て機能が低下してきています。子育て支援は、子どもの発達や、子どもの立場に沿った親としての向き合い方について、あるいは子どもと親が共に育つ道筋を丁寧に辿りながら親が本来備えている子育て力を促進できるような支援を、関係機関と連携を図りながら、次の事項を推進して参ります。

1 子育て支援事業の強化

- (1) 育児不安や親自身の悩みに対する支援などの相談機能の強化
- (2) 年齢発達に合う適切な生活習慣についての情報発信による親支援
- (3) 看護師や児童家庭支援センター職員による子育て講座の実施
- (4) 周産期にあたる家族への支援
- (5) 幅広い親支援の継続的实施
- (6) 集団療育の実施

2 食育の推進

- (1) 食に関する情報の発信
- (2) 栄養士による手作りおやつ教室、離乳食教室、子育て講座の実施
- (3) 食に関する紙芝居、絵本、パネルシアター等の実施

3 環境問題への取り組み

- (1) 節電、節水など省エネの実践
- (2) エコ指導と情報発信
- (3) 家庭だけでなく、公共の施設に対するエコ活動の推進

4 感染症・アレルギーの対策

- (1) 手洗い、うがい、手指の消毒、来所時検温の施行
- (2) 提供おやつのパッケージの表示
- (3) 感染症についての情報発信
- (4) 室温、換気、湿度の調整
- (5) 活動時のソーシャルディスタンスの確保

5 職員の資質向上

- (1) 研修会への積極的参加
- (2) ペアレントトレーニングの導入と実践

6 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) 職員の節約意識の徹底と経費削減の推進

2) 事業の概況

地域の子育て支援事業が充実し、参加者が自ら選んで子育て支援事業に参加する時代になった今、親子でゆっくり過ごして頂く事がコンセプトのKiFT、就園を見据えて様々な体験をして頂くちびっこ広場など、それぞれの事業の特性を伝え、ニーズに応えることで、選ばれる子育て支援を目指してまいりました。

平成25年度より始めたくれよんKiFT(小集団療育)では、落ち着きがなく、じっとしているのが苦手、人見知り、場所見知りがある、偏食がある、こだわりが強い、言葉が遅いなどの心配があり、お子さんとどう関わっていったらよいかわからないという方々に対して、関係機関との連携を密にし、内容の充実を図ってきました。さらに、就園後も継続して支援していけるように、くれよん開放日には就園児の母親のみの参加も受け入れています。

また、妊婦さん対象のMaFTの他に、妊娠期から産後1年までを対象としたちびっこMaFTを保育園で開催することで、産後から乳児期までを看護師や栄養士と一緒にフォローしていけるように致しました。

子育て支援事業の延長に位置づけられていること、利用者への周知が広がってきたことで、不安や悩みを親が一人で抱え込まずに、気軽に相談して下さるようになったのは大きな成果です。

これからも、母親向けの子育て講座や毎月発行の「カムカム」でも、ペアレントトレーニングを基とした、具体的で効果的な対応の仕方を伝えることで「ほめて、のばして、ラクラク子育て」を実感してもらえるようにし、子どもたちの健やかな成長と発達に繋げていきたいと思っております。

事業計画

1. 育児等、主に妊産婦、乳幼児のいる家庭への相談事業
2. 乳幼児の成長につながる遊びの実践と主体性を発揮できる場の提供
3. くれよんクラブ、児童家庭支援センターと連携した 集団療育事業の開催
4. 子育てサークルの育成・支援
5. 同仁東保育園と連携し、一時保育等の特別保育事業の実施
6. 子育て情報の収集・提供・発信
7. 子育て支援のための講座の開催

事業内容

- 1 「K i F T(キフト)」(Kids Forum Talky=「ちびっこ広場」の造語)の開催
 - *毎月第1木曜日に「K i F T」(2歳以上の未就園児とその親)
 - 毎月第2木曜日に「赤ちゃんK i F T」(0歳から1歳未満の未就園児とその親)
 - 毎月第3木曜日に「K i F T」(1歳の未就園児とその親)
 - 母親のリフレッシュ、仲間づくりの支援。気軽に身近な子育ての共有空間・育児相談の場の提供。
 - *毎月第3水曜日に「くれよんK i F T」(おおむね2歳～未就学児とその親)
 - 歌やリトミック、体を動かす遊びなど、親子で遊びながら子どもの発達をはぐくむ関わりを支援。
 - *毎月第2水曜日にくれよんK i F T開放日 くれよんK i F T利用親子に共有空間を提供
 - また、就園後は親のみの参加も受け入れ、就園後も継続支援。
- 2 「ちびっこ広場」の開催
 - *毎月第1・2・3火曜日に「ちびっこ広場」を同仁東保育園で開催。
 - *保育園保育メニューを地域の未就園児とその親に提供し、保育園児との交流も図る。
 - 年に2回程度、公園等への遠足を設定。地域の親子も巻き込み、交流を図る。
 - また、子育て支援事業の紹介や宣伝の場とする。
- 3 ゆうゆうK i F Tの開催
 - *毎月第3金曜日に、母親リフレッシュのための趣味の講座を開催。
 - 年に2回、親子おやつ作りと食育相談を開催。
- 4 「M a F T(マフト)」(Maternity Forum Talky=「マタニティの広場」の造語)の開催
 - *周産期にある家族(特に初妊婦)への支援。母親のリフレッシュ・仲間づくりの支援。気軽に身近な子育ての共有空間と育児情報の提供。(予約制)
 - *「ちびっこM a F T」の開催
 - 周産期から産後1年までの母親への支援。保育園とも連携し、看護師、栄養士への育児相談の場を提供する。
- 5 外部との連携
 - *高萩市健康づくり課との連携(「すこやかランド」に職員派遣)
 - *高萩市生涯学習課との連携
 - 市内小学校・幼稚園・保育園向け「子育て講座」に職員派遣
- 6 子育て情報の発信
 - *KiFTなど支援事業の参加者に配布する機関紙(「Co.me Com.e(かむ かむ)」)の作成・発行。
 - *インターネット・メール(パソコン・携帯電話)による育児情報を地域の親子に発信。
 - *ブログによる最新情報の発信
- 7 特別保育事業の実施
 - *乳幼児の母親のリフレッシュを含む一時預かり保育を保育園と連携して行う。
- 8 子育てサークルの支援
 - *育児の情報交換の場として、「カムカムのおへや」(サークル支援室)を子育てサークルに開放し利用を促す。
- 9 子育て講座(お話会)の開催
 - *子育てに関する講演会、講座等を開催する。
 - KiFT、ちびっこ広場で、子育て講座「ほめ方のコツ、上手な注目の外し方、指示の出し方」等を実施。
- 10 その他
 - *育児の情報の入手手段を持たない家庭への情報発信、育児ストレスの軽減、仲間づくりの促進を図る。

3) 令和4年度実績

1 職員の研修

市関係 3名 法人・施設 8名 その他 1名 計10名

2 子育て支援室相談状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
育児	5	3	3	5	3	7	1	5	1	3	2	3	41
しつけ	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
健康	1	1	1	0	0	1	1	0	1	1	1	1	9
食事	0	1	2	1	0	3	1	2	2	0	2	2	16
発達	3	3	3	4	1	3	2	3	1	2	2	2	29
電話問い合わせ	1	3	3	1	1	3	5	1	2	3	1	2	26
問い合わせ	1	3	2	1	1	1	1	1	1	3	3	3	21
その他	2	3	0	1	1	2	2	0	0	1	0	0	12
合計	14	17	14	13	7	20	14	12	8	13	11	13	156

3-1 赤ちゃんK i F T開催状況 (1歳未満の未就園児)

開催日	参加者(組)	人数	開催日	参加者(組)	人数
4月 21	0	0	10月 13	6	13
5月 19	1	2	11月 17	4	8
6月 9	4	8	12月 8	11	27
7月 14	11	23	1月 19	11	24
8月	実施せず		2月 9	8	17
9月 15	8	17	3月 9	7	14
計			71		153

3-2 K i F T開催状況 (1歳の未就園児)

開催日	参加者(組)	人数	開催日	参加者(組)	人数
4月 28	0	0	10月 20	4	8
5月 26	6	13	11月 24	6	13
6月 16	2	5	12月 15	11	24
7月	実施せず		1月 26	3	7
8月	実施せず		2月 16	5	12
9月 22	5	11	3月 16	12	25
計			54		118

3-3 K i F T開催状況 (2歳以上の未就園児)

開催日	参加者(組)	人数	開催日	参加者(組)	人数
4月 14	実施せず		10月 6	5	10
5月 12	3	6	11月 10	7	16
6月 2	6	13	12月 1	5	11
7月 7	6	13	1月 12	実施せず	
8月	実施せず		2月 2	6	14
9月 8	6	13	3月 2	4	8
計			48		104

3-4 くれよんK i F T開催状況 (おおむね2歳以上の未就学児)

開催日	参加者(組)	人数	開催日	参加者(組)	人数
4月 27	4	8	10月 26	6	13
5月 25	6	11	11月 16	2	4
6月 15	5	9	12月 14	4	11
7月 13	4	8	1月 25	2	4
8月	実施せず		2月 22	5	8
9月 7	2	4	3月 15	7	12
9月 14	2	4			
計			49		96

4 ゆうゆうK i F T

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
6月	17	3	6	11月	18	実施せず	
7月	15	3	5	12月	23	4	6
9月	16	3	6	1月	20	0	0
10月	28	1	2	2月	24	7	15
計						21	40

5 ちびっこ広場開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
4月	19	0	0	10月	11	3	7
	26	2	4		18	8	18
5月	10	0	0		25	3	7
	17	1	2	実施せず			
	24	1	2	11月	1	実施せず	
	31	雨天のため中止		8	6	13	
6月	7	1	2	15	6	13	
	14	6	13	12月	13	7	16
	21	3	7		20	4	10
7月	5	5	10	1月	10	1	2
	12	6	13		17	9	19
	19	5	11		24	5	11
8月	実施せず			2月	7	8	19
9月	6	3	7		14	9	19
	13	8	18		21	5	11
	20	3	8	3月	7	10	21
計					14	9	19
						137	302

※ 5/31、10/25遠足

6 M a F T開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
4月	22	0	0	10月	21	1	1
6月	10	0	0	12月	16	0	0
				2月	17	0	0
計						1	1

7 ちびっこM a F T開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
5月				11月	22	1	1
7月				1月	31	4	8
9月	27	1	1				
計						6	10

8 サークル支援室利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開放日	17	16	18	18	21	17	17	18	19	17	17	20	215
利用日	1	4	4	5	5	2	3	3	3	1	6	5	42
キャンセル	0	0	0	0	4	1	2	0	2	0	0	1	10
合計	1	4	4	5	9	3	5	3	5	1	6	6	24%

9 育児相談会

同仁会児童家庭支援センター相談員、臨海学園・同仁会乳児院・同仁会子どもホーム
同仁東保育園栄養士・看護師・保育士を交えての相談会

令和 4年 5月20日 「手作りおやつと育児相談会」

講師 同仁会子どもホーム栄養士 坂本 和代
*新型コロナウイルス感染拡大のため中止

令和 4年11月22日 「乳児期にかかりやすい感染症について」

講師 同仁東保育園看護師 大串 千恵子
参加者 1組

- 令和 5年1月17日 「感染症予防と乳幼児の事故やケガ防止について」
講 師 同仁東保育園看護師 大串 千恵子
参加者 9組
- 令和 5年1月31日 「離乳食教室と育児相談会」
講 師 同仁東保育園栄養士 海老沢 暁子
参加者 4組
- 令和 5年2月9日 「離乳食の大切さについてについて、講話と試食会」
講 師 同仁会乳児院栄養士 高梨 綾
参加者 8組
- 令和 5年2月24日 「手作りおやつと育児相談会」
講 師 同仁東保育園栄養士 海老沢 暁子
参加者 7組
- 令和 5年 3月2日 「子どもの心理ついて～イヤイヤ期について知ろう～」
講 師 同仁会児童家庭支援センター 臨床心理士 野崎 一太
参加者 4組
- 令和 4年 6月 16日・12月8日 「ベビーマッサージの実践」
講 師 同仁会乳児院保育士 小松なぎさ
参加者 計13組
- 10 令和4年度 子育てサークル（母親クラブ）
1. 暴れん坊将軍 7家族
 2. アンパンマン 6家族
 3. ゆかいな仲間達 10家族
 4. トーマス 4家族
 5. ミッフィー 6家族
 6. マロ 3家族
 7. カムカムで遊ぼう会 4家族

5. 保育所型認定こども園 同仁東保育園

1) 令和5年度運営計画

人口減少、児童数、出生率の減少は年々深刻な状況となっている一方で、女性の就業率の上昇に伴う保育ニーズの高まりは期待できるところです。

令和4年4月から保育所型認定こども園としてスタートし、これまでの保育（2号・3号）120名定員に、教育（1号認定）15名定員が加わりました。

幼児期にふさわしい生活を通して教育の基盤を養うこと、小学校との連携、相互理解や子どもの姿の共有などが求められます。これは、子どもの育ちで大切な親や保育士との愛着形成の確立をベースに、月齢によって大きく差がある発達に合わせたきめ細やかな保育や、子ども力に対する受容と対話を大切にしてきたものですが、知的な面（認知的能力）や社会情動的な面（非認知的能力）の育ちが、子どもが生き、育ち、また学んでいくところの中核を担うことです。私たちは、これを研修課題とし、共通認識の基、継続的支援ができるようにして、教育、保育の現場で活かせるよう努めてまいります。

1 福祉サービスの質の向上

(1) 保護者支援

- ア 子育てに関する情報の提供（健康・安全・育児・食育等）
- イ 子育てに関する相談への対応
- ウ 子育ての仲間づくりの推進支援（親子遠足、保護者懇談会、給食試食会等）
- エ 親子参加型行事の開催（運動会、親子遠足、参加保育、給食試食会等）
- オ 食育（食に関する情報の提供、給食試食会の開催等）

(2) 教育・保育の質の向上

- ア 様々な活動を通して、豊かな感性を育む
- イ 異年齢での関わりを増やし、様々な集団を体験する
- ウ 運動習慣の確立による体力づくり
- エ 小学校以降の生活や学習の基盤の育成
- オ 自己評価の結果検討と改善

2 人材の育成

(1) 園内研修（学習会）の充実

- ア 人権擁護のためのチェックリストの導入
- (2) 法人目標の実践による人間性の向上
- (3) 各種研修への積極的参加

3 地域との連携

- (1) ゆうゆうクラブとの交流
- (2) たかはぎ認定こども園との交流
- (3) 高萩市主催によるイベントへの積極的な参加
- (4) 中学生による職場体験の積極的な受け入れ

4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) 職員の節約意識の徹底と経費削減の推進
- (3) 教育・保育の充実による利用児童の安定した確保

2) 運営の概況

新型コロナウイルス感染症への不安が残るなか、12月頃から、子どもたちの感染があり、同時期に、0、1才児の胃腸炎と感染対策を強化しながらの保育の日々が続きましたが、年度末にはどちらも落ち着き、昨年までは、リモートや人数制限をして行っていた卒園式を、保護者2名の参加とすることができ修学への期待に胸ふくらませる子どもたちを送り出すことができました。マスク着用の緩和など、社会生活が戻りつつあるものの、子どもたちの健康で安全な生活を確保できるようにしています。

また、保育施設等での不適切な保育が問題になっていますが、人権擁護のためのチェックリストの活用や定期的に研修会を開催するなどし、子ども主体、子どもの権利擁護という保育の基本を再確認してまいります。

1. 休園日 … 12月30日～1月3日
2. 開園時間 … 午前7時～午後8時まで
(日祝日 休日保育実施)
3. 対象児童 … 産休明け(第8週)より就学前まで

3) 教育・保育の内容

1. 基本方針

保育指針・子ども子育て支援法・法人目標に沿った計画を基に教育・保育を展開し、心豊かに生きる力や望ましい未来を創り出す力の基礎を培います。

自立 … 自分で考え行動する。

協調 … 思いやりの心、優しい心、仲間と力を合わせて物事を成し遂げ、喜びを共感する。

創造 … 感じたこと、思ったことなどをいろいろな形で表現する。

味覚・聴覚・視覚・嗅覚・触覚などの五感を大切に、豊かな感性と創造性を育む。

2. 基本目標

保育園の主人公は子どもたちです。

その子どもたちの命を守り、未来へつなげていくことが、私たちの仕事です。

- ・ 明るい挨拶を心がけ、一人ひとりを大切に、きちんと目を見て、丁寧な言葉で「ありがとう」を伝えます。
- ・ お子さんの個性は良い方に、ポジティブに捉え、一人ひとりが安心して、夢中になって遊べる環境に配慮します。
- ・ 子どもを中心に、保護者の方と保育者が互いに理解し合い、一緒に子育てや教育・保育ができるように努めます。
- ・ お子さんの様子・成長を把握しながら、自然とふれ合う機会を多く作り、五感を育める教育・保育を計画します。
- ・ 職員は教育・保育の専門職として研鑽を心掛け、常に向上心を持って、お子さんの命を守ります。

3. 保育目標

0歳児…家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの生理的欲求が満たされた情緒の安定のもと、人への基本的信頼感を形成できるように保育を行います。

1歳児…自分ですることの楽しさを知り、自発性や探索意欲を高められるように保育を行います。

2歳児…基本的な生活習慣がほぼ身につくよう、人や物への興味を広げ、社会性が育めるよう、保育を行います。

3歳児…友達との関わりの中で、自己肯定感や他者を受容する感情が育めるよう、支援します。

4歳児…集団で生活することを楽しむ中で、決まりを守る大切さを知り、更に自主性や自律性が育めるよう、支援します。

5歳児…様々な経験・体験を通して自立性を高め、目標に向かって努力したり、協力して達成する喜びを味わえるよう、支援します。

4. 活動内容

- ① 養護(生命の保持・情緒の安定)教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)食育の実践
- ② 健康への支援(異常が認められた時の適切な対応、保健指導計画の策定)
- ③ 環境・衛生の管理(清潔保持・清掃・消毒・点検)
- ④ 事故防止の徹底(避難訓練の実施、蘇生法研修、遊具等の点検、交通安全活動)
- ⑤ 保護者・地域への支援(休日保育、延長保育、育児講座の開催、説明責任)
- ⑥ 特色のある教育・保育
 - ・ 異年齢児教育・保育(4・5歳は混合クラス) ・ 砂浜を利用した活動 ・ ちびっこ広場(園庭の開放)
 - ・ 音楽指導…専門講師(日本音楽総合研究所)の指導による鼓笛隊指導(4・5歳児)
 - ・ リトミック…専門講師(日本音楽総合研究所)によるリトミック(2・3歳児)
 - ・ 体育指導…専門講師(ITレボリューション)による体育指導(4・5歳児)
 - ・ そろばん教室…専門講師(のぞみそろばん塾)による算数とそろばんの指導(5歳児)
 - ・ 英語教育…専門外国人講師(超禅イングリッシュスクール)による英語指導(4・5歳児)
 - ・ たかはぎ認定こども園との交流

4) 運 営

イ) 会 議

1. 保育職員会議 (管理・園運営全般 ……………月 1 回)
2. 運営会議 (管理・運営・保育全般 ……………月 1 回)
3. ケース検討会議 (保育内容の検討・ケース検討 ……………月 1 回)
4. 保育連絡会議 (主任・グループリーダー・企画研修員による保育会議 ……月 1 回)
5. グループ会議 (年長児・中間児・年少児グループ毎 ……………月 1 回)
6. 献立会議 (献立内容の検討 ……………月 1 回)

ロ) 日 課

時間	生活のプログラム	時間	生活のプログラム
7:00	早朝保育 (絵本、玩具遊び)	13:00	午睡 (4, 5才児はクラス別保育)
8:00	登園・挨拶・健康視診・自由遊び	14:00	1号認定こども降園
9:00	1号認定こども登園	15:00	起床・おやつ (全児)
9:20	片付け・朝のお集まり (0, 1, 2才児)	15:30	お集り
9:40	おやつ (0, 1, 2才児)	16:00	降園開始
10:00	片付け・朝のお集まり (3, 4, 5才児)		自由遊び (絵本・戸外遊び・玩具等)
	クラス別保育		製作遊び (粘土・折り紙等)
	造形製作・音楽リズム・体育遊び	17:30	延長保育 (テレビ・ビデオ視聴・絵本・玩具遊び)
	自然観察・散歩等	18:30	補食
11:30	昼食	20:00	降園終了
12:30	食後の片付け・歯磨き・午睡準備 (0~3才児)		

5) 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施
 - ア. 園児蟻虫検査 …………… 年 2 回 (江東微生物研究所)
 - イ. 園児健康診断 …………… 年 2 回 (嘱託医 滝有希子先生)
 - ウ. 園児歯科検診 (3, 4, 5才児のみ) …………… 年 2 回 (滝川歯科医院 滝靖宗先生)
 - エ. 園児尿検査 …………… 年 2 回 (田尻ヶ丘臨床検査センター)
2. 身体計測の実施 (毎月 … 身長・体重 年 2 回 … 胸囲)
3. 調理担当者の衛生管理の徹底 …………… 保菌検査の実施・消毒・白衣の着用
4. 調理室の整理整頓と衛生管理の徹底
5. 環 境 衛 生 (トイレ清掃消毒・寝具消毒・下水道消毒等)
6. 園内外の危険個所の把握と安全管理点検 … 毎月10日
7. 園庭の遊具施設の安全管理と点検 …………… 毎月10日 (変更有り)
8. 玩具等の安全管理と点検消毒 …………… 毎日
9. 交通安全指導 …………… 年 1 回 (6月)
10. 閉園後は(株)総合警備保障に管理委託契約

6) 令和4年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事			
4	21	入園・進級を祝う会	2	3	節分集会			
5	2	こいのぼり集会		18・25	20	保育懇談会		
	27	親子遠足 (4,5才児)				お別れ遠足 (みどり組) 中止		
6	4, 11, 18, 25	保育懇談会				24	お別れ遠足 (あか組) 中止	
7	7	七夕集会	28			お別れ遠足 (あお組) 中止		
	15	お泊り保育 (5才児) スマイルレインボーデイに変更		3	3	ひなまつり集会		
8	6	夕涼み会	6		お別れ会			
10	8	運動会 (1歳~5歳)	25	25	卒園を祝う会			
	18	秋の遠足 (0, 1才児)		<ul style="list-style-type: none"> ・安全の日 毎週木曜日 ・室内外消毒 毎日 ・高齢者クラブとの交流 ※中止 ・地域の子育て支援サービス (ちびっこ広場) 毎月3回実施 ・ゆうゆうクラブとの交流 (異年令児交流) 年2回実施 ・たかはぎ認定こども園との交流 ※中止 				
	14	観劇 (4, 5才児) 中止						
	19	秋の遠足 (2才児)						
	25	秋の遠足 (3歳児)						
	28	秋の遠足 (あお組)						
11	2	秋の遠足 (みどり組)						
12	10	秋の遠足 (あか組)	10	23	27	27		
	23	保育発表会 クリスマス会	26	24	28	26	23	27

7) 令和4年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
調理担当者検便	25	23	27	25	22	26	24	28	26	23	27	27
室内外の消毒	毎日											
非常時避難訓練	27	16 25	15 29	6 26	24	28	20 26	29	21	25	中止	22
安全点検	10	11	10	10	10	20	15	18	17	21	10	7
健康診断 (児童)	13						21					
歯科検診 (児童)	28						20					
健康診断 (職員)					25							
児童尿検査			13・27					14・28				
火災報知器点検			25						8			8
交通安全指導								24				

8) 令和4年度資料

1. 職員の研修

	園長	保育士	調理員等	計
県又は社協等	1	30	5	36
法人及び施設独自	4	76	4	84
計	5	106	9	120

2. 各月初日在籍園児数 2・3号認定こども (入園時年齢による)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
年令													
0才	3	4	7	7	8	9	11	12	12	13	15	17	118
1才	20	20	21	23	23	23	23	24	24	24	24	24	273
2才	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
3才	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	253
4才	21	21	20	20	20	20	20	20	19	19	19	19	238
5才	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	324
計	117	117	120	122	123	124	126	128	127	128	130	132	1,494
前年度	119	118	125	127	130	131	133	134	135	136	135	134	1,557

各月初日在籍園児数 1号認定こども (入園時年齢による)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
年令													
満3才	0	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21
3才	5	6	6	6	6	5	6	6	6	6	7	7	72
4才	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25
5才	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	9	11	10	10	9	10	10	10	10	11	11	118
前年度													

3. 出身地区別表 (R5.3.31現在)

地区	高浜町	有明町	東本町	肥前町	本町	高萩	安良川	上手綱	下手綱	高戸	島名	中戸川	秋山	石滝	日立	北茨城	春日町	赤浜	合計
人数	20	15	1	14	8	6	25	6	7	5	16	0	1	3	11	2	2	1	143

4. 在園期間 (R5.3.31現在)

期間	1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	計
人数	39	27	25	25	20	7	143

5. 一時預かり保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	0	0	0	9	18	24	30	28	25	25	24	13	196

6. 日曜・祭日保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	16	17	13	16	14	21	19	23	11	22	18	18	208

7. 体調不良児型保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	6	3	4	18	13	2	5	4	16	9	18	9	107

8. 栄養投与状況

3才未満児 熱量 451 Kcal(食事摂取基準 447 Kcal)
 たん白質 15.6 g(食事摂取基準 17.8 g)
 3～5歳児 熱量 623Kcal(食事摂取基準 600 Kcal)
 たん白質 21.87 g(食事摂取基準 24.7 g)

6. 放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ

1) 令和5年度運営計画

令和5年度の利用は定員を上回る申し込みがあり、学童保育の必要性を感じています。それには、子どもを取り巻く社会情勢に不安を感じる家庭が多くあるということが考えられます。保育園や放課後児童クラブでの虐待等の報道もあるなか、日々の保育の在り方を、検証するとともに、子どもの人権に十分配慮し、一人ひとりの人格を尊重した運営を行って参ります。また、適切な遊び及び家庭的な雰囲気を持った生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ると共に、保護者の仕事と子育ての両立を支援していきたいと思っております。

- 1 児童が充実した生活が出来る環境づくり
 - (1) 自然を生かした親子体験活動の実施
 - (2) 日本古来の風習に親しむ行事への参加
 - (3) 学年別活動の実施
 - (4) アサーショントレーニングの導入
 - (5) 異年齢交流の拡充
 - (6) そろばん教室の開催
- 2 保護者サポートシステムの構築
 - (1) 保護者同士の交流強化による子育て支援
 - (2) ペアレントトレーニングを導入した保護者支援
 - (3) 掲示物による食育・健康・安全・子育て情報の発信
- 3 子育てネットワークづくり
 - (1) 保護者、学校、関係機関との連携の強化
 - (2) 児童家庭支援センターとの連携による家庭支援の実施
 - (3) 地域諸団体、ボランティア、地域住民との交流連携の取り組み
- 4 食育の推進
 - (1) 栽培、収穫、調理の体験
 - (2) 手作りおやつの実施と試食会や掲示等による保護者への発信
- 5 職員の資質向上
 - (1) 法人内外の研修への積極的参加
 - (2) ペアレントトレーニングを基にした援助支援の標準化

2) 運営の概況

令和4年度当初は新型コロナウイルス感染症の為、学校閉鎖やゆうゆうクラブの休館などまだまだ対応に負われていましたが、徐々に緩和され、制限はあったもののほとんどの行事を開催することが出来ました。日常の保育の中では我慢することが多くあったと思いますが、困難な中にもどうすれば子ども達が安全に楽しく過ごせるか、色々工夫した1年だったと思います。

今後は今までの分を取り戻すくらい楽しい日常にする為、行事だけでなく日々の遊び、学習、食を充実させて子ども達が気持ちよく過ごせる環境の提供と保護者の皆さまが安心して預けられる施設としての役割を担っていきたくと思っています。

3) 運 営

- 1 開園の状況
 1. 開園日 年間292日
 2. 休園日
日・祭日
お盆休暇 8月13日～8月15日
年末年始休暇 12月30日～1月3日
 3. 開園時間
学校登校日 下校より午後7時まで
学校休日 午前7時30分より午後7時まで
- 2 活動内容
 1. 児童の健康管理、安全確保、情緒の安定
 2. 遊びと活動への意欲と態度の形成
 3. 遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上
 4. 児童の遊びの活動状況の把握と家庭への連絡
 5. 学習支援と読み聞かせによる学習向上と充実

- 6. 家庭や地域での遊びの環境づくりへの支援
- 7. その他児童の健全育成上必要な活動
- 3 会 議
 - 1. 職員会議（子育て支援と合同） 毎月
 - 2. 連絡会議（申し送り・連絡事項） 毎日
 - 3. 運営委員会 年1回
 - 4. 児童家庭支援センターとの会議 各月
 - 5. 経営役員会 毎月

4) 保健衛生及び安全管理

- 1 給食（おやつ、土曜日や長期休業期間の昼食）
 - 1. 季節感、栄養バランスのある食事
 - 2. 担当者の衛生管理の徹底（検便、消毒、着衣）
 - 3. 調理室の整理整頓と衛生管理の徹底
- 2 安全指導
 - 1. クラブ内外危険箇所の点検指導及び保安全管理点検の実施（毎月）
 - 2. 交通安全指導の徹底
 - 3. 閉館後は、（株）総合警備保障に管理委託契約
 - 4. 非常時避難訓練（毎月）

5) 異年齢時交流

- ・ 同仁東保育園との交流
- ・ 読み聞かせボランティア団体との交流

○ボランティア受け入れ人数（令和4年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	0	0	0	0	4	0	5	5	5	5	5	5

6) 令和2年度保菌検査実施日記録 月1回 2名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	25	23	27	25	22	26	24	28	26	23	27	27

7) 令和4年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	1	入会歓迎会	10	9	保育園運動会参加（利用児なし）
	18	花まつり（保育園児との交流）中止	11	28	総合避難訓練（消火訓練・通報訓練）
5					
6	4	小学校引き渡し訓練	12	16	ハーバリウム教室（親子交流会）
7	28	磯遊び（高戸海岸）		26	クリスマス会
8	5	館外学習	1	4	初詣・避難訓練（地震津波）
	10	磯遊び（高戸海岸）		5	買い物ごっこ（保育園との交流会）
	26	親子交流会（ハーバリウム）			
	31	ゆうゆうフレンドパーク	2	3	豆まき
9			3	28	お別れ遠足（願成寺）
				31	お別れ会

※ 毎月の行事 ・誕生会 ・手作りおやつ ・100円おやつ

8) 令和4年度資料

1. 職員の研修

	回数	参加者数	計
法人研修	4	3	12
高萩市子育てサポーター研修会	3	2	6
茨城県子ども総合プラン研修会	1	1	1

2. 各月初日在籍児童数

学年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1年生		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
2年生		15	14	14	14	14	15	14	14	14	14	14	14	170
3年生		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
高学年		14	13	13	13	13	14	13	13	13	13	13	13	158
計		48	46	46	46	46	48	46	46	46	46	46	46	556

3. 特別入会・短期利用児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別入会													0
短期利用													0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

* 特別入会は、夏休みなどの長期期間に入会する場合を言う。

* 短期利用は、保護者の都合により、1日単位で利用する場合を言う。

4. 出身地区別表 (R5. 3. 1現在)

地区	高浜町	有明町	肥前町	東本町	石湍	高菽	安良川	本町	下手綱	上手綱	高戸	赤浜	合計
男	6	4	4	0	0	0	0	0	2	1	1	1	19
女	4	11	2	4	0	0	0	0	2	0	4	0	27
計	10	15	6	4	0	0	0	0	4	1	5	1	46

5. 日課表

時間	平日	土曜日及び長期休校日
7:30	学 校	受入れ
9:00		学習
10:00		自由時間
11:00		自由時間
12:00		昼食
13:00	受入準備	休 息
14:00	送迎	
15:00	宿題	自由時間
16:00	自由時間	
16:00	おやつ	おやつ
17:00	清掃	清掃
17:00	自由時間	自由時間
18:00	延長保育	延長保育
19:00	(帰宅準備) 帰宅	(帰宅準備) 帰宅

7. 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩

1) 令和5年度運営計画

近年、地域子育て支援において、児童発達支援、放課後等デイサービス事業のニーズは非常に増えています。また、保育所や福祉施設、学校等の集団生活を営む種々の機関においても、適応支援のニーズが年々高まっているように感じます。幼児期から学齢期までの、人格形成にとって極めて重要な時期を過ごす機関において、当該施設利用児と他の児童が、より良い集団生活を送れるよう支援を行うことは極めて重要であると考えられます。

当該事業所では、令和4年4月より「保育所等訪問支援事業」を展開いたしました。障害の有無にかかわらず幅広い多様性を受け入れられるインクルーシブ社会を目指し、事業に力を入れていきたいと考えています。発達特性や社会、集団への適応状況を理解し、一人ひとりの状態に即した支援をしていくと共に、保護者や関係機関の多様化したニーズに応えるため、連携をより強化していきたいと思っております。前年度同様、多様な人材を配置し、質の高い専門性の担保された支援事業を展開して参ります。

1 専門職的サービスの強化と専門職性向上

- (1) 児童家庭支援センターとの連携による専門性強化
- (2) 内部・外部カンファレンス体制の整備
- (3) 人事交流による専門的人事配置の強化
- (4) 特別支援、家族支援、訪問支援の充実と専門性強化

2 安定した事業運営を可能とする組織体制の確立

- (1) 組織体制の構造化
- (2) 関係機関連携強化
- (3) 人材育成強化

3 安定した財政基盤の確立

- (1) 多様な人材配置
- (2) サービスの充実による利用児童の安定した確保
- (3) 新規事業収入による、新たな財源の模索

2) 運営の概況

平成31年4月に事業が始まり丸4年が経過しました。児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業の契約数は、37件、保育所等訪問支援の契約数が10件となりました。今後契約を控えている方や見学等の問い合わせの状況を考えると、障害福祉におけるニーズの高さが伺えることを感じています。また、通所している児童の障害は様々で、それぞれの特性を理解し、知ることによって丁寧なサービス提供ができると改めて感じています。特に、サービスのひとつである、個別支援や特別支援を実施することで、小集団支援と合わせて行うことが児童の成長に繋がることを保護者と共に実感できています。

また、4月より新事業の保育所等訪問支援を展開して参りました。保護者ニーズだけでなく、保育園、幼稚園養護施設、小学校等の多くの機関からニーズが集まっております。今後も“保育所等訪問支援”を身近に感じて頂けるよう努めてまいります。保護者や関係機関からの相談も増えている中で、今後も、丁寧な相談対応や支援の透明性を大事に行って参ります。

3) 運 営

1 営業時間及びサービス提供時間

- | | |
|-----------|---|
| ・営業時間 | 9時00分から18時00分 |
| ・サービス提供時間 | |
| 月～金 | 9時00分から17時30分 |
| 土（学校休業日） | 9時00分から17時00分（延長支援①8：30～9：00）
（延長支援②17：00～17：30） |

2 定休日

- ・日曜日、祝日、お盆休暇（8月13日～8月15日）、年末年始（12月30日～1月3日）

3 活動内容

（児童発達支援・放課後等デイサービス）

- ・心身の成長や発達が気になる子、身体に障がいを抱える子の日常生活や社会生活をスムーズに送る為の支援活動の提供
- ・保護者支援を含む親子支援・面談
- ・基本的生活動作の支援：着席支援・衣類の着脱・偏食への取り組み・食事のマナー・トイレトレーニング
- ・集団生活への適応訓練：〈児童発達支援〉運動遊び・感覚遊び・ルール遊び・音楽遊び
季節遊び…小集団活動内容
- 〈放課後等デイサービス〉ソーシャルスキルトレーニングを用いた活動内容
- ・知的技能の付与：個別支援・小集団支援・生活の中での学習機会を用いた個々にあった知識の定着を図る。
- ・特別支援：心理担当職員が個々に合った支援を見立てプログラム作成。プログラム内容に沿った支援を個別で1時間行う。

（保育所等訪問支援）

- ・アセスメント：児童の様子を観察にいき、対象となる子どもと保育所等での環境（他の子どもを含む集団の環境）やそこで行われている教育や活動と本人の特性を両方を適切にアセスメントを行います。必要に応じて個別面談や検査を行うことも可能です。

- ・（間接支援・直接支援）個別支援・対応：
 - 1時間程度のトレーニングを集団の中で一対一で対応します。要求・報告・拒否などのコミュニケーション支援・SST・感情コントロール・アサーショントレーニング学習支援などを行います。
- ・カンファレンス：対象となる子どもが所属する機関の職員と話し合いを行います。保護者より希望がある場合には“ファミリーカンファレンス”も実施可能です。必要に応じて、子どもに合わせた教材作成を専門職員から助言します。

4 会議

- ・支援・職員会議 月1回
- ・連絡会議（振り返り・引き継ぎ・連絡） 毎日
- ・担当者会議（保護者・相談支援事業所・他事業所） 必要に応じて
- ・幼稚園、保育園、特別支援学校、市内小学校カンファレンス 必要に応じて
- ・管理運営会議（衛生管理委員会・虐待防止委員会・身体拘束委員会） 2カ月に1回

5 日課

時間	児童発達支援	時間	放デイ（平日）	時間	放デイ（休日）
9:00	受け入れ・送迎 荷物支度準備・個別支援	14:30	受け入れ・送迎	8:30	延長支援
10:00	朝の会	15:30	おやつ	9:00	受け入れ・送迎
10:15	小集団活動 設定遊び	15:45	SST活動	10:00	朝の会 SST活動
11:30	給食 リラックスタイム	16:15	余暇活動 パソコン	11:30	給食
12:30	余暇時間	17:15	帰りの準備	12:30	個別活動 パソコン
13:00	自由遊び	17:30	迎え引き渡し・送迎	15:00	おやつ
13:50	帰りの会			15:15	余暇活動
14:00	迎え引き渡し・送迎			17:00	迎え引き渡し・送迎
				17:30	延長支援

6 保健衛生及び安全管理

- ・調理担当者の衛生管理の徹底（保菌検査の実施（年12回）・消毒・白衣の着用）
- ・キッチンの整理整頓と衛生管理の徹底
- ・食材搬入時の衛生管理の徹底
- ・食物アレルギーの徹底管理
- ・環境衛生（室内清掃消毒の実施）
- ・園内外危険箇所の把握と安全管理と点検（月1回）
- ・玩具等の安全管理と点検消毒
- ・営業終了後は（株）総合警備保障に管理委託
- ・自動ドアの解錠カードキーによる防犯対策及び利用児の飛び出し防止
- ・AEDの設置

令和4年度保菌検査実施日記録 月1回

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	6	11	8	6	3	7	5	2	7	4	1	1

7 令和4年度利用実績

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
児童発達支援		64	69	84	79	64	78	76
放課後等デイサービス		71	78	96	100	81	69	76
計		135	147	180	179	145	147	152

区分	月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
児童発達支援		73	78	88	88	103	944
放課後等デイサービス		82	73	80	71	97	974
計		155	151	168	159	200	1,918

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
保育所等訪問支援		0	0	2	2	1	3	4
区分	月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
保育所等訪問支援		6	2	3	7	8	38	

8 出身地区別

	高萩市	日立市	北茨城市	その他	合計
児童発達支援事業	9	9	0	1	19
放課後等デイサービス事業	11	5	0	0	16
保育所等訪問支援	5	5	0	0	10

9 職員研修等

- ・法人内職員研修
- ・児童発達支援管理責任者取得研修
- ・社会福祉施設等新任研修
- ・高萩市要保護児童対策地域協議会 実務者会議構成員等研修会

8. 児童養護施設 臨海学園

1) 令和5年度運営計画

依然として新型コロナウイルス感染症に対する不安は続いています。ようやく共に生活をしていく社会へと変化しつつあります。子どもたちの生活も少しずつではありますが元に戻り始めました。また、昨年度は子どもセンターの大規模改築が終了し、男女別4つのユニットに分かれての新しい生活が始まっています。まだまだ試行錯誤の繰り返しですが、子どもたちは落ち着いた生活を送ることができています。改築後は入退所が相次ぎ、今年度は入所率90%からのスタートです。

今年度はユニットケアを生かし、個々のニーズに合った生活支援と環境整備に尽力し、子どもたちの生活満足度の向上に努めて参ります。また、これまでの支援マニュアルの見直しやBCPの策定などソフト面の整備に加え、職員個々の資質とチームの総合力の向上・働き甲斐の向上を目指していきたくと考えています。

1 提供するサービス向上と生活環境の改善

- (1) ユニット化・個室化実現後の生活環境を改めて見直し、支援の標準化を図る
- (2) 子どもの意見を取り入れ、生活満足度の高い支援を目指す
- (3) 職員の専門性を活かせる勤務環境の整理
- (4) 計画的な自立支援（インケア・リービングケア）とアフターケアの強化
- (5) 食育の推進、ユニットでの個別調理を通じた食・調理体験の創出
- (6) 第三者評価（自己評価）の実施と改善への取り組み

2 組織体制の強化

- (1) 中期計画に基づく支援マニュアルの見直し、業務負担の効率的な軽減
- (2) 職員間のチームワーク・グループ相互の連携強化と共通理解の推進
- (3) 地域や関係機関（学校・児童相談所等）との連携と情報共有
- (4) BCPの策定とリスクマネジメント意識の浸透

3 人材育成

- (1) ユニットケアにおける職員の資質・意識の向上とOJT強化
- (2) 職員個別の研修目標の設定と評価
- (3) 個別面談など相談体制の強化、意欲・メンタルヘルスの向上
- (4) ブログやSNSを活用した情報発信
- (5) 実習生やボランティアの積極的な受け入れ
- (6) 人事考課の実施

4 財政基盤の強化

- (1) 社会情勢に応じた予算の柔軟な見直しと計画的な執行
- (2) コスト意識の強化と節約の実践
- (3) ゴミの削減・資源のリサイクルを意識した消費活動

2) 運営の概況

令和4年度は年間を通じて入所児童が多く、子どもたちにとっては新たな関係作りが続く一年となりました。また、一昨年より取り掛かっていた子どもセンターの大規模修繕工事が終わり、オールユニット化・個室化という新たな環境での生活も始まっています。新型コロナウイルス感染症の流行により生活の制限も続いていたため、ストレスの多い期間であったかと思います。しかし、その中でも子どもたちは比較的落ち着いた生活を送ることができ、新しい環境での生活を楽しみながら大きな事故や怪我等なく過ごせました。職員にとっては、生活環境が分かれたことで意思の疎通や情報の共有はより重要な課題として捉え、更なる向上を目指していきます。

今年度は行動制限の緩和により、新たな価値観などを交えながら、次第に元の生活スタイルに近づいていくかと思われます。子どもたちの行事や職員の研修など、経験や学びの場を大切にしながら、それぞれの成長に繋げていきたくと考えています。

3) 児童支援の状況

イ) 基本方針

支援の基本は、子どもの目線に立ち、子どもの意思を尊重して自立を促すこととし、家庭的な支援の実現を目指している。具体的には、子どもの生活基盤と生活を支援する職員を四つのグループに分け、少人数のグループによる支援を行う。また、生活上のきまりや約束事を子どもと職員が一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がけ、一方、学習面では多くの学習ボランティアを活用し、小中学生の基礎学力の向上、高校受験に向けての学習支援を行う。その他、地域

行事への参加など、地域の中で運営・支援していくことを基本方針とする。

ロ) 基本的目標

○法人理念・綱領を実践し、子どもが将来社会的に自立できるよう援助・支援する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来、社会的自立ができる。

3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を持ちながら、対人援助サービスの基本である S・G・N・T を実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

1. S (Smile) 笑顔

常に笑顔で接する。 (和顔愛語)

2. G (Greeting) 挨拶

常に明るくあいさつをする。 (あなたに関心があります)

3. N (Name) 名前

必ず子どもの名前を呼ぶ。 (あなたのことを知っています)

4. T (Thanks) 感謝

子どもに「ありがとう」が言える場面を作る。 (あなたを必要としています)

ハ) 支援目標

1. 生活支援の向上

- (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活が送れる)
- (2) 日常生活の援助 (規則正しい生活リズムを作る)
- (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
- (4) 学習相談の強化 (基礎学力の向上と進路相談)
- (5) 自立支援 (自立支援計画に基づいた援助)
- (6) 家庭との連携 (保護者会・家庭通信・帰省・面会・行事への参加)
- (7) 自治会活動の推進 (子ども会議の開催、各種実行委員会)
- (8) 食育の推進 (買い物体験と食事づくり)

ニ) 学習支援

(1) 目 的

・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。進路相談。

(2) 内 容

- ・落ち着いて学習する習慣(準備、意欲、集中力)を養う。
- ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。高校受験の特別支援。
- ・計画的な進路相談を実践する。(面談、学習支援、進路相談)
- ・情操教育(図工、手芸、料理、音楽)の実施。
- ・意欲のある中学生は通塾により学力向上を目指す。
- ・学習ボランティアの活用。

ホ) 環境(安全・保健・環境)

(1) 目 的

・子どもが安全に落ち着いて生活できる習慣を作る。

(2) 内 容

- ・手洗い・消毒の習慣化、清潔感を養う。(服装、身体)
- ・新型インフルエンザ対策の徹底。
- ・衛生検査の実施。(身体、頭髪、爪、耳垢等)
- ・入浴支援。
- ・健康診断(年2回)

- ・定期保菌検査の実施。(年2回 6月 1月)
- ・年齢による段階的な洗濯の習慣化。
- ・環境整備(施錠、補修、整備、整理整頓)
- ・愛園デー(子ども自身が安全面に配慮する・環境美化)毎月第1土曜日
- ・安全点検日(職員が安全面の定期点検を実施)各グループ会議の日
- ・非常時(火災、地震、津波、風水害)対策、訓練の実施。
- ・交通安全の徹底(自転車点検、補修、通学路の確認、交通安全教室)

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議、研修に積極的に参加し、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- | | |
|---------------|-----------------------|
| (1) 全体会議 | … 月1回 (給食関係会議等含) |
| (2) グループ会議 | … 月1回 (3階グループ・4階グループ) |
| (3) 園内研修 | … 月1回 |
| (4) 運営会議 | … 月1回 |
| (5) 生活向上部会 | … 年5回 |
| (6) マニュアル検討部会 | … 年5回 |
| (7) 連絡会 | … 毎日 (9:20 / 13:00) |

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- | | |
|------------------|-------|
| ア. 室内外の消毒 (オスバン) | … 週1回 |
| イ. 便所消毒 | … 週1回 |
| ウ. 寝具消毒 (日光消毒) | … 毎日 |
| エ. 浴場消毒 (オスバン) | … 週1回 |
| オ. 食器消毒 (熱 風) | … 毎日 |
| カ. 残留塩素調査 | … 毎日 |

(2) 身 体 衛 生

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| ア. 健康診断 (学校保健法に準じ当該学校にて) | … 4月・5月・6月 (診療科目別) |
| (本園嘱託医により) | … 10月15日 |
| イ. 身体測定 | … 月1回 |
| ウ. 散髪 | … 月1回 |
| エ. つめ切り | … 週1回 |
| オ. 下着交換 | … 毎日 |
| カ. 入浴 | … 毎日 |
| キ. 児童保菌検査 | … 年2回 |
| ク. 調理職員保菌検査 | … 月1回 |

(3) 安 全 管 理

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ア. 非常時、(株)総合警備保障に通報契約 | |
| イ. 電気設備検査 (関東電気保安協会) | … 月1回 |
| ウ. 自動火災報知器の検査 (作業検査) | … 年2回 |
| エ. 非常通報装置の点検 (業務委託) | … 年2回 |
| オ. エレベーターの点検 (//) | … 月1回 (目視点検: 随時) |
| カ. ガス湯沸器清掃点検 (//) | … 年2回 |

(4) 安全管理の点検 (毎月第1水-木曜日)

(5) 児 童 の 安 全

- | |
|--------------------------|
| ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施 (月1回) |
| イ. 登下校の通学路指定 |
| ウ. 交通規則の徹底 |
| エ. 河川、海岸等の事故防止 |
| オ. 愛園デー (毎月第1土曜日) |

5) 週間予定及び日課

1. 週間支援目標

日	・衛生検査（頭髪、爪、耳） こども会議（第1日曜日）
月	・登校確認（ハンカチ、ティッシュ、胸章）
火	・入浴支援
水	・室内消毒
木	・安全確認（施錠、交通安全、危険物）
金	・上履、靴洗い
土	・基礎学力養成 ・環境整備（寝具日光消毒、室内外清掃） ・屋外活動

2. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起床 洗面 清掃	起床 洗面 清掃 朝食 学習 環境整備 昼 食 自由遊び	15:00	おやつ	おやつ
7:00	朝食		15:30	小学生帰園 学習	
7:30			17:30	片付け	片付け
7:45	登校（小中）		18:00	夕食	夕食
8:00	幼稚園生登園		19:00	お知らせ会 学習（中・高）	学習（中・高）
9:00			19:00	入浴	入浴
10:00			19:00	テレビ視聴	テレビ視聴
12:00	昼 食		20:00	幼児就寝	幼児就寝
13:00	未満児午睡		21:00	小学生就寝	小学生就寝
13:30	幼稚園生降園		22:00	中高生就寝	中高生就寝
	帰園				

6) 令和4年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
室内外の消毒	20	18	15	13	17	14	19	16	14	18	15	15
身体測定	30	31	30	30	31	30	31	30	28	31	28	31
保菌検査(児童・職員)			13							10		
保菌検査(調理員)	11	9	13	11	8	12	11	14	12	10	13	13
安全管理点検	14, 15	11, 12	1, 2	6, 7	3, 4	7, 8	5, 6	2, 4	1, 7	10, 11	1, 2	1, 2
非常時避難訓練	24	1	5	28	7	17	16	6	25	8	5	11

7) 令和4年度行事内容

月	日	行 事
4	6	始業式
	7	入学式
	29	花まつり・進学進級祝
5	8	母の日祝い
6	19	父の日祝い
7	21	夏休み開始
8	8-10	小学生キャンプ
	29-30	幼児キャンプ
9	1	始業式
	10	十五夜月見

月	日	行 事
10	8	十三夜月見
11	13	七五三
12	25	クリスマス会
	28	餅つき
	27	大掃除
2	3	豆まき
3	19	門出を祝う会

その他 帰省（通年）
趣味の教室 月1回

8) 令和4年度資料

1. 職員の研修

	園長	指導員 保育士	F S W 里専	心理士	事務員	栄養士 調理員	計
県・社協	0	11	1	0	1	0	13
団体	1	18	3	1	0	2	25
法人・施設	2	204	22	13	21	24	286
計	3	233	26	14	22	26	324

2. 児童構成 (R5.3.31現在)

区分 年齢・学年	未就学児						小学生						中学生			高校生			他	計		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3				
男		1		2	2	1		1	2	1	1	1	1	1	3	1	1					19
女				1				1	1	1			1	1	1	1						8
計	0	1	0	3	2	1	0	2	3	2	1	1	2	2	4	2	1	0	0			27

3. 各月初日在籍及び入退園児童

[]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	23	23	23	23	23	27	26	27	29	30	30	30	314
入所 うち()は初日入所						4 (4)	1	2	1			1	9
退所 うち()は初日退所						1						3	4
月末在籍	23	23	23	23	23	26	27	29	30	30	30	28 [1]	

4. 入園理由別表

入院理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡			
2. " 行方不明			
3. " 離婚			
4. " 不和	1		1
5. " 拘禁	1		1
6. " 入院	1		1
7. " 就労	8	1	9
8. " 精神疾患等	4	1	5
9. " 放任・怠惰	5	2	7
10. " 虐待・酷使	1	2	3
11. 棄児			
12. 養育拒否	1	1	2
13. 破産等の経済的理由	2		2
14. 児童の問題による監護困難	1		1
15. その他			
16. 不詳			
合計	25	7	32

5. 退所理由別表

退所理由	男	女	計
1. 自立	2		2
2. 進学(大学・専門学校)	1		1
3. 措置変更			
4. 家庭引取り	1		1
合計	4		4

6. 在園期間 (R5.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
9	4	5	8	2	28

7. ショートステイ受入状況

実人員 2人

延べ日数 5日

8. 一時保護の受入状況

実人員 8人

延べ日数 279日

9. 栄養摂取状況

◎嗜好調査 アンケート調査実施 (年1回)

1. 食費 1日当り 800 円 (原材料費)

2. エネルギー 幼児 (3~5歳) 1,476 Kcal (基準 1,300 Kcal)

学童 (6~18歳) 2,380 Kcal (基準 2,364 Kcal)

3. たん白質 幼児 (3~5歳) 49.4 g (基準 42.3~65.0 g)

学童 (6~18歳) 79.1 g (基準 76.8~118.2 g)

入園理由別総計表（臨海学園）

入園理由	昭和41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	合計
父または母の死亡・行方不明	15	15	15	9	10	17	14	14	15	16	18	18	20	19	22	19	17	17	17	14	14	323
離婚・放任・冷遇	7	14	14	13	20	18	17	14	18	19	16	16	15	12	10	9	14	15	13	14	19	293
病気・貧困	8	13	13	9	9	8	7	7	8	9	11	7	7	8	9	5	6	9	12	13	15	180
父母死亡	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	2	2	2	2	2	2	33
父母家出等行方不明	5	6	6	11	6	2	1	4	6	8	8	9	7	11	7	8	3	4	9	4	5	124
その他環境不遇	41																					41
教養児	6	5	4	5	5	4	2	3	4	3	1	1										43
長欠不就学	2	3	1	1					3	3	3	3	2	1								19
触法児	1	3	5	2	1	1	3	3	1	1												21
その他															1	1	2	2	2	1	4	13
計	50	46	60	51	52	51	45	46	53	60	58	55	54	54	52	45	44	49	55	51	59	1,090

入園理由	昭和62	63	平成1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死亡	8	5	4	3	4	3	2	4	2	2	2	2	2	2	2	3	3	4	3	2	2	2	2	2	1	1	72
行方不明	8	6	6	7	9	7	3	7	5	5	2	2	1	6	12	12	13	14	13	14	12	12	11	8	8	8	215
離婚・就労	16	14	10	8	10	9	10	8	12	13	13	14	21	21	19	21	20	21	22	22	23	21	20	19	12	11	410
傷病・入院	11	10	15	13	14	16	21	20	15	13	12	10	11	12	18	9	7	6	5	5	4	4	4	3	2	2	262
精神疾患	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	3	3	3	3	3	3	4	4	5	5	6	6	4	4	79
受刑	2	4	2	3	4	9	9	10	8	8	7	12	16	15	15	10	7	6	6	6	6	5	6	6	2	1	178
虐待・被冷遇	9	6	4	6	5	4	4	4	4	4	9	12	14	18	20	18	19	20	18	14	13	14	18	17	16	9	302
その他	1												2	5	6	7	4			3	3	4	4	4	2	1	50
計	54	46	45	42	45	47	55	50	51	51	53	51	70	85	94	89	81	72	69	69	70	71	69	64	40	35	1,568

※昭和62年より集計項目変更

入園理由	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	合計	
父又は母の死亡	1	1	3	2	2	1	1	1																									12
行方不明	8	3	3	3	2	2	2	2																									25
離婚				1	1	1	1	1	1	1																							0
不和				2	2	3	3	3	1	1																							8
拘禁																																	18
入院	1	1		2	2	2	2	1	1	1																							11
就労	10	11	13	12	12	11	11	10	9	9																							108
精神疾患	4	4	6	5	5	6	8	8	4	5																						55	
放任・怠惰	3	2	1	3	2	2	3	5	3	7																						31	
虐待・酷使	2	1	2	2	2	2	3	3	1	3																						21	
養育拒否	1																															0	
破産等の経済的理由																																4	
児童の問題による監護困難																																4	
その他																																1	
不詳																																0	
計	30	23	31	30	31	30	34	34	23	32																						298	

※平成25年度より集計項目変更

9. 児童養護施設 同仁会子どもホーム

1) 令和5年度運営計画

令和4年度の同仁会子どもホームの運営はまさに受難の年といえる1年となりました。初めてのコロナウイルス感染が発生し、ユニット棟を封鎖するという事態にも至りました。さらに職員も複数の感染があり、職員も帰宅困難という非常事態を経験しました。

また、施設における不適切援助も発覚し、茨城県をはじめ関係各位の様々なご指導をいただきながら、施設運営の再建に向けていま現在も取り組んでいます。

これらの状況から、子どもたちの暮らしも安定せず、精神的にも動揺を見せる子どもも多く見られました。そのような中、職員の一致団結した日々の努力によって、なんとか安定した生を取り戻しつつあります。

令和5年度の最大の目標は、子どもたちの健康で安全な暮らしの維持であり、そのための管理体制の再編です。研修面の見直しに加えて職員指導体制を確立し、何より不適切援助の防止に努めて参ります。また、第三者評価の外部受審を行っており、改善事項も指摘されております。それらも併せて計画に反映させ、安定した施設運営に努めて参りたいと存じます。

1 福祉サービスの向上

- (1) 安心で安全な生活の維持
- (2) 困難ケースの治療的支援の強化
- (3) 児童家庭支援センター事業との横断的連携
- (4) 地域の里親およびファミリーホームとの連携体制の構築

2 組織体制の強化

- (1) 職員の指導体制の見直しと確立
- (2) 小規模化に向けた具体的検討
- (3) 業務マニュアルの見直しと幹部職員による業務進捗管理の強化

3 人材育成

- (1) 不適切援助防止に関する意識向上
- (2) 理念と実践の連動性強化
- (3) 実習プログラムの再構築

4 財政基盤の強化

- (1) 入所児童の確保と市町村ショートステイの受け入れ推進
- (2) 計画的な予算の執行とコスト意識の徹底
- (3) 節約意識の徹底

5 SDGsの実践

- (1) 省エネルギー活動の推進
- (2) 残菜のリサイクル肥料化と活用

2) 運営の概況

令和4年度は長期の一時保護を含め7名の入所がありました。このうち一時保護3名も正式な措置となる見込みですが、背景の複雑な児童であることから今後も児童相談所とは綿密な連携が必要となっていくことが予想されます。その一方で、年度末に3名の家庭復帰があり継続して行ってきた家庭支援が、今回実を結んだ形となりました。この家庭復帰も、管轄児童相談所との良好な連携を背景にしたものであり、こうした実績は今後の新たな支援に活かすことと期待しています。

また、県内最北となる当施設においても、入所や一時保護の打診が引き続き目立つ傾向にあり、茨城県内における社会的養護のニーズが相変わらず高いことを伺わせています。児童家庭支援センターやその他の施設との連携も強化しながら、このニーズに応じて行く所存です。

その他、令和4年度は第三者評価の外部受審を行いました。この中で、施設設備の老朽化に対する工夫などの対応の他、同仁会子どもホームに暮らす子どもたちが安心して暮らせる毎日を再構築していく必要性を感じる結果となりました。

コロナウイルスの感染や不適切援助の問題など、職員は苦勞の絶えない1年でした。しかし、持ち前のチームワークで何とか乗り切り、仕切り直しの令和5年度です。小さなことを丁寧に積み重ねながら、未来に向けた確実な歩みを進めて参りたいと存じます。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

子ども一人ひとりが安心して生活できる人間関係と安全な環境作りを目指し、子ども自らが主体的に生活に参加できるように支援していきます。

情緒の安定を図り、発達段階に応じた個別支援、自立に向けた生活力と学習の向上を図ります。また、子どもと保護者に寄り添いながら家庭支援を充実していきます。

ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、児童が将来社会的自立できるよう援助・指導する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)
 - (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
 - (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
 - (3) 将来社会的自立ができる。
2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)
 - (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
 - (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
 - (3) 他と協調する中で社会性を育てる。
3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)
 - (1) 目標に向かって努力する。
 - (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
 - (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

ハ) 処 遇 目 標

1. 児童処遇の向上
 - (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活を送れる)
 - (2) 日常生活の援助指導 (規則正しい生活リズムを作る)
 - (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
 - (4) 学習指導の強化 (基礎学力の向上と進路指導)
 - (5) 自立支援 (自立計画に基づいた援助)
 - (6) 家庭との連携 (定期的な連絡・面会・帰省)
 - (7) 子ども会議
2. 業務に関わる事務処理の構築
3. 安全・健康管理の徹底
4. 関係機関・団体・地域との連携強化
5. 職員の援助技術の向上

ニ) 学 習 指 導

- (1) 目 的
 - ・基礎学力を養成する。学習意欲を高め、自主的な学習習慣を身につける。
- (2) 内 容
 - ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。
 - ・児童と一緒に学習計画を作成し、自主的な学習につながるようにする。
 - ・計画的な進路相談の実施
 - ・生涯教育(書道・音楽等)の実施

ホ) 環 境

- (1) 目 的
 - ・子どもが安全に生活できる環境を作る。
- (2) 内 容
 - ・手洗い・うがいの習慣化
 - ・入浴指導を行う。
 - ・定期保菌検査の実施
 - ・住環境を中心とした整理整頓、環境整備
 - ・災害時対策及び訓練の実施
 - ・交通安全指導

ヘ) 情 操

- (1) 野菜の栽培
- (2) 花木類の育成
- (3) 趣味の教室(工作・フラワーアレンジメント・菓子作り、調理等)

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- (1) 職員会議 … 月 1 回
- (2) 支援検討会議 … 月 1 回
- (3) 給食会議 … 月 1 回
- (4) 施設内研修会 … 月 1 回
- (5) グループ会議 … 月 2 回
- (6) 連絡会議 … 毎日 2 回
- (7) まるなか会議（性教育） … 月 1 回
- (8) リービングケア会議 … 年 3 回
- (9) 運営会議 … 月 1 回

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- ア. 室内外の消毒 ……………… 月 1 回
- イ. 便所消毒 ……………… 週 1 回
- ウ. 寝具消毒 ……………… 随 時
- エ. 食器消毒 ……………… 毎 日
- オ. 残留塩素調査 ……………… 毎 日

(2) 身 体 衛 生

- ア. 健康診断
- イ. 身体測定
- ウ. 職員保菌検査 ……………… 月 1 回 (0157含む)
- エ. 児童保菌検査 ……………… 年 2 回

(3) 安 全 管 理

- ア. 漏電検査
- イ. 自動火災報知器の検査 …… 年2回
- ウ. 火災通報装置の検査 …… 年2回
- エ. 特定小規模施設用自動火災報知設備検査 …… 年1回

(4) 児 童 の 安 全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月 1 回）
- イ. 登下校時見送り（小学生、学校指定箇所まで）
- ウ. 交通安全指導

5) 児童処遇の計画

◎学習支援について

1. 学 習 時 間

小学生 （平日）基本的に帰園後。児童との話し合いで随時変更あり。
（休日）午前中

中学生 基本的に1時間以上行う。学習時間については児童の自主性に任せ、その日の担当職員と決める。

2. 場 所

食堂、学習室、居室、集会室

◎生活支援について

生活を共に作るという基本方針に沿って、職員の側から押しつけるのではなく、子どもと話し合いを持ちながら生活プログラムを作成し、一人ひとりがかげがえのない存在であるということを実感できるように支援する。

1. 職 務 分 掌

- (1) 教育費関係 (2) 給 食 (3) 学用品 (4) 日用品 (5) 被服・寝具
- (6) 教養娯楽 (7) 保健衛生 (8) 保育材料 (9) 防災関係 (10) 家庭関係
- (11) 法人委員会 (12) 関係団体等委員 (13) 園車管理 (14) 安全・保守点検
- (15) 実習生、ボランティア受入

2. 生活指導訓練費について

- ・毎月1日にお小遣いとして支給する。児童の自主性を損なわないように留意しながら、金銭の管理について年齢相応に経験させる。
- ・小遣い帳に記入し、金銭管理をする。（中・高生は各自、小学生は職員と一緒に）

3. 誕生日について
- ・誕生プレゼント
 - ・誕生会
児童の誕生日の夕食時に行う。メニューは誕生者の希望をとり、ケーキを囲んでお祝いをする。
4. お年玉について
- ・全児童を対象に支給

5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起 床	起 床	14:00	帰 園	
7:00	洗 面・朝 食	洗 面	15:00	おやつ	おやつ
8:00	登 園・登 校	朝 食 学 習	16:00	学 習	
9:00			17:00		
10:00			18:00	夕 食	夕 食
11:00			19:00		
12:00	昼 食	昼 食	20:00	入 浴	入 浴
13:00			21:00	就 寝(小) 自主学習	就 寝(小) 自主学習
			22:00	就 寝(中・高)	就 寝(中・高)

6) 令和4年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	15	進級進学を祝う会	10	16	茨城ロボッツ試合観戦(招待)
5	4	BBQ		23	ホームパーティー(外部招待無)
6	17	ホテル観賞会(里山文化ネットワーク様)	11	6	JR東日本サステナ交流(お仕事見学)
	26	おやつづくり		12	おでかけ(アクアマリンふくしま)
7	31	キャンプ①(願成寺8/2まで)		13	七五三
8	2	キャンプ②(願成寺8/4まで)	12	18	卒園生お話し会・テーブルマナー講座
	8	施設内映画観賞会		19	クリスマスチャリティ公演(観劇・招待)
	9	施設内レク(手芸・ダンス・たこ焼きパーティー)		23	クリスマス会
	12	BBQ		25	もちつき・そば打ち
			1	19	七五三写真撮影(招待)

7) 令和4年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事 務	指 導 員	保 育 士	栄 養 士	心 理 士	計
県・社 協			5	5			10
団 体	3	1	13	16	4	2	39
法人・施設	13	4	92	113	12	12	246
計	16	5	110	134	16	14	295

2. 児 童 構 成 (R4.3.31現在)

区分	未 就 学 児						小 学 生						中 学 生						高 校 生			他	計					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	1	2	3							
男					1	1	1	2					1	1	1	2		2									12	
女				1		2	1		1							2		1										8
計				0	1	3	2	2	1	0	0	0	1	1	1	4	0	3	0									20

3. 各月初日在籍及び入退所児童 []内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	19	19	19	19	22	22	22	22	22	22	22	22	252
入 所 うち()は初日入所					3 (3)							1	4
退 所 うち()は初日退所												3	3
月末在籍	19	19	19	19	22	22	22	22	22	22	22	20	

4. 入所理由別表

入 所 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			
2. " 行方不明			
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁	1	2	3
6. " 入院	1	1	2
7. " 就労		1	1
8. " 精神疾患等	4	2	6
9. " 放任・怠惰			
10. " 虐待・酷使	6	4	10
11. 棄児			
12. 養育拒否		1	1
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他			
16. 不詳			
合 計	12	11	23

5. 退所理由別表

退 所 理 由	男	女	計
1. 自立(就職)			
2. 進学			
3. 措置変更			
4. 家庭引取り		3	3
合 計		3	3

6. 在 所 期 間(R3.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
4	6	4	1	5	20

7. 一時保護及びショートステイの受け入れ

- ・一時保護
延べ日数 664日
実人数 7名
- ・ショートステイ
北茨城市 述べ日数3日 実人数1人

8. 栄養摂取状況

- ◎嗜好調査 …………… ・毎月、選択おやつや誕生月の児童に対し実施。また、普段より子どもの希望を取り入れたメニューを実施している。
 ・年1回、記述式アンケートの実施(全児童・職員を対象に実施)

1. 食 費 1日当たり 469円(原材料費)
 2. 熱 量 2,208Kcal(基準 1,759Kcal)
 3. たん白質 78.8 g(基準 45.0~80.0 g)
- ※学校給食の平均値を含む

入所理由	平成13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死亡								1	1	1	1	1	5
" 行方不明	5	5											10
" 離婚・就労	3	3	2	3	1	2	5	3	1	1	1	1	26
" 傷病・入院	1	1				1	1	1					5
" 精神疾患	2	2	1	3	9	7	7	6	6	7	6	7	63
" 受刑	6	8	7	6	8	7	10	8	8	9	7	7	91
" 被虐待・被冷遇	2	11	11	12	12	9	9	11	10	11	10	9	117
その他の	8	8	6	7	1								30
小計	27	38	27	31	31	26	32	30	26	29	25	25	347

入所理由	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	合計		
父または母の死亡	1	1																						2	
" 行方不明																									-
" 離婚																									-
" 不和																									-
" 拘禁	8	8	8	3	2	2	4	4	4	3														46	
" 入院							2	2	2	2															8
就労	1	1	1	1						1															5
精神障害	7	7	7	7	6	4	4	4	2	6															54
放任怠惰					1	1	1	1	2	2															7
虐待	6	6	7	14	14	12	10	7	6	10															92
棄児																									-
養育拒否	2	2	1	1	2	2	3	2	2	1															18
破産等経済的理由																									-
児童の監護困難							1		1																2
その他の				1	1	3		2	2																9
不詳																									-
小計	25	25	24	27	26	24	25	23	21	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	243

※平成25年度より集計項目変更

10. 児童養護施設 内原和敬寮

1) 令和5年度運営計画

昨年度は年間13名の入所、14名の退所がありました。毎年、入退所児童が多く関係構築を図るには時間を要しますが、日常の関わりの中で丁寧な支援を心がけ安心できる生活が送れるよう努めていきたいとします。

また、子どもたちとの関わりだけでなく、生活する環境を整理整頓し心地よさが実感できるよう努めま今年度、小規模ユニットの申請を4つに増やすことができ職員増員となりました。これまでより手厚いやりがができる一方で、職員が増えたことにより意思疎通を図ることの難しさが懸念され課題の一つにもな得るので、課題解決に取り組んでいきたいと思ひます。

年間を通して市町村からのショートステイの依頼が多くあります。受け入れを通して、地域家庭へ施設能を積極的に提供し、地域で親子が生活することができるよう支援していきいと思ひます。また、必要に応じて児童家庭支援センターあいびーと協働し、その家庭状況の把握や連携をしつつ施設の持つ専門性を域に還元していきいと思ひます。

1 福祉サービスの質の向上

- (1) 自立支援計画における本人との振り返りと目標設定
- (2) 年齢に応じた個別・複数人（にこまる）での生・性教育の実施
- (3) 家庭復帰と家族再統合に向けての家庭調整の充実
- (4) 里親支援の充実
- (5) 子育て支援短期利用事業の受け入れ

2 組織体制の強化

- (1) 第三者評価の実施
- (2) グループ内、グループ相互の連携強化と職員間での報告、連絡、相談の徹底
- (3) 児童家庭支援センターあいびーとの連携体制強化
- (4) 関係機関（学校、児童相談所、医療機関等）との連携強化

3 人材育成と人材の確保

- (1) 法人内外の研修への積極的参加
- (2) 人事考課の実施
- (3) 実習生、ニーズに合ったボランティアの積極的受け入れ

4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算執行
- (2) コスト削減、節約意識の徹底
- (3) グループウェアの導入の推進

5 食育の推進及び環境問題対策

- (1) 調理体験、作物栽培体験の充実
- (2) ゴミの分別と資源の有効利用の徹底

2) 運営の概況

昨年度もコロナ渦において外出を伴う行事を制限していましたが、世の中の状況と擦り合わせながら感染対策をしつつ徐々に外食やレクリエーションを再開してきました。年間を通して子どもたち、職員共に数名の罹患はありましたが、集団感染とはならず乗り越えることができました。

学校生活においては小学校での不適応があり、登校から下校するまで一日中付き添うということが続けました。刺激の多い集団生活の中で学校と連携を図りながら個人にあった支援をすることの難しさを改めて痛感した一年でした。学校との連携をこれまで以上に図る必要があると考えています。

また、社会的養育における里親委託の推進においては、3名の児童が里親委託になり、安定した生活を送れるようアフターケアに取り組んできました。

児童家庭支援センターあいびーとの連携については、あいびー職員がユニットに勤務することで社会的養育の現場を知り、地域支援に繋げられるよう研修の場を設けてきました。この連携が地域や市町村のニーズに応えられる基となるよう取り組んでいきいと思ひます。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

支援の基本は、子どもの目線に立ち、子どもの意思を尊重して自立を促すこととし、家庭的な支援の実現を目指しています。具体的には、子どもの生活基盤と生活を支援する職員のグループを3つに分け、更に6つのユニットに分けて兄弟関係を重視した少人数の縦割りグループによる支援を行います。また、生活上の約束事を子どもと職員が一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がけて、子どもたちの安定した生活につなげています。

一方、学習面では学習ボランティアを活用し、小中学生の基礎学力の向上、高校受験に向けての学習支援を行います。希望する中学生は地域の塾へも通っています。その他、地域子ども会やスポーツ少年団への参加をするなど、地域の中での運営・支援を心がけています。

ロ) 基本的目標

○ 法人理念・綱領「合掌深敬の心」を実践し、子どもが将来社会的自立できるよう援助・支援する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来社会的自立ができる。

3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○ 「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を常に持ちながら、対人援助サービスの基本であるS(笑顔)・G(挨拶)・N(名前)・T(感謝)を実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

1. S (Smile) 笑顔

常に笑顔で接する。(和顔愛語)

2. G (Greeting) 挨拶

常に明るくあいさつをする。(あなたに関心があります)

3. N (Name) 名前

必ず子どもの名前を呼ぶ。(あなたのことを知っています)

4. T (Thanks) 感謝

子どもに「ありがとう」と言える場面を作る。(あなたを必要としています)

ハ) 処 遇 目 標

○ 児童処遇の向上

- (1) 安心して落ち着いた生活が送れるよう支援する。
- (2) 規則正しい生活リズムを作れるよう支援する。
- (3) 個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする。
- (4) 基礎学力の向上、高校進学等への進路の支援をする。
- (5) 自立支援計画に基づいた支援を行う。
- (6) 早期の家庭復帰を目指し、家庭との関係を密にするため、児童相談所と連携し定期的な連絡、面会、帰省等を行う。
- (7) 自治会活動の推進。

ニ) 学 習

(1) 目 的

・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。就職・進学への支援。

(2) 内 容

- ・落ち着いて学習する習慣(準備、意欲、集中力)を養う。
- ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。
- ・子ども一人ひとりの学力、適正に応じた、計画的な就職・進学への支援の実践。
(個別面談、学習相談、進路相談)

- ・学習塾の活用（中高生の希望者を対象とする）
- ・学習ボランティアの活用

ホ) 環境（安全・保健・環境）

(1) 目的

- ・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。

(2) 内容

- ・清潔感を養う（手洗い・歯磨きの習慣化。居室の整理整頓、清潔な服装、入浴の徹底等）
- ・定期保菌検査の実施
- ・毎日の清掃の徹底
- ・非常時（火災、地震）対策、訓練の実施
- ・交通安全の大切さを知る（自転車の乗り方の指導、通学路の確認等）
- ・草花の栽培

4) 運営

職員は法人理念・綱領を実践し、サービス規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職員会議

- (1) 全体職員・給食会議 …… 月 1 回
- (2) 食育会議 …………… 月 1 回
- (3) ケース・職員会議 …… 月 1 回
- (4) グループ長会議 …… 月 2 回
- (5) 連絡会議 …………… 毎日午前・午後

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環境衛生

- ア. 室内の消毒 …………… 毎日
- イ. 便所消毒 …………… 毎日
- ウ. 寝具消毒 …………… 随時

(2) 身体衛生

- ア. 健康診断 …………… 学校保健法に準じて実施
(本園嘱託医により) … 7月1日（未就園児）、3月26日
- イ. 身体測定 …………… 月 1 回
- ウ. 散髪 …………… 随時
- エ. つめ切り …………… 週 1 回
- オ. 下着交換 …………… 毎日
- カ. 入浴 …………… 毎日
- キ. 児童保菌検査 …………… 年 2 回
- ク. 職員保菌検査 …………… 月 1 回

(3) 安全管理

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月 1 回）
- イ. 火災報知器の検査（水戸ホーチキ株） …… 令和4年7月6日、令和5年1月16日

(4) 児童の安全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月 1 回）・不審者対応（年 2 回）
- イ. 登下校時の送迎（小学生）
- ウ. 交通安全指導
- エ. 環境整備（毎月末の土曜日）

5) 児童処遇の計画

◎学習支援について

1. 平日（日曜日はなし）

- 小学生：帰園後
- 中高生：自主学習（個人のレベルに合わせて）
中高生の希望者においては塾を利用する。

2. 場所 …… 居室・ダイニング

3. 学校の準備、後片付けの徹底。

◎生活支援について

子どもたち一人ひとりの個性を大切に、生活の中に家庭的な雰囲気が感じられ、安心できる場所を与えられるよう、個別に月間生活目標を作成し、支援を行う。また、地域社会の一員として自立し、自信を持って生活ができるよう、長期計画的な視点で自立支援計画を作成する。

1. 児童の小遣いについて（毎月1日支給）
 - ・小遣い帳に記入し、金銭管理をする。
 - ・貯金の励行（通帳の作成）
 - ・用途は自主性を尊重し、計画的に自由に使えるよう配慮する。
2. 誕生日について
 - ・誕生日プレゼント
当日に渡す。
 - ・誕生会
各ユニットで誕生者のいる日にその都度行い、誕生者の希望するメニューを準備し祝う。
3. お年玉について
 - ・お年玉 支給対象：未帰省児とするが、その都度検討する。
4. 子ども会議の育成
 - ・児童の自主性や主体性を養うことを目的に、グループ毎に行う。
 - ・児童と職員と一緒に年間行事等の協議・検討を行う。
 - ・意見箱を設置する。
5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:00	起床・洗面 朝食		16:00	帰園(小学生) 学習	
7:00		起床	18:00	夕食	夕食
8:00	登校(小学校7:10) 登園(幼稚園7:40) 登校(中学校7:40)	朝食	19:00	テレビ視聴 入浴	テレビ視聴 入浴
12:00	昼食 帰園(幼稚園)	昼食	20:00	就寝(幼児)	就寝(幼児)
14:00			21:00	就寝(小学生) 自主学習	就寝(小学生) 自主学習
15:00	おやつ	おやつ	22:00	就寝(中高生)	就寝(中高生)

6) 令和4年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身 体 測 定	6	7	1	2	2	1	2	1	4	3	1	2
保 菌 検 査 (児 童)						7				5		
保 菌 検 査 (職 員)	6	11	1	6	6	7	5	4	7	5	2	2
安 全 管 理 点 検	26	24	28	19	23	27	25	22	20	25	22	22
非 常 時 避 難 訓 練	23	28	25	23	27	24	22	26	17	28	25	20

7) 令和4年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	5	入園入学を祝う会	10	3. 18. 28	誕生会 (太陽, 青空)
	4. 5. 9. 22. 23. 28	誕生会 (大地, 太陽, 青空)		22. 23	23
5	8	母の日祝い	11	30	おやつ作り
	12. 17	誕生会 (太陽, 青空)		6. 23. 26	26
6	28. 29	外食 (青空)	11	13. 20	外食 (青空)
	3. 20	誕生会 (大地)		20	20
7	19	父の日祝い	12	27	料理作り
	25. 26	外食 (大地)		30	30
8	26	おやつ作り	12	8. 11. 22	誕生会 (大地, 青空)
	1. 4. 16. 18. 20	誕生会 (大地, 太陽, 青空)		11	11
9	25. 26	太陽外食	1	25	クリスマス会
	10	料理作り		28	28
10	29	青空Gレク (つくばユウワールド)	2	2. 3. 4	初詣
	30	外食 (青空)		2. 26. 28	28
11	3	ソフトボールレク	3	28. 29	外食 (青空)
	8	大地Gレク (アクアワールド)		13	13
12	9	外食 (青空)	3	3	節分
	12	映画鑑賞会		18. 19	19
1	18. 26	誕生会 (太陽)	3	12	おやつ作り
	21	夏祭り		3	3
2	22	太陽Gレク (ボウリング他)	3	12	おやつ作り
	4. 5. 20	誕生会 (大地, 青空)		14. 26	26
3	19. 25	外食 (太陽)	3	18	旅立ちを祝う会
	26	おやつ作り		22. 26	26

8) 令和4年度資料

1. 職員の研修

	園 長	事 務	指 導 員	保 育 士	セビ [®] ス	調 理 員 等	計
県・社 協			2	6			8
団 体	3	1	4	2			10
法人・施設	14	4	119	133	10	40	320
計	17	5	125	141	10	40	338

2. 児童構成 (R5.3.31現在)

区分 年令・学年	未 就 学 児						学 生						中 学 生			高 校 生			他	計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3		
男				1	2	1	1		1		2	1	3	1		1	1			15
女			2					1	2	2	1	2	1	1	2	4			1	19
計			2	1	2	1	1	1	3	2	3	3	4	2	2	5	1		1	34

3. 各月初日在籍及び入退所児童

[]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	37	39	37	37	35	34	35	38	38	39	37	37	443
		[2]	[1]	[1]					[1]	[1]		[1]	[7]
入 所	2	1				1	4	1	1		1	2	13
うち()は初日入所	(1)	(1)					(1)						(3)
退 所		2		2	1	1		1		2	1	4	14
うち()は初日退所													
月末在籍	38	37	37	35	34	34	38	38	39	37	37	35	439
	[2]	[1]	[1]						[1]		[1]		[6]

4. 入所理由別表

入 所 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			
2. " 行方不明			
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁			
6. " 入院			
7. " 就労	1		1
8. " 精神疾患等	3	2	5
9. " 放任・怠惰	4	4	8
10. " 虐待・酷使	13	14	27
11. 棄児			
12. 養育拒否		1	1
13. 破産等の経済的理由		3	3
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他	2	2	4
16. 不詳			
合 計	23	26	49

5. 退所理由別表

退 所 理 由	男	女	計
1. 自立（就職）	1		1
2. 進学（大学・専門学校）			
3. 措置変更	6	2	8
4. 家庭引取り	1	4	5
合 計	8	6	14

6. 在籍期間（R5.3.31現在）

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
11	4	9	8	3	35

7. 一時保護入所状況

実人数 12名
延べ日数 410日

8. ショートステイ受入状況

実人数 14名
延べ日数 181日

トワイライトステイ受け入れ状況

実人数 0名

9. レスパイト受け入れ状況

実人数 4名
延べ日数 31日

10. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施
年1回記述アンケートにより実施

1. 食 費 1日当り 626 円
2. 熱 量 2,198 Kcal（基準 2,093 Kcal）
3. たん白質 82 g（基準 68.0g～104.7g）
（学校給食の平均値含む）

入園理由別総計表（内原和敬寮）

入園	理由	平成 15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死	死亡			1	1	1					1	4
"	行方不明	4	9	7	8	2	2	2	2	2	2	40
"	離婚・就労					2	1	1				4
"	傷病・入院	2	10	8	6	7	6	7	4	3	2	55
"	精神疾患	4	2	3	4	2	4	8	12	9	8	56
"	受刑	5	15	9	8	7	7	5	1	1	1	59
"	被虐待・被冷遇	12	17	17	19	19	18	21	20	21	19	183
その他		14	5	2	3	5	6	6	5	4	1	51
小計		41	58	47	49	45	44	50	44	40	34	452

入園	理由	平成 25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4	合計
父または母の死	死亡	1	1	1	2	2	1	1				9
"	行方不明	2	2	2	1	1						8
"	離婚											-
"	不和											-
"	拘禁	3	2		1	1	1	1				9
"	入院	2	2	2								6
"	就労	1	2	1	3	4	4	2	1	1	1	20
"	精神障害	8	7	7	7	6	5	3	3	3	5	54
"	放任怠惰	9	11	9	11	13	14	11	10	9	8	105
"	虐待	12	13	11	13	12	12	22	25	24	27	171
棄児												-
養育拒否		2	2	2	2						1	9
破産等経済的理由								2	2	3		7
児童の監護困難		1										1
その他の		1	4	10	7	6	3	2	2	3	4	42
不詳												-
小計		41	47	45	47	45	40	42	43	42	49	441

※平成25年度より集計項目変更

1 1. 児童養護施設 つくば香風寮

1) 令和5年度運営計画

昨年度は、年間5名の入所と6名の退所がありました。新型コロナウイルスへの対策には、かなり力を入れたこともあり、子ども間の感染拡大はほとんど防ぐことができました。今年度は、新型コロナの扱いが大きく変わっていく年になると思います。社会情勢を注視しながら、新型コロナを侮らず、しかし恐れずに、子ども達が安心して生活できるように支援していきたいと考えております。

子ども達が安心して生活するためには、職員が安心して働ける職場を作ることが重要と考えております。職員の定着率を高めるためにも、心理的安全性の高い組織作りに努めていきたいと考えております。

1 施設提供サービスの向上

- (1) バランス感のある感染症対策と家庭的養育の両立
- (2) アセスメントの強化による子どもと家族の理解
- (3) ペアレントトレーニングを取り入れた養育技術の標準化
- (4) 施設の強みを活かした専門的地域貢献
- (5) リービングケアとアフターケアの充実
- (6) 地域小規模化に向けた取り組み

2 人材育成

- (1) 施設内外の研修の計画的参加（施設・職員の課題に即した研修計画）
- (2) 人事考課制度の継続実践
- (3) 実習生の積極的受け入れと実習プログラムの体系化に向けた検討
- (4) 法人内他施設との職員交換研修

3 組織強化

- (1) 職員のチームワーク強化
- (2) 施設内虐待に関する理解と予防への取り組み
- (3) 職員の意見・考えを積極的に運営に生かす取り組み
- (4) 人材定着のための業務改善と職場環境づくり
- (5) 第三者評価受審

4 財政基盤強化

- (1) 物価上昇等の社会情勢を踏まえた予算見直しと執行
- (2) コスト意識、節約意識の徹底
- (3) グループウェア導入の推進

2) 運営の概況

昨年度は入所が5名、退所が5名ありました。退所5名のうちの1名は大学生として、1名は就職を決めて巣立っていきました。また、高校受験をした2名も無事に志望校に合格することができました。入所5名のうち3名は、さくらの森乳児院からの措置変更で入所してきた子どもたちです。引っ越してくる子ども達が少しでも安心して暮らせるよう、さくらの森乳児院との連携を今後も密にしていきたいと考えております。

新型コロナウイルスにつきましては、つくば香風寮においても、職員や子どもが感染してしまうことがありましたが、職員や子どもの頑張りで何とか乗り切ることができました。今後5類に引き下げられる中、子ども達の発達や経験に必要な日常を取り戻していきたいと考えております。

「職員の定着」というつくば香風寮の課題につきましても、引き続き取り組んでいかななくてはならない大きなテーマとなっております。昨年度末には、各職員が同僚の素敵などころ、尊敬できるところなどを書いた「ストレングス・カード」を交換し合うという取り組みをしました。また、つくば香風寮の運営についてをテーマに職層別でグループディスカッションし、意見を出し合うという取り組みをしました。今年度も、一人一人の職員の意見を大事にする施設づくりを目指し、職員一丸となって努力していきたいと考えております。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

子ども達の生活支援において「受容・共感」「支持」「教示」を援助の基本とする。安心と安全の維持に最大限努力し、その子ども一人ひとりの健全な自己実現の助けとなる自立援助を目指す。また、子ども達の意思や選択が反映されたより家庭的な生活支援の実現を目指す。さらに、子ども達の生活支援を地域の暮らしの中で実践し、それらを通して権利擁護意識の啓発、地域児童福祉への専門性の還元を視野に入れながら、地域と一体となった施設運営を目指す。

具体的には、子どもの生活基盤を4つのユニットに分けた少人数の縦割りで支援し、生活を支援する職員のグループを2つとした支援を行う。また、生活上のきまりや約束事を子どもと職員が一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がける。さらに地域子ども会やスポーツ少年団への参加など地域の中で運営・支援していく。

ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、子どもが将来、社会的自立ができるよう援助指導する。

1. 布施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来、社会的自立ができる。

3. 智慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

ハ) 処遇目標

1. 児童支援の向上

- (1) 日常生活支援の徹底 (社会的、知的及び情緒的自立ができる子どもの育成)
- (2) 個性尊重 (その子の個性を尊重し、固有の良い面を伸ばす。)
- (3) 基本的生活習慣の獲得 (基本的生活習慣を獲得しその維持と自立を目指す。)
- (4) 落ち着いた生活維持 (寮内生活の基本ルールの遵守、自分を大切に他人の権利を侵害しない。)
- (5) 清潔な環境づくり (整理整頓や清掃、物を大切に扱う習慣を身に付けることができるよう支援する。)
- (6) 努力する心育成 (スポーツ指導や情操教育を通して努力する心、集中力、忍耐力、持続力を養う。)
- (7) 子ども自身の参画 (子ども自身が寮内生活を創っていく心を育てる。)
- (8) 潤いのある生活 (安全と衛生面に留意した、安心で潤いのある生活環境を整える。)

ニ) 学習

(1) 目的

- ・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。その子の特性や固有の力に応じた進学適正、就業適正を網羅した知的自立支援を行う。

(2) 内容

- ・落ち着いて学習する習慣 (準備、意欲、集中力) を養う
- ・基礎学力を養成し学習効果を高める。高校受験の特別支援
- ・計画的な進路相談を実践する (面談、学習支援、進路相談)
- ・心理士の助言による進学適性、就業適性を踏まえて、学習支援と児童の発達状況に応じた支援を展開する

ホ) 環境 (安全・保健・環境)

(1) 目的

- ・子どもが安全に安心して明るく生活できる環境を作る

(2) 内容

- ・手洗い、消毒の習慣化、清潔感を養う (服装、身体)
- ・季節性感染症対策の徹底
- ・健康診断、定期保菌検査の実施
- ・環境整備 (施錠、補修、整備、整理整頓、毎日の清掃)
- ・非常時 (火災、地震) 対策、訓練の実施

- ・交通安全の徹底（自転車点検、補修、通学路の確認）
- ・環境美化活動（子ども自身が安全面に配慮する、寮内外の環境美化、地域への奉仕活動）

へ) 情 操

(1) 目 的

- ・園芸や作物づくりなど土に触れる体験を通して、豊かな情緒を育む。

(2) 内 容

- ・敷地内への樹木、草花の植栽
- ・農作物の栽培（じゃがいも、夏野菜など）

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- | | | |
|-----------------|-------|----------------------|
| (1) 職員会議 | | 月 1 回 |
| (2) グループケース会議 | | 月 1 回 |
| (3) 運営会議 | | 月 1 回 |
| (4) 連絡会議 | | 毎日 8:40及び13:15 |
| (5) 里親支援会議 | | 月 1 回 |
| (6) 調理員会議 | | 月 1 回 |
| (7) 施設内研修 | | 月 1 回 |
| (8) 家庭支援会議 | | 隔月 1 回：内原地区担当者との合同会議 |
| (9) リスクマネージャー会議 | | 隔月 1 回 |

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- | | | |
|-----------|-------|-------|
| ア. 室内外の消毒 | | 月 1 回 |
| イ. 寝具日光消毒 | | 好天日随時 |
| ウ. 浴場消毒 | | 毎 日 |
| エ. トイレ消毒 | | 週 1 回 |
| オ. 食器消毒 | | 毎 日 |

(2) 身 体 衛 生

- | | | |
|-----------|-------|--|
| ア. 健康診断 | | 学校保健法に準じて実施
(嘱託医による・・・6月・12月の嘱託医来訪健診の他、随時医院にて実施。全児年間2回) |
| イ. 身体測定 | | 月 1 回 |
| ウ. 散髪 | | 随 時 |
| エ. つめ切り | | 週 1 回 |
| オ. 下着交換 | | 毎 日 |
| カ. 入浴 | | 毎 日 |
| キ. 児童保菌検査 | | 月 1 回 |
| ク. 職員保菌検査 | | 月 1 回 |

(3) 安 全 管 理

建物設備等点検…業者委託（総合建物サービス株式会社、（株）NEW NEXT CLEAN）

- | | | |
|----------------------|-----|-----|
| ア. 空調機保守点検（年2回） | 5月 | 11月 |
| イ. 換気設備保守点検（年2回） | 5月 | 11月 |
| ウ. 受水槽清掃・水質検査（年1回） | 6月 | |
| エ. グリストラップ清掃（年2回） | 6月 | 12月 |
| オ. 消防設備点検（機器点検・総合点検） | 5月 | 11月 |
| カ. 巡回設備点検（年2回） | 5月 | 11月 |
| キ. ダムウォーター点検（年6回） | 奇数月 | |

(4) 児 童 の 安 全

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| ア. 避難訓練・・・ | 月 1 回 |
| イ. 登下校時の送迎 | |
| ウ. 環境整備・・・ | 毎日（朝の連絡会議終了後）、月 1 回の環境美化活動 |
| エ. ヒヤリハットレポートによる未然事故の予防検討： | 毎月職員会議内にて |
| オ. アルソックによる警備システム配備 | |

5) 児童の支援計画

◎学習支援について

1. 学習時間

平日：帰寮後 土曜日：個々の適正、課題、達成目標に応じて

2. 内 容

- ・基礎学力養成のためドリル学習（小1～中3）

- ・学生ボランティアによる個別指導の活用
 - ・中学生以上は原則として学習塾を利用し、学力向上を目指す
 - ・進路相談：面接 中学3年生 随時（グループ長）
 中学1・2年生 随時（フロア担当者）
 - ・進学適正、就業適正に関する助言（心理士）
3. 場所について
 - ・各ユニットにて実施（居室・食堂）
 4. 学校の準備、片付けの徹底

◎生活支援について

1. 生活指導訓練費（小遣い）
 - ・小遣い帳を記入し金銭管理を教える
 - ・貯金の励行
 - ・有効な小遣いの使い方指導
2. 誕生日
 - ・誕生会は各ユニットで実施。希望の夕食を提供し、それぞれに家庭的な雰囲気の中で実施するよう心掛ける
3. お年玉
 - ・全児童に対して支給する

6) 週間予定及び日課

1. 週間指導目標

日	衛生面確認（頭髪、爪、耳垢等） ※随時
月	登校児の確認（ハンカチ、ティッシュ、胸章、防犯ブザー等） ※毎日
火	入浴マナーの確認 ※随時
水	環境整備（寝具日光消毒、室内外清掃、消毒等） ※随時
木	安全確認 ※随時
金	上履き、靴洗い
土	基礎学力養成 ※毎日

2. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起 床・洗 面		15:00	おやつ	おやつ
7:00	朝 食		18:00	夕 食	夕 食
7:30		起 床・洗 面	19:00	入 浴	入 浴
7:45	登 校(小中学生)		20:00	幼児就寝	幼児就寝
8:00		朝 食	22:00	消 灯・就 寝	消 灯・就 寝
8:15	登 園(幼稚園)				
12:00	昼 食	昼 食			

7) 職務分掌

1. 生活支援
 - 子どもの意見反映 家庭との連携 関係機関との連携 地域交流
2. 適正支援
 - 基礎学力養成 知的自立支援（リーダー、心理士）
3. 環境（安全、保健、環境）整備
 - 避難訓練 連絡通報担当 初期消火担当 避難誘導担当 応急救護担当 保健担当
 - 書類搬出担当 安全点検 自転車点検 公用車管理 環境美化活動
4. 会 議
 - 職員会議 ケース会議 運営会議 施設内研修 会議録管理

5. 物品及び予算管理
 小口現金 教育費 教養娯楽 被服寝具 日用品 教育教材 保健衛生 事務用品
6. 係
 個人情報管理者 処遇システム管理 研修委員 情報公開委員 親睦会
 学校関係 子ども会 学習塾 スポーツ少年団 県南西8施設研修 人材育成
 (茨児協関係) 児童厚生部 児童福祉部
 (行事関係) 個別レク 夏休み係 冬休み係

8) 令和4年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
保菌検査(児童・職員)	6	11	10	6	3	7	5	9	7	11	8	8
安全管理点検	30	31	30	31	31	30	31	30	30	31	28	30
非常時避難訓練	28	14	23	19	30	29	23	12	28	14	11	11

9) 令和4年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	18、26、30	誕生会	10	29	誕生会
5	21、23	誕生会		11	個別外出
	5	こどもの日	29	バーベキュー	
6	8	母の日	11	19	七五三
	9、10、14、26、30	誕生会	12	7	誕生会
19	父の日	24		クリスマス会	
7	4、19、21	個別外出	28	餅つき	
	5、9、26	誕生会	1	3、6、27	誕生会
28	個別外出	4、5		初詣	
8	28	デイキャンプ	15、22、28	個別外出	
	1	男児キャンプ	2	3	節分
8、27	誕生会	3		20、30	誕生会
11	退所祝い		3	ひな祭り	
9	13、16	誕生会	26	個別外出	
	17	女児キャンプ	13	卒業祝い	
	25	個別外出			

10) 令和4年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事務	指導員	保育士	心理士	調理員等	計
県・社協	1	1	11	12		2	27
団体	1		13	7	1	1	23
法人・施設	7		136	85		3	231
計	9	1	160	104	1	6	281

2. 児童構成 (R5.3.31現在)

区分 年令・学年	未就学児						小学生						中学生						高校生			他	計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3					
男	0	0	3	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2	1	2	2	0	14			
女	0	0	1	3	0	0	1	1	0	0	1	0	0	2	1	1	1	2	0	14			
計	0	0	4	3	0	0	2	2	2	0	1	0	0	2	3	2	3	4	0	28			

3. 各月初日在籍及び入退園児童

[]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	28	29	29	27	27	26	28	28	29	29	30	30	340
入 所 うち()は初日入所	1					2		1		1			5
退 所 うち()は初日退所			2		1							2	5
月末在籍	29	29	27	27	26	28	28	29	29	30	30	28	340

4. 入寮理由別表

入 所 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			
2. " 行方不明	2		2
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁	1	3	4
6. " 入院			
7. " 就労			
8. " 精神疾患等	2	3	5
9. " 放任・怠惰	5	4	9
10. " 虐待・酷使	6	5	11
11. 棄児	1		1
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他		1	1
合 計	17	16	33

5. 退寮理由別表

退 園 理 由	男	女	計
1. 自立（就職）		1	1
2. 進学（大学・専門学校）	1		1
3. 措置変更			
4. 里親委託			
5. 家庭引取り	2	1	3
合 計	3	2	5

6. 在籍期間（R5.3.31現在）

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
5	5	6	5	7	28

7. 一時保護受入状況（延べ人数・日数）

4名 98日

8. ショートステイ受入状況（延べ人数・日数）

牛久市 1名 3日

9. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施（お誕生日メニュー）
令和4年10月在籍児童に嗜好調査アンケート実施
（アンケートについて年少児童は職員の介助による。）

- 1. 食 費 1日当り 725円（原材料費）
- 2. 熱 量 2,027 Kcal（基 準 1,969 Kcal）
- 3. たん白質 70.1 g（基 準 47.3～90.7 g）

11) 茨城県里親制度等普及促進・リクルート事業 実施状況

1. 里親制度説明会及び里親制度出前講座等の開催

①里親制度出前講座

（つくばArtクリニックスタッフ、水戸ホーリーホック選手・スタッフ、管轄地区民生委員、
・児童委員、茨城天理教、管轄市町村職員等）

②里親制度説明会（第1回50組65名・第2回26組40名：計76組105名）

③里親制度相談ブース

（利根町・河内町・常総市・つくば市）

2. スポーツ・地域イベント等における里親制度広報活動

①水戸ホーリーホック公式戦3試合

②茨城アストロプラネッツ公式戦18試合

③土浦市：健康祭り ＊パネル展示のみ

④つくばみらい市：商工感謝祭

- ⑤利根町：地場産業フェスティバル
- ⑥河内町：かわちドリームフェスティバル2022
- ⑦常総市：国際交流イベント
- ⑧つくば市：カラフルマルシェ

3. 地域企業・医療教育機関・メディア等の協力を得て行った広報活動

- ①株式会社茨城毎日広告社（つくば市）
- ②株式会社茨城新聞（日立市）
- ③株式会社読売茨城タウンニュース（水戸市）
- ④株式会社日宣メディックス（つくば市）
- ⑤株式会社エリート情報社（牛久市）
- ⑥株式会社茨城放送（水戸市）
- ⑦（総合広告代理店）茨城広報株式会社（月刊ぷらざ）
- ⑧株式会社朝日新聞社
- ⑨県報ひばり
- ⑩Office Magenta クリエイターズ
- ⑪土浦イオン株式会社
- ⑫JR東日本（石岡駅）

4. 全国一斉里親制度啓発キャンペーン「OneLove」2022

- ①土浦駅前・土浦市役所 日時：10月4日（火）
- ②ケーズデンキスタジアム水戸 日時：10月23日（日）

5. 市町村の協力を得て行った広報活動

- ①市町村発行の広報誌への記事掲載
- ②里親制度パネル展の実施
- ③公立学校の教職員への広報活動

6. 里親制度等広報啓発普及物品の作成

里親制度広報チラシ、パンフレット、ポスター、カード、ボールペン等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ガイドダンス	7	2	0	1	2	7	2	4	5	3	2	5	40
来寮相談	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	6
電話相談	2	0	4	5	2	5	6	5	2	3	4	3	41

12. 乳児院 同仁会乳児院

1) 令和5年度運営計画

昨年7月から新しい4ユニット（ほし、つき、そら、にじ）の生活が始まりました。より家庭に近い環境の中で様々な体験をすること、一人ひとりの発育、発達に合った支援を行うことなど小グループケアの良さを生かした支援を行っていきます。

また、昨今の保育所等児童福祉施設での乳幼児への不適切な関わりは、子どもを養育する私たちにとっては心痛いニュースです。それを踏まえ、安心・安全基地として職員の権利擁護の向上に努めてまいります。

さらに、里親委託が推進する中で養育の在り方も高機能化、多機能化、地域支援に向け、全国乳児協議会が提唱する「乳幼児総合支援センター」を見据えて準備を進めていきたいと考えております。

今年度から令和9年度までの第二期中期運営計画が開始になります。今後5年間の計画も踏まえ、次の事項を運営計画といたします。

1 福祉サービスの向上

- (1) 愛着形成を基盤に子どもらしくのびのびと自己表現できる環境作り
- (2) 社会体験を充実できるプログラムや日中活動の見直し
- (3) 早期家庭復帰、里親委託推進に向けた関係機関との連携
- (4) 地域子育て支援事業への協力（栄養士、心理士、保育士、看護師の派遣）
- (5) 養育手順マニュアルの見直しと改訂

2 組織体制の強化

- (1) ユニットの勤務や権利擁護等の体制作り
- (2) 支援における職員相互の共有と理解（報告、相談、連絡の強化）
- (3) 職員強化のためバディ制度の継続延長
- (4) 第三者評価の実施
- (5) 職務分掌の見直しと適材適所の配置

3 人材育成

- (1) 園内研修（初任者研修）の充実と外部研修への積極的参加
- (2) 中堅職員の育成
- (3) 人事考課の継続実施
- (4) ボランティアや実習生の積極的な受け入れ

4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行とコスト意識の徹底
- (2) SDG s の取り組み（省エネ、残滓の堆肥化、ゴミ削減等）

2) 運営の概況

昨年6月、施設の大規模修繕が完了し、7月からユニットでの生活が開始になりました。

新しいユニットの生活に子どもたちはいち早く順応し、職員の心配をよそに小グループの良さを満喫しています。まだまだ、ユニットでの生活の中で改善すべき点は多々ありますが、職員一丸となってさらに家庭的な生活を推し進めていきたいと思っております。

さて、昨年度の入所は8名、退所は12名、一時保護は6名でした。一時保護から入所に至ったのは4ケースでした。退所児童12名中3名は児童養護施設、家庭引き取りは4名、里親委託が4名となっています。

他1名は退所から一時保護となりました。その後一時保護解除となり、児童養護施設へ移動となっています。

また、今年度から里親支援専門相談員を増員し、2名体制となりました。

昨年、里親委託当日に委託日が延期になり、最終的には児童養護施設への措置変更となり、子どもには、辛い思いをさせてしまいました。今後益々里親委託が進みますが、子どもの最善の利益を目指しながら関係機関と連携し里親支援を行ってまいります。

令和5年度4月初日は、入所児11名一時保護1名の12名の子ども達との生活がスタートしました。

この1年も子どもたちの気持ちに寄り添い、保護者、里親、児童相談所等関係機関と協力しながら支援にあたりたいと思っております。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

子ども達の生活が安全で安心なものになるよう次のことに努力していきます。

1. 「愛着関係の形成」を重視した個別対応の養育を行います。
2. 子ども達がよりよい生活を送ることができるよう、環境の整備を行います。
3. 家庭支援専門相談員を中心に、子ども・家庭・地域等の総合的な調整を図り、里親委託を含めた早期家庭復帰支援を行います。
4. 心理療法担当職員による専門的な関わりや、家族の心理的不安の軽減に努めます。
5. 里親支援専門相談員を中心として、地域の里親支援を行います。
6. 職員の研修機会を多くし、子ども達の処遇向上に努めます。
7. 子どもの成長に合わせた食育の計画及び実践を行います。

ロ) 基本的目標

法人理念 「合掌深敬」 感謝と共生の心

法人理念・綱領を実践し、乳幼児が養育者と共に、時と所を共有し、共感し、応答性のある環境の中で、生理的・心理的・社会的に豊かな人間関係を培い、社会の一員として参画できる基礎作りを目指します。

ハ) 養育目標

1. 基本的生活習慣の確立 …… 個々の発達段階をふまえて一貫した養育を行う。
 - 0 才 児 …… ミルクの自律栄養、離乳食（食べる意欲の基礎づくり）、寝返り、お座りの練習、這い這い、つかまり立ち、つたい歩き。
 - 1 才 児 …… 食事の練習（スプーン・フォーク・コップ飲み等、食べる意欲を大切に育てる）、つたい歩きから歩行の完成、歯みがきの練習、排泄への意識づけ。
 - 2 才 児 …… 食事の自立（食の体験を広げる）、言語の獲得（単語より二語文へ、また会話が出来る）、排泄の自立に向けての練習、簡単な着脱の練習、歯みがきの練習。
 - 3 才 児 …… 食事は自立するが個人差や偏食がでやすいので楽しい雰囲気を心がける、自我も確立する時期（個々の興味や自発性を大切にする）
自分の気持ちを伝えられるようになり、相手の気持ちも分かるように職員は仲立ちとなる。
2. 基礎体力の増進 …… 身体を鍛練をする。
ベビーマッサージや乳児体操の実施と薄着の習慣付けをする。
3. 情緒の安定
落ちついた環境でおだやかな働きかけを行い、基本的欲求を満たす。
社会生活への適応性の涵養に心がける。
4. 生活支援
基本的生活習慣を身につけると共に、子どもの持っている素質を充分にのばす。

4) 運 営

1. 職務分掌

- | | | | |
|--------------|----------------|--------------------|------------|
| 1. 被服(寝具等含む) | 2. 日用品 | 3. 保健衛生 | 4. 教養娯楽 |
| 5. 消耗品 | 6. 環境製作(手作り玩具) | 7. 器具・什器 | |
| 8. 環境美化 | 9. 環境整備 | 10. 院車管理 | 11. 防火管理 |
| 12. ボランティア | 13. 事務用品管理 | 14. 実習生指導 | 15. パソコン担当 |
| 16. 諸記録用紙管理 | 17. 親睦会 | 18. 給食(ミルク、おやつ等管理) | |
| 19. 県内乳児院連絡会 | 20. ブログ担当 | 21. 保護者会担当 | |

2. 職員会議

1. 職員会議(管理・運営全般・・・月1回)
2. 運営会議(管理・運営全般・・・月1回)
3. 養育会議(ケース検討、保育内容、乳幼児の健康管理・・・月1回)
4. 献立会議(献立、離乳食の検討、調理業務内容の検討・・・月1回)
5. ユニットリーダー・サブ会議(各ユニットのケース検討、保育内容等・・・月1回)
6. 全ユニットリーダー・サブ会議(全ユニットの情報交換等・・・年4回)
6. 連絡会議(朝・夕の業務引継・・・毎日)
7. 看護会議(看護師間の連絡調整・・・年4回)
8. 五者会議(家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、個別対応職員、看護師、心理士・・・月1回)

3. 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施

- 月例健診・・・月1回(囑託医 滝 有希子先生)
検 便・・・年2回(株式会社 江東微生物研究所)
乳幼児検診・・・随 時
入所時検診・・・ 〃

2. 身体計測の実施 … 月1回(身長、体重、頭囲、胸囲)

3. 身体衛生の実施 (入浴、爪切り、耳掃除、着衣清潔、手洗い、歯磨、整髪)

4. 環境衛生の管理 (便所清掃消毒、寝具日光消毒、敷布カバー交換、カーテン洗濯、玩具消毒、室温湿度調節、換気、防虫)

5. 感染予防 (感染源との隔離、消毒)

6. 鍛 練 (薄着の励行、乳児体操、ベビーマッサージ、外気浴、体育遊び等)
7. 安全な環境の確保と十分な目配り
8. 玩具等の保安全管理点検
9. 事故防止と安全(窒息、転倒、転落、かみつき、ヒヤリ・ハットの記録と検証)
10. 院内外危険箇所等の確認及び保全点検 … 月1回
11. 非常時(火災・地震)対策・訓練の実施 … 月1回
12. 非常時、(株)総合警備保障に通報契約
13. 建物設備等点検 … 業者委託
 - ① 電気設備検査(関東電気保安協会) …… 月1回
 - ② 自動火災報知器の検査(作業検査) …… 年1回
 - ③ 非常通報装置の点検 …… 年1回
 - ④ ガス湯沸器清掃点検 …… 年2回
 - ⑤ スプリンクラーの点検 …… 年1回
 - ⑥ エレベーターの点検 …… 月1回

5) 養育の展開

①担当制

担当は入所から退所まで原則として変えない。

担当者は担当児との愛着関係を結び、安定した生活を送れるようにする。

②指導計画・自立支援計画

子どもの成長、発達を支援するため、アセスメントシートを活用し、担当者が毎月、月目標と留意点を作成し、ユニット会議で関わり方など話し合い、養育会議でカンファレンスを行う。

③健康管理

嘱託医、市保健センターなどの指導を受け、健康管理を行う。

④生活

ユニットごとの活動を中心にして、個別的な対応を多く持つなど工夫する。

より家庭的な暮らしを心がけ、子ども達と一緒に洗濯や食事作りなどの経験を増やしていく。

養育手順マニュアルに沿った養育をする。

⑤日中の保育の充実

年間保育目標(別表)月案、週案に基づきつつ、ユニットごとにその日の保育内容を決めて行う。

⑥年間保育行事計画に基づく行事(別表)

⑦定期的行事

- ・肥前山へのお参り…入所後の健やかな成長を祈願する。1か月未満児はお宮参りを兼ねる。
- ・お食い初め…生後3～4ヶ月の間
伝承行事。一生丈夫で、また、食べ物に困らないようにという願いを込めて行う。
- ・誕生会…誕生日を迎えたその日にみんなでお祝いをする。また、満1歳の誕生日児には一升餅を背負わせお祝いをする。
- ・スキンシップデー… 該当月(担当職員と1日、1対1で過ごす)
 - 《1歳》
担当者と1対1でスキンシップを図る。
 - 《1歳6か月》
社会体験の一つとして担当者と外出し、公園で遊んだり散歩をしたりしてスキンシップを図る。
 - 《2歳・2歳6か月》 ※3歳超過児は半年ごと
家庭復帰に向けた社会体験の一つとして、担当者と外出しバスや電車の体験・レストランでの食事・図書館やお店の見学・おもちゃの買い物などを体験させる。
- ・食育
家庭的な雰囲気の中で簡単なおやつや、食事を作り、手作りの楽しさやおいしさを味わう。
また、野菜や果物の原物を見たり、触れたりすることで食べる意欲を高める。栄養士による企画は、季節ごとに年4回実施。
- ・買い物体験…行けるときいつでも
家庭復帰に向けた社会経験の一つとして、各ユニットの子ども達を対象に自分でお金を払って物を買う体験をさせる。併せて、その体験を通し満足感を味わうとともに、物を大切にする気持ちを養う。
- ・ハッピーデー…2～3か月に1度実施
時間に制約されず十分に遊び、軽い食事をする。
- ・外食体験…年6回
レストランでの外食体験を楽しむ。
- ・臨海学園、同仁会子どもホームとの交流
学園の幼児とは日常的に遊びの交流を行う。また、兄弟のいる子どもに対しては積極的に交流の場を設ける。
- ・地域子育て支援への参加
同仁会地域子育て支援事業に参加し、地域の親子と交流する。
キフトにて保育士によるベビーマッサージ講座、栄養士による離乳食、栄養指導

- 3歳児健診、すこやか健診への心理士派遣
- ・保護者会
 - 子どもの日、クリスマス会の行事に参加してもらい、職員との交流を図る。
 - (家族招待行事は令和4年度はコロナ禍で実施できず、1日の様子がわかるアルバムを各作成し、保護者にお渡しする)
- ・励ます会
 - 乳児院から巣立っていく子どもの新しい生活をみんなで励ます。

⑧日 課

時間	ほし、つき	そら、にじ	時間	ほし、つき	そら、にじ
6:00	起床 検温・着替え	起床 検温・着替え	14:00	起床 検温	起床
7:30	授乳 自由遊び	朝食 自由遊び	14:30	授乳・離乳食	間食
9:15	職員朝礼	職員朝礼	15:00	入浴	あそび
9:30	授乳 離乳食	間食	16:00	あそび	あそび
10:00	あそび	あそび	17:00	職員終礼	職員終礼
11:30	授乳	昼食	17:30	あそび	夕食
12:00	午睡		18:30	授乳	入浴
12:30		午睡	19:00	就寝	
			20:00		就寝
			23:00	授乳	

*授乳は自律栄養を心がける

6) 令和4年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身体測定	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
月例健診	29	20	17	29	30	16	28	14	23	20	24	31
児童・職員の保菌検査	11	9	12	11	8	12	11	14	12	10	13	11
安全管理点検	22	27	24	22	26	30	28	25	23	27	24	24
非常時避難訓練	27	25	28	27	31	17	26	6	12,30	8,18	16	14

7) 令和4年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	21, 27	誕生会	8	14	励ます会
	25	スキンシップデー		24	縁日、花火大会
	22, 28	院外保育 (かみね公園)			
	26	励ます会			
5	5	こどもの日の集い	9	26	誕生会
	2、11、12、 15、30	スキンシップデー		28	院外保育 (パノラマ公園)
	23 31	院外保育 (かみね公園) 院外保育 (市内公園)		29	励ます会
6	8、13、14、17、 6、14、15、21 23、29	誕生会 スキンシップデー 院外保育 (アクアワールド)	10	1, 8, 19 20, 26, 27 13、18、26	スキンシップデー 院外保育 (かみね公園、ゆうゆう館)
	7	6		院外保育 (アクアワールド)	17
7		七夕の集い	21	励ます会	
4, 13, 22 30		スキンシップデー スイカ割り、花火大会	29	お食い初め、お宮参り	
12	15 2、8、13、14、16 21 28	誕生会 スキンシップデー クリスマス会 餅つき	11	31	ハロウィン
				4	スキンシップデー
				5	誕生会
				15	七五三
1	6, 7, 12, 17 6、19、30 12	初詣 誕生会 お食い初め、お宮参り	2	3	節分の集い
				18	スキンシップデー
				21	イチゴ狩り
				22	誕生会
3	6, 7, 12, 17 6、19、30 12	初詣 誕生会 お食い初め、お宮参り	3	28	励ます会
				3	ひな祭り、初節句、お楽しみ会
				18, 19	誕生会
				2, 15, 21, 22 17, 20, 24, 28, 30, 31	スキンシップデー 励ます会

8) 令和4年度資料

1. 職員の研修

	院長	事務	看護師	保育士	指導員	FSW	里親支	栄養士	心理士	調理員	計
団体	1		2	10	1	1	1		2		18
県社協・県北・茨児協	1		3	15	1				1		21
法人・施設	15	4	29	185	15	13	14	15	14		304
計	17	4	34	210	17	14	15	15	17	0	343

2. 児童構成 (R5.3.31現在)

性別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男	1	2	3				6
女	1	2	2				5
計	2	4	5				11

3. 各月初日在籍及び入退所児童

[]は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	15	15	16	16	16	15	15	15	16	18	18	17	192
入所 うち()は初日入所	1	1	1			1	1	1	2				8
退所 うち()は初日退所	1		1		1	1	1				1	6	12
月末在籍	15	16	16	16	15	15	15	16	18	18	17	11	187

4. 入院理由別表

入院理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡	1		1
2. " 行方不明			
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁			
6. " 入院			
7. " 就労			
8. " 精神疾患等	5	2	7
9. " 放任・怠惰			
10. " 虐待・酷使	6	5	11
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他(育児能力 若年出産等)	3	1	4
16. 不詳			
合計	14	8	23

5. 退院理由別表

退院理由	男	女	計
1. 親元解除	3	1	4
2. 里親委託	3	1	4
3. 措置変更	1	2	3
4. その他	1	0	1
合計	8	4	12

6. 在院期間 (R5.3.31現在)

1年未満	2年未満	2年以上	3年以上	計
6	2	3	0	11

7. 一時保護入所状況

人数 6名
延べ日数 452日

8. ショートステイ受入状況

人数 3名
延べ日数 8日

9. レスパイトケア

延べ人数 0名
延べ日数 0日

10. 育児体験教室（スマイルタイム）

コロナ感染予防のため中止

11. 栄養摂取状況

1. 食費 1日当たり 650円
2. エネルギー 1,130Kcal（基準 900～1,300Kcal）
3. たん白質 41.2g（基準 29.3～65g）
4. 嗜好調査 毎月誕生月の幼児に対して実施

13. さくらの森乳児院

1) 令和5年度運営計画

昨年度は入所10名・退所10名で、入退所の多い年となりました。入所した児童との安定した生活の保障に努めるとともに、児童の安全に関して権利擁護の意識を高め、不適切な関りがないようにしていきます。

新型コロナウイルス対策としては、昨年度に引き続き院内での感染が広まってしまいましたが、前回の教訓から職員が協力して対応ができました。引き続き感染対策を行っていくとともに、社会情勢を見ながら活動範囲を広げていき、児童の社会体験の保障に努めていきます。

里親支援について、昨年度からフォスタリング事業を受託していますが、新たな事業ということもあり、関係機関との連携や事業の展開などで課題が多くみられていました。より連携を強化してより良い支援に繋げていくとともに、里親支援により一層努めていきます。

今年度は乳児室の改築を予定しており、児童の生活の在り方や職員の連携・勤務体制など全室ユニット化に対応した体制の準備を進めていき、高機能化・多機能化に向けて検討していきます。

1 福祉サービスの質の向上

- (1) 関係機関との連携による丁寧な移行支援
- (2) アセスメントに基づく個別養育の充実と一時保護児の細やかなアセスメント
- (3) 家庭支援専門相談員を中心とした家庭支援の充実
- (4) フォスタリング専門員・里親支援専門相談員を中心とした里親支援の充実
- (5) 食育の推進（季節(旬)を意識した食事作り、誕生日のお好み献立、野菜などの栽培）

2 人材の育成

- (1) 法人研修や外部研修への積極的な参加
- (2) 年間計画に基づく学習会の実施
- (3) 組織性を意識した人材の育成
- (4) 人事考課制度の継続実施

3 組織体制の確立

- (1) 第三者評価の実施
- (2) スーパーバイズ体制の活性化による養育支援の質の向上
- (3) 職員間の協力体制の強化（情報の共有・報告・連絡・相談）
- (4) ボランティアの計画的な受け入れ
- (5) つばみグループ小規模化に向けての養育体制の検討

4 関係機関等との連携

- (1) 児童相談所との連携強化（保護者支援、里親支援など）
- (2) 市町村との連携（ショートステイ受け入れや支援の協働・育児物品等の支援）
- (3) つくば香風寮との交流、連携（合同行事の実施、措置変更児童の継続的支援など）
- (4) 養成校の学生の積極的な受け入れ

5 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) コスト意識や節約の徹底

2) 運営の概況

昨年度は10名の入所があり内訳は虐待が2名、保護者の精神疾患が3名、養育困難が4名、保護者の拘禁が1名でした。退所は12名で、家庭引き取りが6名、里親委託が2名、児童養護施設への措置変更が4名でした。一時保護は9名でその多くが虐待を主訴とするものであり、行動観察を行いアセスメントに繋がっています。

昨年度も新型コロナウイルスの流行が続き、子どもたちの生活も制限のある中での生活となりましたが、その中でも感染状況をみながら、子どもたちの社会体験を確保するためにスキンシップデーや買い物体験などを行ってきました。また、感染状況により面会を停止する期間もありましたが、その期間はLINE電話での面会やこまめに連絡を取るなど子どもと保護者の関係を切らさないような関りを心がけました。昨年度は里親訪問等支援事業が本格的に稼働した年となり、児童相談所や里親支援専門相談員との業務分担や連携などで業務を行う上での課題も多く、関係機関と連携したうえで課題を解決していき、より充実した里親支援を目指していきます。前年度に続いて院内で新型コロナウイルスが蔓延してしまいましたが、前回の教訓を生かし蔓延防止策を職員の協力のもと行い、前回よりも感染者を抑えることができました。新型コロナウイルスの対応が大きく変わる中、社会情勢に合わせつつ、子どもたちの安全が守れるよう努めていきます。

イ) 基本方針

乳児院における養育の基本は、乳幼児が養育者と時と場所を共有して、共感し、応答性のある環境の中で、生理的・心理的・社会的に要求が満たされることである。さらに、在院期間だけの養育過程ではなく「生涯」にわたる人間形成の基礎を築き、子どもが生きる力を培い、生きがいのある人生を切り開いていく土台としての役割を担うものである。

具体的には、子どもたちの生活が安全で安心なものになるよう次のことに努力する。

1. 「愛着関係の形成」を重視した個別的対応や、小規模グループでの養育を行う。
2. 子どもたちがよりよい生活を送ることができるよう、人的な環境の整備を行う。
3. 子ども、家庭、地域等の総合的な調整を図り、里親委託を含めた早期家庭復帰支援を行う。
4. 心理療法担当職員が発達検査をしてその子に応じた発達支援を行うと共に、保護者対応のための助言を行う。
5. 里親支援専門相談員を中心として地域の里親支援を行う。
6. 積極的に研修に参加して、職員の養育技術向上に努める。
7. 家庭や、地域社会との連携を密にして、豊かな人間関係の基礎を培う。
8. 子どもの成長に合わせた食育の計画及び実践を行う。

ロ) 基本目標

○「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を常に持ちながら、対人援助サービスの基本であるS・G・N・Tを実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

- 1 S (Smile) 笑顔
常に笑顔で接する。(和顔愛語)
- 2 G (Greeting) 挨拶
常に明るくあいさつをする。(あなたに関心があります)
- 3 N (Name) 名前
必ず子どもの名前を呼ぶ。(あなたのことを知っています)
- 4 T (Thanks) 感謝
「ありがとう」の気持ちをたくさん伝える。(あなたを必要としています)

ハ) 養育目標

1. 「愛着関係」を形成する。

担当養育者を中心に、一貫性を持った養育を行う。

0歳・・・気持ちに寄り添ってさまざまな要求を読み取り、あるがままを受けとめ、基本的な信頼関係を育てる。

1歳・・・「やりたい」という気持ちの芽生えを大事にして、できた満足感を味あわせるとともに、新しい体験(初めて会う人や場所など)への不安を受けとめて、安心して行動できるように支える。

2歳・・・「自分で」という気持ちを大事にして、今まで培ってきた愛着関係を基盤に、まわりの物や、未知の物に自分から働きかけていけるようにゆるやかに自立を促す。

2. 基本的な生活習慣のゆるやかな確立

個々の発達段階を踏まえた養育を行う。

0歳・・・ミルクの自律栄養、離乳食(食べる意欲の基礎づくり)、寝返り、お座りの練習、這い這い、つかまり立ち、つたい歩き。

1歳・・・食事の練習(スプーン・フォーク・コップ飲み等、食べる意欲を大切に育てる) つたい歩きから歩行の完成、歯みがきの練習、排泄への興味。

2歳・・・食事の自立(食の体験を広げる)、言語の獲得(単語から二語文へ、また会話ができる)、排泄の意識づけ、簡単な着脱の練習、歯みがきの練習。

3) 運営

1. 職務分掌

- | | | | |
|-----------|--------------|----------|----------|
| 1. 消耗品 | 2. 器具・什器 | 3. 修繕 | 4. 給食 |
| 5. 保健衛生 | 6. 被服 | 7. 教養娯楽 | 8. 日用品 |
| 9. 保育材料 | 10. 公用車管理 | 11. 防火管理 | 12. 環境美化 |
| 13. 実習生指導 | 14. ボランティア担当 | | |

2. 職員会議

1. 職員会議（管理・運営全般・・・月1回）
2. 運営会議（管理・運営全般・・・月1回）
3. 養育会議（ケース検討、養育内容、乳幼児の健康管理・・・月1回）
4. 献立会議（献立、離乳食の検討、調理業務内容の検討・・・月1回）
5. グループ会議（各グループのケース検討、養育内容等・・・月1回）
6. ケース会議（入所後1ヶ月経過時、半年経過時及び必要な時にアセスメントを行う）
7. 連絡会議（朝・夕の業務引継・・・毎日）
8. リーダー会議（グループ間の連絡調整・・・月1回）
9. 看護会議（看護師間の連絡調整・・・月1回 その他必要な時）
10. 献立会議・・・月1回
11. 職場内研修（学習会・・・月1回）
12. 家庭支援会議（法人内担当者の合同会議・・・月1回）
13. つくば地区里親支援会議・・・月1回

3. 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施
 - 月例健診・・・月1回（嘱託医 伊藤陽子先生）
 - 保菌検査・・・年2回（江東微生物研究所）
※調理・給食・直接処遇職員は月1回
 - 乳幼児検診・・・随時
 - 入所時検診・・・随時
2. 身体計測の実施・・・月1回（身長、体重、頭囲、胸囲）
3. 身体衛生の実施（入浴、爪切り、耳掃除、着衣清潔、手洗い、歯磨き、整髪）
4. 環境衛生の管理（便所清掃消毒、寝具日光消毒、敷布カバー交換、カーテン洗濯、玩具消毒、玩具消毒、室温湿度調節、換気、防虫）
5. 感染予防（感染源との隔離、消毒）
6. 鍛錬（薄着の励行、ベビーマッサージ、日光浴、外気浴、体育あそび等）
7. 安全な環境の確保と十分な目配り
8. 玩具等の保安全管理点検
9. 事故防止と安全（窒息、転倒、転落、かみつき）
10. 施設内外の危険箇所等の確認及び保全点検・・・月2回
11. 非常時（火災・地震・不審者）対策、訓練の実施・・・月1回
12. 建物設備等点検・・・業者委託（総合建物サービス株式会社・NEW NEXT CLEAN）
 - ① 空調機保守点検（年2回）
 - ② 換気設備保守点検（年2回）
 - ③ 受水槽清掃・水質検査（年1回）
 - ④ グリストラップ清掃（年2回）
 - ⑤ 消防設備点検（機器点検・総合点検）（年2回）
 - ⑥ 巡回設備点検（年2回）

4) 養育の展開

1. 担当養育制
 - ・養育者が受けもつ子どもを決めて、入所から退所まで原則として変えない。
 - ・養育者は受けもつ子どもとの愛着関係を結び、安定した生活を送れるようにする。
 - ・保護者に共感的に寄り添い子どもとの関係構築を支え、養育支援を行う。
2. 自立支援計画
 - ・子どもの成長、発達を支援するため、担当養育者は2ヶ月毎に自立支援計画を作成し、評価・反省を行う。
3. 健康管理
 - ・嘱託医、市保健センターなどの指導を受け、健康管理を行う。
4. 生活
 - ・小規模グループケアを行い、個別的な対応を多く持つ。
 - ・養育マニュアルを基本とし、個々の発達に応じた養育をする。
5. 日中の養育の充実
 - ・年間養育目標、月案に基づいて、豊かにあそびを展開する。
（あそびを通じて運動能力、知的発達、手指の操作性、他者との関係能力などを高めていく）

6. 行事

① 季節、伝承の行事

- ・お宮参り …… 生後1ヶ月頃
氏神様に無事に生まれた報告をし、健やかな成長を願う。
- ・氏神様へのお参り …… 生後2ヵ月以上で入所した児
氏神様に乳児院へ入所したことを報告し、健やかな成長を願う。
- ・お食い初め …… 生後3～4ヶ月
一生食べることに困らないようにという願いを込めて行う。
- ・一升餅 …… 1歳の誕生日に
1歳まで無事成長したことを祝い、これからも健やかに成長することを願って、餅（一升の米）を背負わせる。
- ・こどもの日（5月5日） ・七夕（7月7日） ・花火（7月）
- ・ハロウィンパーティー（10月31日頃）
- ・七五三（11月15日） ・クリスマス（12月23日） ・節分（2月2日）
- ・ひなまつり（3月3日） ・おたのしみ会（3月最終木曜日）

② その他の行事

- ・誕生会 …… 誕生日を迎えたその日にグループでお祝いする。
保護者の希望など状況によっては家族だけでお祝いする。
- ・動物園遠足（春） 水族館遠足（秋）
- ・スキンシップデー
社会体験の一つとして、担当養育者と外出し、公園で遊んだり、外でお弁当を食べたり、公共交通機関の利用や外食、お店見学、買い物などを体験する。また、担当養育者とお泊まり体験をして家庭的な雰囲気を楽しむ。
- ・つくば香風寮との交流
児童養護施設の幼児と日常的に遊びの交流を行う。また、兄弟のいる子どもに対しては、積極的に交流の場を設ける。
- ・お別れ会
乳児院を巣立っていく子どもの新しい生活をみんなで励ます。

7. 日課

時間	乳 児	幼 児	時間	乳 児	幼 児
5:00			13:00	めざめ	
6:00	めざめ	めざめ	14:00	あそび 離乳食	めざめ おやつ あそび
7:00	検温、授乳 あそび	朝食	15:00	あそび	
8:00		あそび	16:00	あそび 入浴	
9:00			17:00		夕食
10:00	離乳食		18:00		入浴
11:00			19:00	就寝準備 就寝	
12:00	午睡	昼食 午睡	20:00		就寝準備 就寝

5) 令和4年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身 体 測 定	25	30	27	25	29	26	31	28	26	30	27	27
月 例 健 診	8	13	3	8	-	8	6	26	17	-	25	11
保 菌 検 査 (職 員)	6	11	8	6	3	7	5	2	7	11	8	8
保 菌 検 査 (児 童)						7					8	
安 全 管 理 点 検	5	10	7	5	2	6	4	1	6	-	4	7
	21	19	16	28	25	21	27	17	21	-	16	21
非 常 時 避 難 訓 練	28	14	23	19	30	29	10	12	22	-	11	11

※1月の月例健診・避難訓練は院内の新型コロナ発生のため実施せず

6) 令和4年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	18, 19, 20, 28 13, 20 22, 28	スキンシップデー 誕生会 かみね動物園遠足	10	17, 18, 19 31	スキンシップ ハロウィン
5	19, 26, 27 5 9, 16, 31 11	誕生会 こどもの日の集い スキンシップデー かみね動物園遠足	11	19 15 2, 7, 10, 17, 21 29	お食い初め 七五三 スキンシップデー 遠足
6	2, 6, 14, 16, 23 30	スキンシップデー	12	7 23 28	スキンシップデー クリスマス会 もちつき
7	7 6, 11, 13, 15, 20 22, 25 28 20, 27	七夕 スキンシップデー 花火大会 誕生会	1	20 6 23 30	誕生日 お食い初め 初詣 スキンシップデー
8	6, 8, 16, 17, 19 4, 13 30	スキンシップデー 誕生会 夕涼み会	2	18 9, 16, 20, 28	誕生会 スキンシップデー
9	21, 28, 30 22 15 5, 27	スキンシップデー お宮参り 誕生会 遠足	3	3 13, 20, 4, 13 23 22	ひな祭り スキンシップデー 誕生日 お楽しみ会 お食い初め

7) 令和4年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事 務	看護師	保育士	指導員	栄養士	心 理	調理員	計
団 体	4	2	4	11	4	0	1	0	26
県・社協	1	2	4	16	2	0	1	2	28
法人・施設	15	15	50	156	19	13	9	18	295
計	20	19	58	183	25	13	11	20	349

2. 児童構成 (R5. 3. 31現在)

性 別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	計
男	3	4	2	0	0	9
女	2	2	2	0	0	6
計	5	6	4	0	0	15

3. 各月初日在籍及び入退所児童

[]は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	18	17	17	15	16	17	17	17	17	18 [1]	18	17	204
入 所 うち()は初日入所	1 (1)			1	1	2			1	1	2 (1)	1	10
退 所 うち()は初日退所	1		1	1 (1)		2				2	2	3	12
月末在籍	17	17	16	16	17	17	17	17	18	17	17	15	201

4. 入院理由別表

入 院 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			0
2. " 行方不明			0
3. " 離婚			0
4. " 不和			0
5. " 拘禁	1		1
6. " 入院			0

7.	就労			0
8.	精神疾患等	6	5	11
9.	放任・怠惰	1	2	3
10.	虐待・酷使	7	3	10
11.	棄児			0
12.	養育拒否	1		1
13.	破産等の経済的理由			0
14.	児童の問題による監護困難			0
15.	その他		1	1
16.	不詳			0
合 計		16	11	27

5. 退院理由別表

退 院 理 由	男	女	計
1. 親 元 解 除	1	5	6
2. 里 親 委 託	2	0	2
3. 措 置 変 更	4	0	4
合 計	7	5	12

6. 在院期間 (R4. 3. 31現在)

1年未満	2年未満	2年以上	3年以上	計
10	7	8	2	27

7. 一時保護入所状況

人 数 9名
延べ日数 249日

8. ショートステイ受入状況

取手市 1名 阿見町 2名

計 3名 (延べ日数 18日)

9. 栄養投与状況

1. 食 費 1日当たり 550円
2. 熱 量 970Kcal (基準 937Kcal)
3. たん白質 40.4g (基準 24.6g~46.9g)

入院理由別総計表（さくらの森乳児院）

入院理由	平成23	24	合計
父または母の死亡			-
” 行方不明	1	2	3
” 離婚・就労			-
” 傷病・入院	2	4	6
” 精神疾患	3	6	9
” 受刑	3	3	6
” 被虐待・被冷遇	4	6	10
” 棄児・迷子		1	1
その他・未成年等	4	8	12
計	17	30	47

入院理由	平成25	26	27	28	29	30	令和1	令和2	令和3	令和4	合計
父又は母の死亡	1										1
” 行方不明	1			1	1						3
” 離婚											0
” 不和	1	1	1	1							4
” 拘禁	1	2	2	3	3	2	2		1		16
” 入院	3	3	2	1		2					11
” 就労											0
” 精神疾患等	5	6	6	8	5	6	9	8	8	10	71
” 放任・怠惰	2	1	1	1			3	1	3	3	15
” 虐待・酷使	2	2	1	2	6	6	7	12	12	11	61
棄児	1	1	1			1					4
養育拒否	5	6	3	1	1	1			1		17
破産等の経済的理由				7	1	1	1	1	1		12
児童の問題による監護困難	2										2
その他の		7	7	2	11	7	1	1	1		37
不詳											0
計	24	29	24	27	27	26	23	23	24	27	254

※平成25年度より集計項目変更

1 4 . 児童心理治療施設 内原深敬寮

1) 令和5年度運営計画

令和5年度は、内原深敬寮の新たな中・長期運営計画(後期行動計画)の1年目となりますが、計画が達成できるよう努めます。特に令和5年度は、後期中期運営計画の初年度でもあり、前期の中期運営計画で、新型コロナの影響で計画が達成できなかった項目の継続推進と、新たな運営計画の推進を進めていきます。

また、施設運営改善委員会で、福祉サービスの向上と組織体制の強化のための改善計画の検討を行って、児童の支援向上に取り組んでいきます。

令和5年度は、前年度から水道光熱費の高騰がしており、対策を強化して財政基盤の強化を図って行くとともに、FSWと看護師を増員して福祉サービスの支援向上を図ります。

1 福祉サービスの向上

- (1) 施設運営改善委員会における業務改善の実施
- (2) FSW 3人を配置して、入所・通所児及び退所児童のアフターケアの支援強化の実施
- (3) 看護師2人を配置して、児童の特性に対して医療機関との協力体制の充実
- (4) 児童に対する個別支援プログラムの実施
- (5) 地域に対する地域貢献の推進に向けた取組の実施

2 組織体制の強化

- (1) 第三者評価の自己評価の実施
- (2) 児童支援の組織的強化のためOJT体制の実施

3 人材の育成と人材確保

- (1) 業務改善をふまえた園内研修の実施
- (2) 法人研修への積極的参加
- (3) 職員の外部研修の計画的受講によるスキルアップ
- (4) 人材確保のため、積極的な施設PRの実施

4 財政基盤の強化

- (1) 法人計画に基づく計画的な施設積立実施等、健全な予算執行の推進
- (2) 印刷製本・水道光熱費の前年度1%の節約
- (3) 職員及び子どもたちへの節約意識の啓蒙

2) 運営の概況

令和4年度は、新型コロナによる感染症の対応に苦慮した1年でした。7月末より職員のコロナ陽性者が始まって、1月の中旬までの間で、職員14名と入所児童3名が罹患しましたが、施設内でのクラスターには幸いにもならず済みました。

また、令和3年度と同様に、多くの行事で制限のかかるなか、工夫をして行う事ができました。

施設運営の課題については、第三者評価の受審を受けて、改善が求められている点の「子どもたちの生活体験」や「相談対応マニュアル作成等」を、業務改善委員会のなかで、次年度の課題として検討を進めていきます。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

当施設は、児童心理療育施設として、福祉・医療・教育が協力・連携した総合環境療法のなかで、情緒的不適応をおこした子ども達に対して、総合・多面的に援助を行い、心の成長と自立を促して、21世紀の担い手として一人ひとりが、心身ともに健やかに成長していく支援を行っていきます。

① 法人綱領、基本理念を尊重し、具体化した実践。

子どもの権利擁護を中心に位置付け、施設の特徴をできるだけ活かした支援を実践する。そして、それは「人権を守る」ことであり、一人ひとりの個々の問題に焦点を合わせ、的確な見立てと、最善の治療方針を模索して、治療者との人間関係を通じて情緒の改善を図っていくプロセスとなります。私たちは、子ども達に対して、常に一人の人間として尊重して対応して、心身とも健やかな成長を育める環境を造ってまいります。

② 安心して生活できる場、再育的関わり。

施設が安心できる場所となり、子ども達が本来体験し発達の文脈にそくして成長する機会を保障できる生活環境を整備してまいります。

③ 福祉・医療・教育・の3部門の連携・協力

子ども達の持つ課題に対して、3部門が協力(チームアプローチ)して多角的な視点と総合的な関わりによって、最善の支援を行ってまいります。

ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を实践し、児童が将来社会的自立できるよう援助・指導する。

1. 布施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来社会的自立ができる。

3. 智慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○ 内原深敬寮での実践において、権利擁護を中心に位置づけ、子どもとの人間関係を大切に して、「生きる力」を大きく培える支援を实践します。

【あなたのことを知っています】

かならず名前を呼ぶことで、子どもであっても個人として尊重します。

【あなたに関心があります】

挨拶は人間関係を築く最初の基本であり、常に明るく挨拶を心掛けます。

【あなたを必要とします】

ありがとうという言葉は、一人の人間お互いに尊重できる言葉であり、常にその環境を造
っていきます。

ハ) 支援目標

1. 児童支援の向上

- (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活が送れる)
- (2) 日常生活の援助指導 (規則正しい生活リズムを作る)
- (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
- (4) 学習指導の強化 (基礎学力の向上と進路指導)
- (5) 自立支援 (児童自立支援計画に基づいた援助)
- (6) 家庭との連携 (家庭通信・帰省・面会・行事への参加)

ニ) 学習指導

(1) 目的

・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。

(2) 内容

・自ら学習計画を作成し、自主的な学習につなげる。

ホ) 環境 (安全・保健・環境)

(1) 目的

・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。(毎月安全委員会開催)

(2) 内容

- ・手洗い・消毒の習慣化
- ・清潔感を養う (服装、身体) 衛生検査の実施 (身体、頭髪、爪、耳垢等)
- ・入浴指導の徹底
- ・定期検便の実施
- ・年齢による段階的な洗濯の習慣化
- ・環境整備 (施設、補修、整備、整理整頓)
- ・安全点検日 (職員が安全面の定期点検をする)
- ・非常時 (火災、地震) 対策、訓練の実施
- ・交通安全の徹底 (自転車、点検、補修)

4) 運営

職員は法人理念・綱領を实践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職員会議

- (1) 職員会議 …………… 月 1 回

- (2) 給食会議 …………… 月 1 回
- (3) ケース会議 …………… 月 1 回
- (4) インテーク会議 …………… 月 2 回
- (5) 担当者会議 …………… 月 1 回
- (6) 連絡会議 …………… 毎日午前・午後
- (7) 分教室連絡会議 …………… 月 1 回

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環境衛生

- ア. 室内外の消毒（オスバン） …………… 月 1 回
- イ. 便所消毒 …………… 週 1 回
- ウ. 寝具消毒（日光消毒） …………… 毎 日
- エ. 浴場消毒（オスバン） …………… 週 1 回
- オ. 食器消毒（熱 風） …………… 毎 日
- カ. 残留塩素調査 …………… 毎 日

(2) 身体衛生

- ア. 健康診断 …………… 学校保健法に準じて実施
(本園嘱託医により) … 2月18日
- イ. 身体測定 …………… 月 1 回
- ウ. 散髪 …………… 3ヶ月に2回
- エ. つめ切り …………… 週 1 回
- オ. 下着交換 …………… 毎 日
- カ. 入浴 …………… 毎 日
- キ. 児童保菌検査 …………… 年 2 回
- ク. 職員保菌検査 …………… 月 1 回

(3) 安全管理

- ア. 電気設備の検査（日本テクノ） …………… 月 1 回
- イ. 火災報知器の検査（水戸ホーチキ株） …………… 7月6日 1月16日

(4) 児童の安全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月 1 回）
- イ. 交通安全指導（自転車通学・通塾時）
- ウ. 環境整備（毎月第2水曜、第4水曜）

5) 児童の支援計画

◎学習指導について

1. 基礎学力養成のためのドリル学習
2. 平日の学習について … 帰園後に実施するのが通常であるが、児童の状況によって変更もある。
3. 場 所 …… 食堂・居室・学習室
4. 意欲、目標を持ち自分から学習する習慣
5. 学校の準備、後片付けの徹底

◎心理療法について

1. 個人心理療法実施 … 週 1 回（45分）
2. グループワーク … 年間計画により実施（小学生7回、中学生7回）
3. 家族療法事業による個別心理療法の実施

◎生活支援について

毎日の基本的な生活習慣を身につけるほか、集団生活の中での適応力を育てることで温かい人間関係が持てるよう援助する。

1. 児童の小遣いについて（毎月1日支給）
 - ・管理を児童の年齢や状況に応じて経験させ、その指導を行う。
2. 誕生日について
 - ・誕生日プレゼントを用意し、ケーキを囲んで皆で祝う。
 - ・誕生日会は児童の誕生日の夕食時に行う。
 - ・夕食のメニューは誕生日者の希望するもの。
3. お年玉について
 - ・未帰省児童に支給
4. 子ども会議の育成
 - ・職員・児童と一緒に年間の行事等の協議・検討。
 - ・意見箱の設置

5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
7:00	起床・清掃・洗面	起床・清掃・洗面	16:00	宿題 グループ活動 自由時間	グループ活動
7:20	朝食		18:00	夕食	夕食
8:20	登校 (セラピー)	朝食	19:00	入浴	入浴
9:00	昼食	清掃 自由遊び	20:00	テレビ視聴	テレビ視聴
11:00	帰園	昼食	21:00	就寝 (小学校低学年)	就寝 (小学校低学年)
12:00	昼食		21:30	就寝 (小学校高学年)	就寝 (小学校高学年)
13:30	登校 (セラピー)	自由遊び	22:00	就寝 (中学生)	就寝 (中学生)
14:00	帰園				
15:00	おやつ	おやつ			

6) 令和4年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身 体 測 定	29	31	28	28	26	30	31	30	30	27		30
保 菌 検 査 (児 童)						2						
保 菌 検 査 (職 員)	8	6	3	8	5	2	7	4	2	6	3	3
安 全 管 理 点 検	13	11	8	13	24	14	12	9	14	11	8	15
非 常 時 避 難 訓 練	23	28	25	23	27	24	22	26	17	28	25	20

7) 令和4年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	6	始業式	10	21	男子誕生会
	10	分教室中学校入学式		23	女子グループおやつ作り
				30	女子誕生会
5	3	男子グループレク	11	2	男子誕生会
	5	女子グループレク		5	女子グループレク(那須)
	22	男子誕生会	12	27	女子誕生会
	29	女子誕生会		3~4	女子お泊まりレク
6	11	男子誕生会	1	25	クリスマス会
	25	男子グループおやつ作り		30	男子誕生会
	26	女子誕生会		2	男子初詣(水戸市有賀神社)
7	18	女子誕生会	1	3	女子初詣(水戸東照宮)
				29	女子誕生会
8	5	男子誕生会	2	2	節分豆まき
	5	女子グループおやつ作り		11~12	女子グループレク(ひたちなか)
	8~9	男子グループキャンプ(城里)	3	29	女子誕生会
	18~19	女子グループキャンプ(城里)		13	中学校卒業式
	21	夏祭り(内原地区)		17	小学校卒業式
10	28	女子誕生会	3	18	男子誕生会
	3	男子グループレク(水戸)		21	女子卒業を祝う会
	8	分教室スポーツフェス		26	女子誕生会
				27	男子卒業を祝う会

8) 令和4年度資料

1. 職員の研修

	園 長	事 務	指 導 員	保 育 士	栄 養 士	調 理 員 等	看 護 師	セ ラ ピ ス ト	計
県・社 協			6	2					8
団 体	2		13	1				3	19
法 人 ・ 施 設	9	3	192	29	4	10	12	57	316
計	11	3	211	32	4	10	12	60	343

2. 児童構成 (R5.3.31現在)

区分 年齢・学年	未就学児						小学生						中学生			高校生			計	
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3		
男									1		1	1	1	4	2	2				12
女											1	2	2	2	2	3	3	1		16
計									1		2	3	3	6	4	5	3	1		28

3. 各月初日在籍及び入退園児童 (入所)

[]内は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	26	26	25	26	27	27	27	28	29	30	29	30	330
入所 うち()は初日入所	1		1	1		2 (1)	1	1	1		1		9 (1)
退所 うち()は初日退所	1	1			1	1				1		2	7
月末在籍	26	25	26	27	26	27	28	29	30	29	30	28 [2]	331 [2]

4. 各月初日在籍及び入退園児童 (通所)

[]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	10	10	10	10	10	10	9	9	9	7	7	7	108
入所 うち()は初日入所					1 (1)							1	2 (1)
退所 うち()は初日退所				1		1			2				4
月末在籍	10	10	10	9	10	9	9	9	7	7	7	8	105

5. 男女別問題行動別在籍児童数
別紙1参照

6. 退園理由別表 (入所)

退園理由	男	女	計
1. 自立 (就職)	1		1
2. 進学 (専門学校)			
3. 措置変更	3	1	4
4. 家庭引取り		2	2
合計	4	3	7

7. 在園期間 (R5.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
9	9	8	2		28

8. 一時保護の受入状況

人数 3名
延べ日数 70日

9. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施、年1回記述アンケートにより実施

1. 食費 1日当り 650円 (原材料費)
2. 熱量 小学生 2,291 Kcal (基準 2,026 Kcal)
中学生 2,753 Kcal (基準 2,417 Kcal)
3. たん白質 小学生 79.9 g (基準 45.9 g ~ 101.3 g)
中・高学生 93.6 g (基準 57.5 g ~ 120.8 g)

男女別問題行動別在籍児童数（1名3カウントまで）

領域	愁訴や問題の内容	男			女			計					
		入	所	通	所	小	計	入	所	通	所	小	計
総 数		45	21	66	57	15	72	102	36	138			
I 対人関係の問題	1. 内気、小心、孤立、いじめられなど												
	2. 癩癩、衝突、いじめなど	3	2	5	2		2	5	2	7			
	3. 場面緘黙や寡黙、極端な羞恥など												
	4. 対人恐怖、醜形恐怖、自己臭恐怖など												
	5. 過剰反応、気の遣いすぎなど												
	0. その他				1		1	1		1			
II 社会生活の問題	1. 盗み、暴力行為、放火など	1	1	2	1		1	2	1	3			
	2. 喫煙、シンナー、薬物乱用等の嗜好												
	3. 性をめぐる問題および行動化												
	4. 自傷行為、希死念慮～自殺企図	1		1	3	1	4	4	1	5			
	5. 事故、災害、犯罪被害												
	0. その他												
III 学校生活の問題	1. 学校恐怖ないし登校拒否	3	1	4	4		4	7	1	8			
	2. 学校怠けおよびその傾向												
	3. 級友や教師とのもめ事	1	1	2	1	1	2	2	2	4			
	4. 情緒不安定や落ち着きの無さ、協調の無さ	2	2	4	4	1	5	6	3	9			
	5. 校内での暴力、破壊行為												
	6. 学業不振				1		1	1		1			
0. その他													
IV 家庭生活の問題	1. 家族関係の欠乏や過剰、不和	7	2	9	4	1	5	11	3	14			
	2. 家庭崩壊やその傾向	1	1	2				1	1	2			
	3. 被虐待やそのヒストリー	7	4	11	17	4	21	24	8	32			
	4. 家族の事故や喪失	1	1	2	1	1	2	2	2	4			
	5. 居場所のなさ、徘徊、放浪、家出など	1		1	4	2	6	5	2	7			
	6. 激しい反抗や暴力	4		4	2	1	3	6	1	7			
	7. 家庭内での嘘や盗みなど		1	1	3		3	3	1	4			
	0. その他				1		1	1		1			
V 習癖上の問題	1. 頻尿・遺尿・遺糞など排泄上の問題	3	1	4	1		1	4	1	5			
	2. チックや汚言症												
	3. 吃音、早口症、書癡												
	4. 抜毛症、爪噛み、身体いじり												
	5. 洗手強迫、強迫行為、儀式行動など												
	0. その他	1		1				1		1			
VI 心身・身体症状	1. 拒食、過食、肥満、異食などの食行動異常	1		1		1	1	1	1	2			
	2. 腹痛、下痢、嘔吐など消化器症状												
	3. 不眠、夢中遊行などの睡眠障害												
	4. 頭痛、他諸種の疼痛												
	5. 失神、過呼吸、視力低下、失立失歩など												
	6. 喘息・湿疹などのアレルギー症状												
	7. 低身長や第二次性徴などの身体的発達の遅れ												
	8. てんかん発作												
0. その他					1	1		1	1				
VII 精神症状	1. 抑鬱気分、不全感など												
	2. 怒りっぽさ、興奮、パニック	1		1				1		1			
	3. 感情易変性												
	4. 不安、緊張、過敏、怯え	1		1				1		1			
	5. 恐怖症、強迫観念												
	6. 妄想様念慮、異常体験												
	7. アバシー、無為、引きこもり												
	8. 解離性症状												
0. その他													
VIII 発達上の問題	1. 注意転動性、過反応性、多動性	1	3	4	1		1	2	3	5			
	2. 特定学習能力の障害		1	1	1		1	1	1	2			
	3. 微細協調運動の不器用												
	4. 自閉症近縁の自己中心性や関われなさ	5		5	3	1	4	8	1	9			
	5. 構音障害、言語発達の遅れ												
	6. 知能のムラや遅れ				2		2	2		2			
0. その他													

令和5年度当初予算書

単位：千円

	合計	本部	臨海学園	同仁会乳院	同仁東保育園			同仁会児童家庭支援センター	同仁会子どもホーム	くれよんクラブ高萩	内原和敬齋内原深敬齋	児童家庭支援センターあいはりー	つくば香風寮	さくらの森乳児院	COLORSつくば
					同仁東保育園	ゆうゆうクラブ	地域子育て支援センター								
事業活動収入	1,938,484	1,209	209,713	223,654	197,688	11,323	8,723	31,400	153,527	29,386	239,114	62,147	214,420	255,106	31,595
施設設備等収入	40,058	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40,058	0
その他活動収入	106,118	25,022	0	133	0	3,000	0	9,000	170	11,000	0	3,000	63	48,200	1,000
収入合計	2,084,660	26,231	209,713	223,787	197,688	14,323	8,723	40,400	153,697	40,386	239,114	65,147	214,483	343,364	32,595
事業活動支出	1,904,540	25,060	201,692	207,138	173,837	14,561	11,353	41,807	161,287	39,521	228,799	68,274	205,349	232,683	32,883
施設設備等支出	156,369	0	0	0	3,300	0	0	400	0	2,000	18,400	800	11,704	100,802	0
その他活動支出	70,323	3,324	1,421	15,394	15,767	67	66	243	1,168	167	4,617	355	2,440	23,448	186
支出合計	2,131,232	28,384	203,113	222,532	192,904	14,628	11,419	42,450	162,455	41,688	251,816	69,429	219,493	356,933	33,069
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
差引残高	△ 46,572	△ 2,153	6,600	1,255	4,784	△ 305	△ 2,696	△ 2,050	△ 8,758	△ 1,302	△ 12,702	△ 4,282	△ 5,010	△ 13,569	△ 474

前期末支払資金残高	282,667	2,721	15,609	35,229	35,306	563	7,079	2,051	13,614	3,208	35,570	5,136	47,297	71,158	1,111
当期末支払資金残高	236,095	568	22,209	36,484	40,090	258	4,383	1	4,856	1,906	22,868	854	42,287	57,589	637

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

社会福祉法人 同 仁 会

I 資産の部					3,498,173,688円
1 流動資産					451,804,204円
ア	現金				1,756,205円
イ	預金				195,758,174円
ウ	有価証券				0円
エ	事業未収金				179,702,709円
オ	未収金				350,710円
カ	未収補助金				59,165,722円
キ	立替金				283,900円
ク	前払金				4,704,840円
ケ	前払費用				10,081,944円
2 固定資産					2,410,090,490円
(1) 基本財産					
ア 土地					
	同仁会子どもセンター敷地	高萩市肥前町1丁目80番地の2	1筆	3,112.97㎡	9,330,000円
	同仁東保育園敷地	高萩市高浜町2丁目28番地の1	1筆	711.87㎡	13,118,000円
	ゆうゆう館敷地	高萩市有明町1丁目144番地	1筆	506.36㎡	30,602,500円
	くれよんクラブ高萩敷地	高萩市有明町1丁目46番地	1筆	538.93㎡	16,289,000円
	内原同仁会子どもセンター敷地	水戸市小林町1186番84、85	1筆	11,329.26㎡	45,995,610円
	〃	水戸市鯉淵町2508番53	1筆	2,796.00㎡	10,743,390円
	つくば同仁会子どもセンター敷地	つくば市高崎802番1	1筆	6,153.00㎡	37,182,418円
イ 建物					
	同仁会子どもセンター本館	高萩市肥前町1丁目80番地の2及び81番地の2	1棟	3,160.15㎡	749,507,690円
	同仁東保育園舎	高萩市高浜町2丁目34番地、35番地	1棟	993.36㎡	126,681,984円
	ゆうゆう館本館	高萩市有明町1丁目144番地	1棟	399.74㎡	22,806,688円
	同仁会子どもホーム本館	高萩市秋山712番地の1、711番地の1	1棟	514.61㎡	34,139,266円
	同仁会子どもホームユニット棟	〃	1棟	97.70㎡	29,064,168円
	くれよんクラブ高萩本館	高萩市有明町1丁目46番地	1棟	111.79㎡	36,956,528円
	内原深敬寮園舎	水戸市小林町1186番84、85、鯉淵町2508番53	1棟	1,751.91㎡	381,292,500円
	内原和敬寮本館	〃	1棟	1,205.10㎡	269,170,372円
	内原和敬寮小規模ユニット棟	〃	1棟	345.43㎡	70,244,583円
	内原同仁会子どもセンター管理棟	〃	1棟	302.67㎡	53,489,789円
	児童家庭支援センター あいびー	〃	1棟	323.06㎡	133,515,640円
	つくば香風寮園舎	つくば市高崎802番1	1棟	1,074.92㎡	200,525,682円
	さくらの森乳児院	〃	1棟	457.95㎡	52,603,402円
	つくば同仁会子どもセンター管理棟	〃	1棟	323.30㎡	33,415,990円
	COLORSつくば	つくば市高崎802番地4	1棟	159.35㎡	53,415,290円
(2) その他の固定資産					636,278,994円
ア 土地					
	同仁会子どもセンター敷地	高萩市肥前町1丁目82番の1、2	2筆	336.96㎡	26,822,016円
	同仁東保育園敷地	高萩市高浜町2丁目29番地の1、3	2筆	327.00㎡	13,809,000円
	福祉施設建設予定地	高萩市有明町3丁目60番2、30番8、30番12	3筆	320.07㎡	6,548,000円
	福祉施設建設予定地	石岡市行里川13422-3、12、13438-6	3筆	3,893.93㎡	37,690,000円
	つくば同仁会子どもセンター敷地	つくば市高崎802番3、4	2筆	2,948.00㎡	17,817,582円
イ 建物					
	同仁東保育園倉庫	高萩市高浜町2丁目34番地、35番地	1棟	23.89㎡	450,600円
	内原深敬寮学校棟	水戸市小林町1186番84、85、鯉淵町2508番53	1棟	739.18㎡	212,627,248円
ウ	構築物				78,874,249円
エ	機械及び装置				897,681円
オ	車輛運搬具				428,745円
カ	器具及び備品				45,348,949円
キ	建設仮勘定	同仁会子どもセンター大規模修繕工事			0円
ク	権利				105,474円
ケ	退職給付引当資産				90,087,450円
コ	措置施設繰越特定積立資産				57,100,000円
サ	損害賠償積立預金				46,982,000円
シ	ブーケ進学支援積立資産				690,000円
II 負債の部					835,320,304円
1 流動負債					
ア	事業未払金				119,825,243円
イ	1年以内返済予定設備資金借入金				52,129,000円
エ	預り金				100,000円
オ	職員預り金				2,193,731円
カ	前受金				33,000円
キ	賞与引当金				74,114,000円
ク	その他の未払金				743,880円
2 固定負債					
ア	設備資金借入金				496,094,000円
イ	退職給与引当金				90,087,450円
III 差引正味財産					2,662,853,384円

資 金 収 入 支 計 算 書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

単位：千円

	合 計	法人本部	臨海学園	同仁乳児院	同仁保育園	同仁東園拠点	くれよんクラブ	児童家庭支援センター	同仁子ども会	内原和敬寮	あいびー	内原深敬寮	つくば香風寮	さくらの森乳児院	COLORS つくば
事業活動収入 (1)	1,907,635	2,554	183,375	216,485	213,426	26,199	35,419	161,756	231,534	58,226	273,406	232,657	240,998	31,595	
事業活動支出 (2)	1,747,353	24,989	181,516	202,244	190,324	36,765	36,509	156,424	197,820	58,463	238,667	202,114	186,374	35,141	
事業活動収支差額 (3) = (1) - (2)	160,282	△ 22,435	1,859	14,241	23,102	△ 10,566	△ 1,090	5,332	33,714	△ 237	34,739	30,543	54,624	△ 3,546	
施設整備等による収入 (4)	100,835	0	61,684	39,151	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
施設整備等による支出 (5)	226,959	0	92,648	64,299	4,421	2,000	446	375	18,758	1,246	18,258	18,180	6,323	0	
施設整備等による収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 126,124	0	△ 30,964	△ 25,148	△ 4,421	△ 2,000	△ 446	△ 375	△ 18,758	△ 1,246	△ 18,258	△ 18,180	△ 6,323	0	
その他活動による収入 (7)	109,611	28,270	26,892	12,648	4,021	14,000	0	10	7,179	10,900	530	295	1,129	3,737	
その他活動による支出 (8)	107,407	3,510	1,259	1,396	18,923	167	207	1,087	11,466	6,332	3,419	5,189	54,262	191	
その他活動による収支差額 (9) = (7) - (8)	2,204	24,760	25,633	11,252	△ 14,902	13,833	△ 207	△ 1,077	△ 4,287	4,568	△ 2,889	△ 4,894	△ 53,133	3,546	
当期資金収支差額合計 (10) = (3) + (6) + (9)	36,362	2,325	△ 3,472	345	3,779	1,267	△ 1,743	3,880	10,669	3,085	13,592	7,469	△ 4,832	0	
前期末支払資金残高 (11)	292,546	1,087	27,757	36,382	43,430	2,573	4,434	14,758	30,843	5,489	11,047	44,772	66,968	3,000	
当期末支払資金残高 (12) = (10) + (11)	328,908	3,412	24,285	36,727	47,209	3,840	2,691	18,638	41,512	8,574	24,639	52,241	62,136	3,000	

注1 千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。

2 法人内の内部取引を含んでいません。

事業活動収支計算書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

単位：千円

勘定科目	法人本部	臨海学園	同 仁 会 乳 児 院	同 仁 会 保 育 院	同 仁 東 育 園 点	くれよん ク ラ ブ	児童家庭 支援セン ター	同 仁 会 子ども ホ ー ム	内原和敬 寮	あいびー	内原深敬 寮	つくば 香 風 寮	さくらの 森 乳 児 院	COLORS つくば	合 計
サービス活動収益(1)	1,010	182,626	216,326	212,365	26,199	35,402	160,933	230,516	58,225	272,456	231,068	240,707	31,595	1,899,431	
サービス活動費用(2)	25,092	185,934	206,232	198,580	39,714	36,949	158,428	210,400	63,704	252,797	207,420	192,743	38,303	1,816,295	
事業活動増減差額 (3)=(1)-(2)	△ 24,082	△ 3,308	10,094	13,785	△ 13,515	△ 1,547	2,505	20,116	△ 5,479	19,659	23,648	47,964	△ 6,708	83,136	
サービス活動外収益(4)	1,544	845	326	1,110	0	16	846	1,164	0	1,319	1,836	901	18	9,927	
サービス活動外費用(5)	88	572	75	869	18	0	1,775	1,913	0	2,060	1,288	204	0	8,865	
事業活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,456	273	251	241	△ 18	16	△ 929	△ 749	0	△ 741	548	697	18	1,062	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 22,626	△ 3,035	10,345	14,026	△ 13,533	△ 1,531	1,576	19,367	△ 5,479	18,918	24,196	48,661	△ 6,690	84,198	
特別収益(8)	28,210	68,684	39,151	0	14,000	0	0	6,900	10,900	0	0	0	3,729	171,574	
特別費用(9)	0	224,376	140,191	13,810	0	214	675	10,480	6,000	2,220	10,276	33,851	0	442,095	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	28,210	△ 155,692	△ 101,040	△ 13,810	14,000	△ 214	△ 675	△ 3,580	4,900	△ 2,220	△ 10,276	△ 33,851	3,729	△ 270,521	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	5,584	△ 158,727	△ 90,695	216	467	△ 1,745	901	15,787	△ 579	16,698	13,920	14,810	△ 2,961	△ 186,323	
前期繰越活動収支差額(12)	41,167	271,658	177,124	238,493	53,505	2,865	47,379	△ 7,127	131,495	247,539	97,020	99,068	58,664	1,458,853	
当期繰越活動収支差額(13) =(11)+(12)	46,751	112,931	86,429	238,709	53,972	1,120	48,280	8,660	130,916	264,237	110,940	113,878	55,703	1,272,530	
基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の積立金取崩額(15)	60	19,800	12,369	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32,229	
その他の積立金積立額(16)	3,410	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	0	23,410	
次期繰越活動収支差額(17) =(13)+(14)+(15)-(16)	43,401	132,731	98,798	238,709	53,972	1,120	48,280	8,660	130,916	264,237	110,940	93,878	55,703	1,281,349	

注1 千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。

注2 法人内の内部取引を含んでいません。

貸借対照表

令和5年3月31日現在

単位：千円

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	451,804	633,534	-181,730	流動負債	249,139	459,605	-210,466
現金	1,756	1,535	221	事業未払金	119,825	338,670	-218,845
預 金	195,758	230,558	-34,800	1年以内返済予定設備資金借入金	52,129	52,129	0
事業未収金	179,702	98,315	81,387	預り金	100	262	-162
未収金	351	349	2	職員預り金	2,194	2,025	169
未収補助金	59,166	280,926	-221,760	前受金	33	30	3
立替金	284	155	129	賞与引当金	74,114	66,489	7,625
前払金	4,705	8,214	-3,509	その他の未払金	744		
前払費用	10,082	13,482	-3,400				
				固定負債	586,181	633,396	-47,215
固定資産	3,046,369	3,007,514	38,855	設備資金借入金	496,094	548,223	-52,129
基本財産	2,410,090	2,049,890	-43,452	退職給付引当金	90,087	85,173	4,914
土地	163,261	163,261	0				
建物	2,246,829	1,886,629	360,200				
その他の固定資産	636,279	958,114	-321,835	負債の部合計	835,320	1,093,001	-257,681
土地	102,687	102,687	0				
建物	213,078	219,401	-6,323	純 資 産 の 部			
構築物	78,874	95,008	-16,134	基本金	49,038	49,038	
機械及び装置	898	1,802	-904	基本金	49,038	49,038	
車両運搬具	429	496	-67	国庫補助金等特別積立金	1,227,694	927,054	300,640
器具及び備品	45,349	27,382	17,967	その他の積立金	104,772	113,101	-8,329
建設仮勘定	0	312,435	-312,435	措置施設繰越特定積立金	57,100	69,269	-12,169
権利	105	139	-34	損害賠償積立金	46,982	43,832	3,150
退職給付引当資産	90,087	85,173	4,914	進学支援積立金	690	490	200
措置施設繰越特定積立資産	57,100	69,269	-12,169	次期繰越活動増減差額	1,281,349	1,458,854	-177,505
損害賠償積立資産	46,982	43,832	3,150	次期繰越活動増減差額	1,343,193	1,458,854	-115,661
進学支援積立資産	690	490	200	(うち当期活動増減差額)	-186,323	328,132	-514,455
				純資産の部合計	2,662,853	2,548,047	114,806
資産の部合計	3,498,173	3,641,048	-142,875	負債及び純資産の部合計	3,498,173	3,641,048	-142,875

注 千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。

令和5年度事業概要

令和 5年 9月15日発行 (850部)

発行者 社会福祉法人 同 仁 会
理事長 塩 澤 幸 一
〒318-0011 茨城県高萩市肥前町1-80
TEL 0293-23-3245 FAX 0293-22-4260
ホームページ <http://www.doujinkai.or.jp/>
